

地方独立行政法人北九州市立病院機構
令和5年度の業務実績に関する評価結果報告書

令和6年8月

北九州市

目 次

はじめに	1
第1項 全体評価	2
第2項 項目別評価	4
1 大項目評価	
第1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する 目標を達成するためとるべき措置	4
第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置	6
第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置	7
第4 その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置	8
2 小項目の実績・状況	9
I 法人に関する基礎的な情報	11
II 財務に関する情報	14
III 事業に関する説明	19
項目別の状況	
第1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する 目標を達成するためとるべき措置	24
1 政策医療の着実な実施	24
2 医療センター及び八幡病院の特色を活かした医療の充実	40
3 医療の質の確保	56
4 市民・地域医療機関からの信頼の確保	78
第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置	94
1 収入増加・確保対策	94
2 経費節減・抑制対策	104
3 自立的な業務運営体制の構築	110
4 職場環境の充実	118
第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置	122
1 財務基盤の安定化	122
2 運営費負担金のあり方	128
第4 その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置	130
1 看護専門学校の運営	130
2 施設・設備の老朽化対策	134
3 市政への協力	136
第5 予算、収支計画及び資金計画	138
第6 その他設立団体の規則で定める業務運営に関する事項	138

はじめに

地方独立行政法人法第28条の規定に基づき、地方独立行政法人北九州市立病院機構の令和5年度における業務実績の全体について、地方独立行政法人北九州市立病院機構評価委員会の意見聴取を行った上で、総合的に評価を実施した。

評価に際しては、「地方独立行政法人北九州市立病院機構業務実績評価の基本方針」及び「地方独立行政法人北九州市立病院機構年度評価実施要領」に基づき行った。

地方独立行政法人北九州市立病院機構評価委員会 委員名簿

氏名	役職等	備考
穴井 堅能	北九州市医師会 会長	
網谷 聡子	網谷法律事務所 弁護士	
小島 智也	税理士法人小島パートナーズ 北九州監査法人 公認会計士・税理士	
小松 啓子	社会福祉法人北九州市手をつなぐ育成会 理事長 福岡県立大学 名誉教授	
田中 雅夫	地方独立行政法人下関市立市民病院 理事長	
濱田 正美	福岡県看護協会 常任理事	
松永 裕己	北九州市立大学大学院マネジメント研究科 教授・研究科長	
吉田 ゆかり	医療法人よしだ小児科医院 理事長	

(令和6年7月26日現在)

第1項 全体評価

1 評価結果

北九州市立病院機構における令和5年度の業務実績の全体評価は、「中期計画の実現に向けておおむね計画どおり進んでいる」とする。

2 評価理由

第1期中期計画期間の最終年度である令和5年度の業務実績の大項目評価について、第1、第2、第4は「評価A」、第3は「評価C」となった。

令和5年度は新型コロナウイルス感染症が5類感染症へ移行したものの、感染状況に応じて病床を確保し、コロナ対応を継続するとともに、各病院の特色を生かし、高度で専門的な質の高い医療を提供した。

また、理事長のリーダーシップの下、市の定める第2期中期目標の実現に向け市と綿密に協議し、第2期中期計画を策定した。

このため、令和5年度の業務実績は「中期計画の実現に向けておおむね計画どおり進んでいる」と評価した。

なお、財務内容について、新型コロナに関する県の補助制度が大幅に縮小されたこともあり、営業収支及び経常収支が4年ぶりの赤字となったが、入院・外来患者数の増加に伴い手術件数・病床利用率は増加・向上している。引き続き、経営健全化に向けた取組を着実に実施することを期待する。

評価にあたっての評価委員会意見・指摘等

- ・ 「財務基盤の安定化」について、今後も人件費や物価の高騰、借入金利の上昇など、厳しい経営環境が続くと思うが、引き続きご尽力いただきたい。
- ・ 「患者サービスの向上」について、接遇研修回数や広報誌等の発行回数の増加など、機構の積極的な取組みを評価すべきであり、機構職員のモチベーション向上の観点からも、評価「3」ではなく、評価「4」が妥当である。
- ・ 「医療に関する調査・研究」について、非常に期待ができる、患者さんの満足度を得られるひとつの道筋となる。
- ・ 「看護専門学校の運営」について、自施設への就職率が高く、非常に魅力のある病院である。

3 大項目別の評価結果一覧

大項目	評価項目数	小項目評価数					平均	大項目評価
		評価5	評価4	評価3	評価2	評価1		
第1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置	12	0	6	6	0	0	3.5	A
第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置	8	0	4	4	0	0	3.5	A
第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置	4	0	0	2	2	0	2.5	C
第4 その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置	3	1	0	2	0	0	3.7	A
合計	27	1	10	14	2	0	—	—

- 評価S：評価Aを満たした上で、特筆すべき進捗が認められる
(市長が特に認める場合)
- 評価A：中期計画の実現に向けて計画以上に進んでいる
(小項目評価結果の2以下が無く、平均が3.5以上)
- 評価B：中期計画の実現に向けておおむね計画どおり進んでいる
(小項目評価結果の2以下の項目評価数が2以下で、小項目評価結果の平均が3以上)
- 評価C：中期計画の実現のためにはやや遅れている
(小項目評価結果の平均が3未満)
- 評価D：中期計画の実現のためには重大な改善すべき事項がある
(市長が特に認める場合)

第2項 項目別評価

1 大項目評価

第1	市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置
----	--

評価結果	A	中期計画の実現に向けて計画以上に進んでいる
評価理由		<p>感染症医療において、新型コロナウイルス感染症5類移行後も県の定める病床確保計画のフェーズ等に従い適切に病床を確保し、医療センター、八幡病院ともに積極的に入院患者を受け入れるとともに、新型コロナ患者の手術や分娩も行うことにより、適切な医療提供を行った。</p> <p>救急医療において、八幡病院では、消化器内科1名、麻酔科1名、救急科2名、精神科（精神科救急）1名、歯科（顔面外傷等）を増員し、救急医療体制を強化している。受入件数及び応需率ともに増加・上昇しており、地域における救急医療の中核施設としての役割を果たした。</p> <p>医療の充実において、医療センターでは、地域がん診療連携拠点病院として、手術支援ロボット「ダヴィンチ」や放射線治療機器「リニアック」など高度医療機器の活用、小児救急医療における平日の時間外診療を開始すること等により患者数が増加した。八幡病院においては、「小児臨床超音波センター」の設置やハイブリッド手術室の運用など、市立病院として必要とされる医療の提供に努めた。</p> <p>医療の質の確保のため、両病院とも人材の確保や育成に向けた取組を進めるとともに、クリニカルパス件数・適用率の増加・向上、チーム医療の推進や医療安全対策、治験・臨床研究の推進など、年度計画に基づいた取組を着実に進めた。市民・地域医療機関からの信頼確保については、両病院ともに紹介率が向上するなど連携が進んでいる。</p> <p>以上のことから、「中期計画の実現に向けて計画以上に進んでいる」と評価する。</p>

小項目評価の集計結果

小項目	評価 5	評価 4	評価 3	評価 2	評価 1
1 政策医療の着実な実施					
(1) 感染症医療		○			
(2) 周産期医療			○		
(3) 小児救急を含む救急医療		○			
(4) 災害時における医療			○		
2 医療センター及び八幡病院の特色を活かした医療の充実					
(1) 医療センター		○			
(2) 八幡病院			○		
3 医療の質の確保					
(1) 人材の確保・育成			○		
(2) 医療の質の確保、向上		○			
(3) 医療安全の徹底			○		
(4) 医療に関する調査・研究			○		
4 市民・地域医療機関からの信頼の確保					
(1) 患者サービスの向上		○			
(2) 地域医療機関等との連携		○			
合 計	0	6	6	0	0

第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

評価結果	A	中期計画の実現に向けて計画以上に進んでいる
評価理由	<p>幹部職員で構成する「経営本部会議」を毎月開催し、病院経営状況の管理体制を強化、毎月の目標管理と要因分析など経営課題に迅速に対応するための取組が推進されている。</p> <p>床利用率は向上したものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、コロナ禍以前の水準には回復していない。一方、適切な診療報酬確保への取組として、施設基準の積極的な取得や診療報酬加算の算定率向上による増収は両病院合計で前年度比2.5億円となった。</p> <p>加えて、価格交渉の徹底や第2期中期計画期間中の黒字化を前提とした医療機器等購入計画を策定するなど、経費節減・抑制対策に積極的に取り組んだ。</p> <p>このため、「中期計画の実現に向けて計画以上に進んでいる」と評価する。</p>	

小項目評価の集計結果

小項目	評価 5	評価 4	評価 3	評価 2	評価 1
1 収入増加・確保対策					
(1) 病床利用率の向上			○		
(2) 適切な診療報酬の確保		○			
2 経費節減・抑制対策					
(1) コスト節減の推進		○			
(2) 医療機器等の有効活用及び計画的な整備			○		
3 自立的な業務運営体制の構築					
(1) マネジメント体制の確立		○			
(2) 職員の経営意識の向上			○		
(3) 法令・行動規範の遵守等			○		
4 職場環境の充実		○			
合 計	0	4	4	0	0

第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置

評価結果	C	中期計画の実現のためにはやや遅れている
評価理由	<p>コロナ補助金の大幅な縮減に加え、新型コロナによる患者減の影響継続、委託料等の高騰により、営業収支及び経常収支が4年ぶりに赤字となった。</p> <p>引き続き、第2期中期計画に基づき、地域連携や救急による患者増、加算による単価増などの収益増加の取組のほか、医薬品・診療材料・医療機器等の購入価格削減、委託の見直しなどの費用削減に取り組み、経営健全化を進めるとともに、長期収支の均衡を図っていく必要がある。</p> <p>このため、「中期計画の実現のためにはやや遅れている」と評価する。</p>	

小項目評価の集計結果

小項目	評価 5	評価 4	評価 3	評価 2	評価 1
1 財務基盤の安定化					
ア 政策医療を着実に提供しつつ、地方独立行政法人制度の特長を活かした効率的な病院運営を行うことにより、財務基盤を安定化させる。			○		
イ 中期目標期間における営業収支及び経常収支の黒字化を実現する。				○	
ウ 大規模な設備投資等に伴う資金の借入れや返済等、長期的な資金収支の均衡を図る。				○	
2 運営費負担金のあり方			○		
合 計	0	0	2	2	0

第4 その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置

評価結果	A	中期計画の実現に向けて計画以上に進んでいる
評価理由	<p>看護専門学校において、卒業生の市内就職率が90%以上と高い水準を維持しており、地域の看護師養成機関として、教育の質を確保しつつ、効率的な運営を行っている。</p> <p>加えて、医療センターの老朽化対策を計画的に実施するとともに、市の定める第2期中期目標の実現に向け、市と綿密な協議のもと第2期中期計画を策定したことから、「中期計画の実現に向けて計画以上に進んでいる」と評価する。</p>	

小項目評価の集計結果

小項目	評価 5	評価 4	評価 3	評価 2	評価 1
1 看護専門学校の運営			○		
2 施設・設備の老朽化対策			○		
3 市政への協力	○				
合 計	1	0	2	0	0

2 小項目の実績・状況

評価方法

(1) 法人の自己評価

法人は、中期計画及び年度計画の実施状況等が明らかになるよう、小項目ごとの当該事業年度における業務の実績をできる限り定量的に記載するとともに、次の5段階で自己評価を行い、判断理由等を記載した業務実績報告書を作成する。なお、業務の実績には、病院ごとの実績がわかるよう工夫し、特記事項として、特色ある取組み、法人運営を円滑に進めるための工夫、今後の課題などを自由に記載するものとし、自己評価は、病院の自己点検に基づき、法人として行うものとする。

評価5・・・年度計画を大幅に上回って実施している。

評価4・・・年度計画を上回って実施している。

評価3・・・年度計画を順調に実施している。

評価2・・・年度計画を十分に実施できていない。

評価1・・・年度計画を大幅に下回っている。

(2) 北九州市評価

市長は、業務実績報告書記載の法人の自己評価を踏まえ、小項目ごとの当該事業年度における業務の実績について、次の5段階による評価を行う。

その際、単に目標値及び前年度数値と当該年度の実績値の比較だけでなく、中期計画を達成するために効果的な取組みが行われているかどうかなど、総合的に判断するとともに評価の判断理由等を記載する。

その他、必要に応じて、特筆すべき点や遅れている点についてコメントを付す。

評価5・・・年度計画を大幅に上回って実施している。

評価4・・・年度計画を上回って実施している。

評価3・・・年度計画を順調に実施している。

評価2・・・年度計画を十分に実施できていない。

評価1・・・年度計画を大幅に下回っている。

I 法人に関する基礎的な情報

1 法人の概要

(1) 法人の目的

地方独立行政法人法に基づき、地域の医療機関との役割分担と連携の下、北九州市の医療施策として求められる医療の提供、医療に関する調査研究、医療に従事する者の育成等の業務を行うことにより、医療水準の向上を図り、もって市民の健康の維持及び増進に寄与することを目的とする。

(2) 法人の名称

地方独立行政法人北九州市立病院機構

(3) 法人の設立団体

北九州市

(4) 本部の所在地

北九州市小倉北区古船場町1番35号（北九州商工貿易会館内）

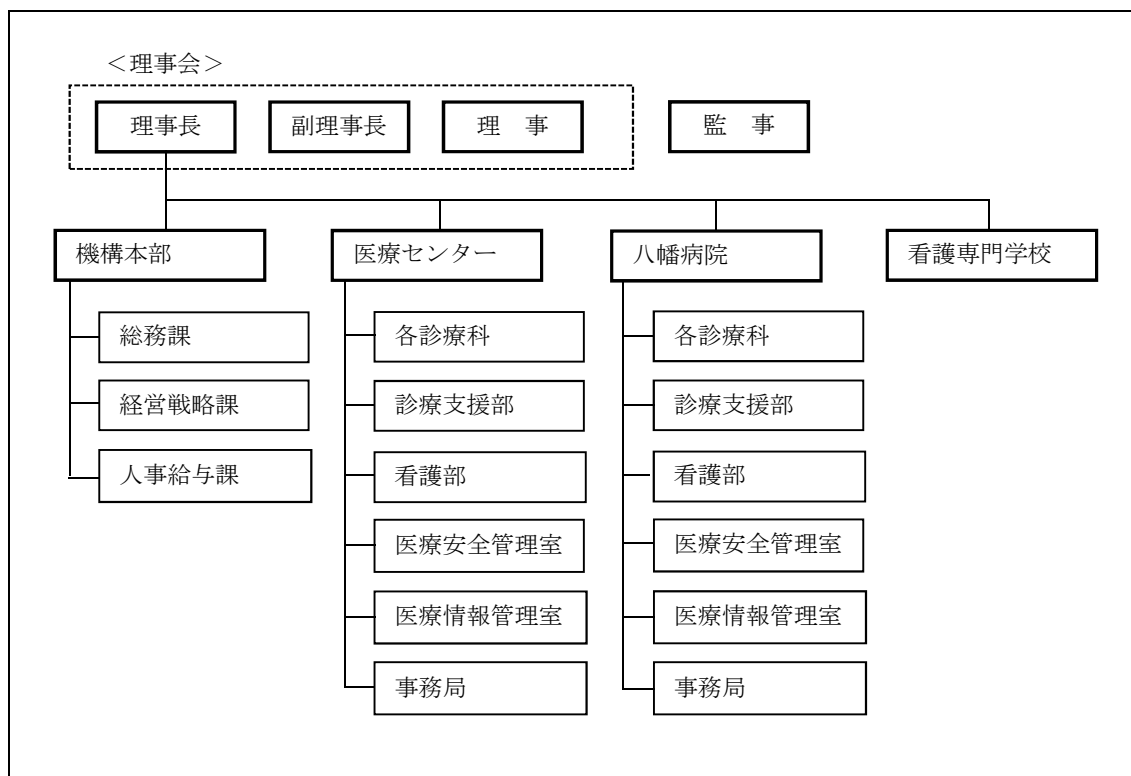
(5) 沿革

平成31年4月1日 地方独立行政法人として設立

(6) 設立に係る根拠法

地方独立行政法人法（平成15年法律第118号）

(7) 組織図



(8) 設置・運営する施設の概要

名 称	所在地	概 要
北九州市立医療センター	北九州市小倉北区 馬借二丁目1番1号	一般病床 498床 感染症病床 16床
北九州市立八幡病院	北九州市八幡東区 尾倉二丁目6番2号	一般病床 312床
北九州市立看護専門学校	北九州市小倉北区 馬借二丁目1番1号	定 員 120名

(9) 資本金の額

資本金の額 15億9,421万円

(10) ①役員の状況 ※令和6年3月末現在

役職名	氏 名	備 考
理 事 長 (常 勤)	中西 洋一	九州大学名誉教授
副理事長 (常 勤)	中野 正信	機構本部長
理 事 (常 勤)	中野 徹	北九州市立医療センター院長
理 事 (常 勤)	岡本 好司	北九州市立八幡病院院長
理 事 (非常勤)	田中亮一郎	第一交通産業株式会社代表取締役社長
理 事 (非常勤)	松本 哲朗	アームクリニック院長・元北九州市医務監
監 事 (非常勤)	中野 昌治	弁護士
監 事 (非常勤)	和唐 雄一	公認会計士

②会計監査人の氏名または名称及び報酬

会計監査人は九州有限責任監査法人であり、当該監査法人に対する当事業年度の当法人の監査証明業務に基づく報酬の額は、8,000,000円（税抜）である。

(11) 職員数 ※令和6年3月末現在

区 分	職員数
北九州市立医療センター	1,105人
北九州市立八幡病院	702人
北九州市立看護専門学校	20人
機構本部	42人
合 計	1,869人

※ 常勤職員数 1,400人（前年度より3人増加）、平均年齢 38.9歳
市から法人への出向者数 32人、非常勤職員数 469人

2 基本的な目標等

当機構が運営する医療センター及び八幡病院は、政策医療として周産期、感染症、小児救急を含む救急及び災害時における医療を担っているほか、医療センターはがん医療、八幡病院は小児医療において、北九州地域で有数の実績を示している。

また、設立団体である北九州市からは、政策医療等を着実に実施するとともに、地方独立行政法人制度の特長を活かした自立した病院運営を行うこと、福岡県地域医療計画の実現に向けて地域医療機関との役割分担と連携に取り組むことが期待されているほか、中期目標期間において営業収支及び経常収支の黒字化を実現することが求められている。

当機構では、北九州市から示された中期目標を実現するため、政策医療を着実に実施しつつ、経営基盤の安定化に向けて、理事長のリーダーシップの下、職員一丸となって取り組むこととしている。

【北九州市立病院機構の基本理念】

1. 常に安全・安心で患者さんに信頼される医療を提供します。
2. たゆまず研鑽を積み、技能を磨き、最高の医療を提供します。
3. 地域との連携の下に、市民の病院としての役割を果たします。
4. 優秀な医療人材を育成し、地域社会に貢献します。

Ⅱ 財務に関する情報

1 財務諸表の要約

(1) 貸借対照表

(単位:百万円)

資産の部	金額	負債の部	金額
固定資産	25,547	固定負債	24,848
有形固定資産	23,374	資産見返負債	1,300
無形固定資産	694	長期借入金	4,076
投資その他の資産	1,479	移行前地方債償還債務	12,088
流動資産	9,626	引当金	7,036
現金及び預金	5,022	資産除去債務	145
医業未収金	4,390	長期リース債務	202
未収金	45	流動負債	7,190
医薬品	151	1年以内返済予定長期借入金	1,093
診療材料	15	1年以内返済予定移行前地方債償還債務	2,161
前払費用	0	預り補助金等	1
その他流動資産	4	寄附金債務	24
		医業未払金	1,947
		未払金	721
		未払消費税等	15
		預り金	115
		引当金	995
		短期リース債務	102
		その他流動負債	15
		負債合計	32,037
		純資産の部	金額
		資本金	1,594
		利益剰余金	1,542
		純資産合計	3,136
資産合計	35,174	負債純資産合計	35,174

(注) 計数はそれぞれ四捨五入によっているので、端数において合計とは一致していないものがある。

(2) 損益計算書

(単位:百万円)

科 目	金 額
営業収益	29,745
医業収益	25,569
看護師養成収益	55
運営費負担金収益	2,967
補助金等収益	1,043
寄附金収益	2
資産見返運営費負担金戻入	22
資産見返補助金等戻入	85
資産見返寄附金等戻入	2
営業費用	31,796
医業費用	29,798
看護師養成費用	199
一般管理費	520
控除対象外消費税等	1,202
資産に係る控除対象外消費税償却	77
営業損失	2,051
営業外収益	279
運営費負担金収益	52
補助金等収益	3
その他営業外収益	224
営業外費用	132
財務費用	104
その他営業外費用	28
経常損失	1,904
臨時利益	0
臨時損失	93
当期純損失	1,997
当期総損失	1,997

(注) 計数はそれぞれ四捨五入によっているもので、端数において合計とは一致していないものがある。

(3) 純資産変動計算書

(単位:百万円)

	資本金		利益剰余金			純資産 合計
	設立団体 出資金	医療機器 購入等 積立金	当 期 未 処理損失	うち当期 総 損 失	利益剰余 金 合 計	
当期首残高	1,594	2,118	1,422	—	3,539	5,133
当期変動額	—	1,422	▲3,419	▲1,997	▲1,997	▲1,997
利益処分による積立	—	1,422	▲1,422	—	—	—
当期純損失	—	—	▲1,997	▲1,997	▲1,997	▲1,997
当期末残高	1,594	3,539	▲1,997	▲1,997	1,542	3,136

(注) 計数はそれぞれ四捨五入によっているので、端数において合計とは一致していないものがある。

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	金 額
業務活動によるキャッシュ・フロー	2,155
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲2,035
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,511
資金増加額	2,632
資金期首残高	2,390
資金期末残高	5,022

(注) 計数はそれぞれ四捨五入によっているので、端数において合計とは一致していないものがある。

(5) 行政コスト計算書

(単位:百万円)

科 目	金 額
損益計算書上の費用	32,022
その他行政コスト	—
行政コスト	32,022

注記

公営企業型地方独立行政法人の業務運営に関して住民等の負担に帰せられるコスト

行政コスト 32,022百万円

自己収入等 ▲25,851百万円

機会費用 ▲112百万円

住民等の負担に帰せられるコスト合計 6,059百万円

(内数) 減価償却充当補助金相当額 107百万円

(注) 計数はそれぞれ四捨五入によっているので、端数において合計とは一致していないものがある。

2 重要な施設等の整備の状況

該当なし

3 予算及び決算の概要

(1) 業務量 (法人全体)

項目		予 算 (A)	決 算 (B)	比較 (B-A)
入院	稼働病床数 (床)	834	831	▲3
	病床利用率 (%)	81.6	74.3	▲7.3
	1日平均患者数 (人)	680.9	617.4	▲63.5
	年間延べ患者数 (人)	249,203	225,955	▲23,248
	診療単価 (円)	73,756	72,681	▲1,075
外来	1日平均患者数 (人)	1,485.3	1,492.3	7.0
	年間延べ患者数 (人)	360,934	362,639	1,705
	診療単価 (円)	21,954	24,051	2,097

(2) 予算及び決算の概要 (法人全体)

(単位: 百万円)

項目	予算 (A)	決算 (B)	比較 (B-A)
収入	34,027	32,620	▲1,408
営業収益	30,355	29,678	▲677
医業収益	26,794	25,611	▲1,184
運営費負担金収益	2,965	2,967	3
補助金等収益	535	1,045	510
その他	61	55	▲6
営業外収益	473	298	▲176
運営費負担金収益	55	52	▲3
その他営業外収益	419	245	▲173
臨時利益	0	0	0
資本収入	3,199	2,644	▲554
長期借入金	3,148	2,626	▲522
補助金等	50	16	▲34
その他資本収入	0	2	2
支出	35,151	32,397	▲2,755
営業費用	29,469	29,399	▲69
医業費用	28,606	28,767	161
給与費	15,488	15,078	▲410
材料費	8,238	8,944	705
経費	4,769	4,660	▲109
その他	111	86	▲25
一般管理費	648	451	▲197
給与費	382	313	▲69
経費	248	128	▲119
その他	18	9	▲9
その他	214	181	▲33
営業外費用	388	165	▲223
臨時損失	3	32	29
資本支出	5,293	2,800	▲2,492
建設改良費	3,318	2,782	▲536
投資	20	18	▲2
償還金	1,954	0	▲1,954
その他支出	—	—	—
単年度資金収支	▲1,124	223	1,347
年度末資金剰余	5,501	6,848	1,347

(注) 計数はそれぞれ四捨五入によっているので、端数において合計とは一致していないものがある。

Ⅲ 事業に関する説明

1 法人の総括と課題

当機構では、平成31年4月の地方独立行政法人化以降、理事長のリーダーシップの下、市立病院のブランド力の向上、職員のマインドセットの変革を掲げて様々な取組を進めてきた。

令和元年度から感染拡大が始まった新型コロナウイルス感染症（以下「新型コロナ」という。）への対応にあたっては、新型コロナ患者の病床確保に伴う病床数の減少や市民や患者の受診控えなど、病院経営にとっては長期に渡り厳しい状況が続く中であっても、当機構は本市における新型コロナ入院患者受入れの中心的な役割を担い、医療崩壊を起こすことなく市立病院としての使命を果たしてきた。

令和5年度は新型コロナが5類感染症へ移行し、ポストコロナを迎え区切りとなる年となったが、移行後も感染状況が完全に収束したわけではなく、当機構としては感染状況を踏まえながら引き続き新型コロナ対策に取り組む1年となった。また、独法化後4年が経過し第1期中期計画期間の満了という機構としての区切りを迎える年でもあったが、経営面については、組織が一丸となって積極的に経営再建に取り組むことで、一定の収支改善を実現することができた。一方で、新型コロナによる診療制限等が引き続き継続していることに加え、新型コロナに関する国・県の補助制度が大幅に縮小されたこともあり、令和5年度決算は4年ぶりに赤字を計上する結果となった。

今後も引き続き、高水準の医療及び良質な患者サービスの提供に努めるとともに、効率的な病床運用や単価向上に向けた取組、経費節減の徹底等、これまで積み重ねてきた収支改善の取組を着実に進めることにより、経営の黒字化に向けて組織を挙げて全力で取り組む。また、医師をはじめとする優秀な人材の獲得、治験・臨床研究の推進、働き方改革など第2期中期計画に基づく施策の推進を図る。

2 大項目ごとの特記事項

(1) 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

ア 政策医療の着実な実施

当機構が担う政策医療である感染症医療、周産期医療、小児救急を含む救急医療及び災害時における医療の提供については、効果的かつ効率的な運営に努めた。

特に、新型コロナ対策については、5類感染症移行後においても福岡県の定める病床確保計画のフェーズ等に従い適切に病床を確保し、新型コロナ患者を積極的に受け入れるとともに、新型コロナ患者の手術や分娩も継続的に実施した。

イ 医療センター及び八幡病院の特色を活かした医療の充実

医療センターにおいては、地域がん診療連携拠点病院として、手術支援ロボット「ダヴィンチ」やリニアックの活用拡大を図り、高度で専門的な医療を提供した。また、小児救急医療において平日の時間外診療の開始や、救急医療体制の強化による救急車受入件数の増加を図ったほか、肥満症専門病院の認定取得など、生活習慣病等の体制強化に取り組んだ。

八幡病院においては、新型コロナの影響により小児感染症患者が減少している状況を踏まえ、小児血液・腎臓・アレルギー・神経内科の専門性の高い医療を提供した。また、小児集中治療室（PICU）・無菌室を活用した専門医療を提供したほか、心臓血管外科開設に向けた体制整備にも取り組んだ。

ウ 医療の質の確保

人材の確保・育成については、職員採用計画に基づき、適宜採用試験を実施することで、多様な職種の人材確保に努めた。また、医療スタッフが長く働き続けることができる職場環境を整備するため、医師事務作業補助者や看護補助者を増員して医師・看護師の負担軽減を図るとともに、新規採用職員や階層別の研修など院内の教育体制を充実させた。

医療の質の確保・向上については、医療の多様化や複雑化に対応するため、医療スタッフが診療科や職域を超えて連携する「チーム医療」の推進に取り組んだほか、医療の標準化に向けてクリニカルパスの新規作成件数や適用率の向上に努めた。また、八幡病院においては、病院機能評価（Ver. 3.0）認定のための訪問審査に適切に対応した。

医療安全の徹底については、医療事故等の再発防止に向けた事例の分析や対策の検討を行ったほか、機構全体の危機管理体制を強化するため、業務継続計画（BCP）に関する研修を実施した。また、院内迅速対応チームについてマニュアルの検討や見直しを行った。

医療に関する調査・研究については、臨床研究推進センターを中心に両病院の治験・臨床研究にかかる倫理審査体制の強化、実施・支援体制の強化や、職員を対象とした教育研修セミナーの継続的な開催、関連部署との円滑な連携等を行うことにより、治験・臨床研究の推進に取り組んだ。

エ 市民・地域医療機関からの信頼確保

患者サービスの向上については外来診療費後払いシステムの導入による受付の待ち時間短縮や、患者支援センターの活用拡大の強化に取り組んだほか、多職種介入による入退院支援機能の強化に取り組んだ。また、広報機能を強化し、パンフレットやホームページに加え、各種SNSを活用した積極的な情報発信に努めた。

地域医療機関等との連携については、積極的に医療機関に訪問したほかヒアリングやアンケートを実施し、課題の把握や改善策の検討を行うなど、信頼関係の構築に努めた。

(2) 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

ア 収入増加・確保対策

病床稼働率や患者数については、新型コロナ対策を優先した病院運営を実施したことで例年に比べて減少しているものの、新型コロナ患者の増減に合わせた柔軟な病床見直し、地域連携機能や救急受入体制の強化、病棟再編やベッドコントロールの効率化などを行うことで、一般病床の稼働率向上に努めた。また、経営本部会議や部門別の経営ヒアリングなどを活用して、目標管理による達成状況の確認、原因分析や課題解決策の検討に努めた。

適切な診療報酬の確保については、新規施設基準の取得や医学管理料等の算定率向上による収益増に努めるとともに、査定減比率の改善や未収金対策にも取り組んだ。また、次年度の診療報酬改定に向けて両病院で改定対応チームを編成し、関係部門が適宜情報の共有を行った。

イ 経費節減・抑制対策

コスト削減の推進については、全国規模の共同購入組織の活用や価格交渉の徹底により、医薬品や診療材料の価格削減に取り組んだほか、損害保険の活用などによる医療機器等の保守契約の見直しや、後発医薬品の採用率向上に取り組んだ。

医療機器等の有効活用及び計画的な整備については、両病院の電子カルテの共通化を図る方針のもと医療センターの電子カルテ更新を実施したほか、中長期の高額医療機器等の更新計画の策定を行った。

ウ 自立的な業務運営体制の構築

マネジメント体制については、新型コロナ対策などの経営課題に迅速に対応するため、経営本部会議や幹部会等を効果的に運用したほか、工程表による主要事業の適切な進捗状況把握を実施した。また、病院経営に精通した民間人材の登用や階層別研修の実施など、事務部門の組織体制も強化した。

職員の経営意識の向上については、病院運営や経営状況等を職員にリアルタイムに提供するため、職員向けの経営状況説明会、職員向け広報誌、グループウェアを活用した情報発信などに取り組んだほか、専門事業者を活用した診療科別収支の分析を実施した。

法令・行動規範の遵守等については、ハラスメントの防止に向けた相談受付などを実施したほか、電子署名の厳格な管理・運用を行うために電子署名規程を策定した。

エ 職場環境の充実

働きやすく、長く働き続けることができる職場環境を構築するため、医療スタッフの負担軽減やタスクシフティングの推進、柔軟な勤務形態の導入や定年延長に関する検討、法人固有の福利厚生制度の創設を行った。

(3) 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置

ア 財務基盤の安定化

財務基盤の安定化については、月次決算や部門別の目標達成状況の分析・情報共有により、目標管理による効率的な病院運営に努めた。また、病院経営への貢献に対する医師のインセンティブ制度の見直しに着手したほか、他職種への導入に向け調査・研究を開始した。

令和5年度の経営状況については、新型コロナの5類感染症移行後、県からの新型コロナ補助金が大幅に減少した一方で、新型コロナによる患者減などの経営への影響は継続しており、光熱費等の価格高騰も影響して、営業収支は4年ぶりに赤字に転換する結果となった。

イ 運営費負担金のあり方

運営費負担金については、不採算医療である感染症医療や周産期医療などの政策医療を着実に実施していくため、市からの運営費交付金が国の基準に基づいて適切に交付されるよう、市と必要な協議を行った。

(4) その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置

ア 看護専門学校運営

看護専門学校については、臨床看護及び教育の質の向上に向けて、優秀な教員人材の確保、教員の外部研修への参加などを実施するとともに、将来の電子テキスト導入に向け業者選定や端末についての検討を実施した。

イ 施設・整備の老朽化対策

建築後30年以上が経過した医療センターについて、将来的な施設更新に向けた今後の医療センターのあり方の検討について市と協議を開始するとともに、設備等の老朽化対策については計画的な改修を実施した。

ウ 市政への協力

市との緊密な連携体制の構築に向けて、市幹部と機構幹部の意見交換や、機構内部会議への担当部局のオブザーバー参加などにより情報共有に努めた。また、第2期中期計画の策定にあたっては、市の定める第2期中期目標の実現に向け市と綿密な協議を実施した。

項目別の状況

中期目標 (項目)	第1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項 1 政策医療の着実な実施 (1) 感染症医療
--------------	---

中期計画	年度計画
<p>(1) 感染症医療</p> <p>医療センターにおいて、市内で唯一の「第二種感染症指定医療機関」として、二類感染症や新型インフルエンザの受け入れに関して中核的な役割を担う。</p> <p>○ 二類感染症が発生した場合は、市の対策部門と密接な連携を図りながら、患者の収容・治療に迅速に対応する。</p> <p>○ 二類感染症患者の長期入院等に備えた体制を確保するとともに、二類感染症に対応できる専門的な知識と技術を有する職員の育成に努める。</p> <p>○ 感染症発生時に備え、検査試薬や医薬品等の十分な数量の確保に努めるとともに、関係機関と連携して必要な対策・訓練を実施する。</p>	<p>(1) 感染症医療</p> <p>ア 医療センターにおいて、市内で唯一の「第二種感染症指定医療機関」として、二類感染症や新型インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症等を含む新興・再興感染症の受け入れに関して中核的な役割を担う。</p> <p>【令和5年度の取組み】</p> <p>○ 関係機関との連携による対策等の実施</p> <p>○ 感染症患者の長期入院等に備えた体制の整備</p> <p>○ 感染症に対応できる職員の育成</p> <p>○ 検査試薬や医薬品の十分な数量の供給体制の整備</p> <p>○ 感染症医療の提供体制の適正化に向けた検討</p>

中期目標 (内容)	医療センターにおいて、「第二種感染症指定医療機関」としての役割を果たすこと。
--------------	--

実績及び法人自己評価		北九州市評価	
取組、成果、課題、評価理由等	評価	評価	評価理由・特記事項等
<p>(1) 感染症医療</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大を受けて、市内唯一の第二種感染症指定医療機関である医療センターだけでなく、八幡病院においても、県の重点医療機関（令和5年9月30日まで）として積極的に入院患者の受入れを実施した。</p> <p>【令和5年度の取組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 新型コロナウイルス対策について、福岡県・北九州市の要請に応じて対応した。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 県からの要請に応じて、医療センターで最大18床（前年度32床）、八幡病院で最大24床（前年度23床）のコロナ病床を確保 ○ 新型コロナウイルス患者の長期入院等に適切に対応するため、各病棟からの看護師等の応援体制を構築し、適切に運用した。 ○ 新型コロナウイルスに対応できる職員の育成のため、院内研修及び訓練を継続的に実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 院内感染対策研修会を2回実施 ・ 個人防護服着脱等の訓練を適宜実施 ○ 医薬品のほか、マスクやガウンなどの個人防護具の供給不安に備え、余裕を持った在庫確保を行うとともに、機構全体で定期的な在庫状況の情報共有を行った。 ○ 感染症医療の提供体制の適正化に向けた検討は、新型コロナ対応を優先し、今後の検討課題とした。 	4	4	<p>新型コロナウイルス感染症に対し、第二種感染症指定医療機関である医療センターに加え、八幡病院においても新型コロナウイルス感染症の重点医療機関（令和5年9月30日まで）として病床を確保し患者を受け入れたほか、新型コロナウイルス感染症患者の手術や分娩を行った。</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策への貢献を踏まえ、評価「4」とした。</p>

中期計画	年度計画
	<p data-bbox="791 241 1458 398">イ 特に、新型コロナウイルスへの対応については、北九州市と連携して、医療センター、八幡病院において、北九州地域の新型コロナウイルス対策における中心的な役割を担う。</p> <p data-bbox="804 443 1078 477">【令和5年度の取組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="820 486 1458 555">○ 感染症法上の位置づけの見直しを踏まえた新型コロナウイルス感染症患者の適切な受入 <li data-bbox="820 1084 1174 1117">○ 院内感染予防対策の徹底

実績及び法人自己評価		北九州市評価	
取組、成果、課題、評価理由等	評価	評価	評価理由・特記事項等
<p>特に新型コロナ対策については、北九州市と連携して、医療センター、八幡病院において、北九州地域の新型コロナウイルス対策の中心的な役割を担った。</p> <p>【令和5年度の取組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 新型コロナの5類感染症移行後も福岡県の定める病床確保計画のフェーズ等に従い適切に病床を確保した。新型コロナ患者の入院を積極的に受入れるとともに、新型コロナ患者の手術や分娩も実施した。 <p><医療センター></p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナ新規入院患者数 317 人（R2：116 人、R3：279 人、R4：363 人） ・手術件数 17 件（R2：2 件、R3：2 件、R4：10 件） ・分娩件数 2 件（R2：2 件、R3：15 件、R4：18 件） <p><八幡病院></p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナ新規入院患者数 247 人（R2：113 人、R3：221 人、R4：298 人） ・手術件数 2 件（R2：0 件、R3：0 件、R4：8 件） ・重度心身障害や精神疾患等の患者も受入 <ul style="list-style-type: none"> ○ 院内感染予防のため、適切な対策を徹底した。 ・職員の検温・健康チェックを毎日実施 ・入館者の検温・手指消毒を感染レベルに応じて実施 ・个人防护具や消毒液等の調達を滞りなく実施 ・感染状況に応じて、職員の行動制限や関係業者の立ち入り制限を実施 ・院内の感染レベルに応じて、順次行動規程を改定・周知 			

中期目標 (項目)	第1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項 1 政策医療の着実な実施 (2) 周産期医療
--------------	---

中期計画	年度計画						
<p>(2) 周産期医療 医療センターにおいて、「周産期母子医療センター」として、高度で専門的な医療を提供する。</p> <p>○ 胎児要因や母体要因による母体搬送の受け入れ、緊急分娩や異常分娩への小児科医の立ち会い、新生児外科疾患の手術などの診療を24時間体制で行うなど、ハイリスク妊娠やハイリスク新生児の診断・加療について北九州市とその近郊において中心的な役割を担う。</p> <p>< 関連指標 ></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">項 目</th> <th style="width: 70%;">医療センター (H29 実績)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>母体搬送件数</td> <td style="text-align: right;">112 件</td> </tr> <tr> <td>N I C U 受入患者数</td> <td style="text-align: right;">2,009 件</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 母体搬送やN I C U 受入は、市内4ヶ所の周産期医療機関の役割分担によって行われている。</p>	項 目	医療センター (H29 実績)	母体搬送件数	112 件	N I C U 受入患者数	2,009 件	<p>(2) 周産期医療 医療センターにおいて、「周産期母子医療センター」として、高度で専門的な医療を提供する。</p> <p>【令和5年度の取組み】</p> <p>○ 周産期医療の提供体制の適正化に向けた検討</p>
項 目	医療センター (H29 実績)						
母体搬送件数	112 件						
N I C U 受入患者数	2,009 件						

中期目標 (内容)	医療センターにおいて、「周産期母子医療センター」として、高度で専門的な医療を提供すること。
--------------	---

実績及び法人自己評価		北九州市評価																								
取組、成果、課題、評価理由等	評価	評価	評価理由・特記事項等																							
<p>(2) 周産期医療</p> <p>医療センターにおいて、周産期母子医療センターとして、他病院で受入困難な新型コロナに感染した妊婦の分娩を適切に実施したほか、24時間体制でハイリスク妊娠や新生児に高度で専門的な医療を提供し、北九州地域における中心的な役割を担った。</p> <p>【令和5年度の取組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 周産期医療の提供体制の適正化に向けて、市の協力も得ながら関係機関との調整に取組み、地域全体の医療提供機能を踏まえた運用（紹介患者の分娩対応）を行った。 <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナ患者の分娩件数2件（R2:2件、R3:15件、R4:18件） ○ 患者サービス向上のため病棟に個室を増室した。 <p><関連指標></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="5">医療センター</th> </tr> <tr> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>母体搬送件数(件)</td> <td>98</td> <td>70</td> <td>54</td> <td>59</td> <td>53</td> </tr> <tr> <td>N I C U受入患者数(件)</td> <td>2,476</td> <td>1,958</td> <td>2,031</td> <td>2,420</td> <td>2,479</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 母体搬送やN I C U受入は、市内4ヶ所の周産期医療機関の役割分担によって行われている。</p>	項目	医療センター					R1	R2	R3	R4	R5	母体搬送件数(件)	98	70	54	59	53	N I C U受入患者数(件)	2,476	1,958	2,031	2,420	2,479	3	3	<p>母体搬送件数は微減。 NICU 受入患者数はコロナ禍以前と同水準まで増加。 [R1:2,476 件→R2:1,958 件→R3:2,031 件→R4:2,420 件→R5:2,479 件]</p> <p>他病院で受入困難な新型コロナウイルスに感染した妊婦など2件の新型コロナウイルス感染患者の分娩を実施。周産期母子医療センターを24時間体制で運営し、高度で専門的な医療を提供しており、順調に実施していることから、評価「3」とした。</p>
項目		医療センター																								
	R1	R2	R3	R4	R5																					
母体搬送件数(件)	98	70	54	59	53																					
N I C U受入患者数(件)	2,476	1,958	2,031	2,420	2,479																					

<p>中期目標 (項目)</p>	<p>第1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項 1 政策医療の着実な実施 (3) 小児救急を含む救急医療</p>
<p>中期計画</p>	<p>年度計画</p>
<p>(3) 小児救急を含む救急医療 八幡病院において、「救命救急センター」、「小児救急センター」としての役割を果たす。</p> <p>○ 北九州医療圏における救急医療体制の中核施設として、救急外来施設の充実等により、24時間365日救急患者を断らず受け入れ、適切な医療を提供する。</p> <p>○ 特に小児医療については、小児科外来の充実や小児集中治療室(PICU)の整備等により、初療から集中治療を要する場合まで24時間365日対応できる環境を整え、適切な医療を提供する。</p> <p>○ 救急患者に対する適切な医療を提供するため、救急科及び関連診療科の医師確保に努めるとともに、救急科専門医及び初期研修医の基幹研修施設等として、人材育成を通じて救急受入れ体制の強化に取り組む。</p>	<p>(3) 小児救急を含む救急医療 八幡病院において、「救命救急センター」、「小児救急センター」としての役割を果たす。</p> <p>【令和5年度の取組み】 <施設・設備の整備等></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 救急外来施設の充実等 ○ 小児科外来の充実 ○ 小児集中治療室(PICU)・無菌室等の活用 <p><院内体制の充実・強化></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 救急科及び関連診療科の医師確保 <ul style="list-style-type: none"> ・内科系常勤医の確保 ○ 人材育成を通じた救急受入れ体制の強化 ○ 救急医療に関する専門人材の雇用 <ul style="list-style-type: none"> ・救急救命の採用 ○ 救急車応需率の向上 <ul style="list-style-type: none"> ・近隣病院との救急受入連携・情報共有の検討

中期目標 (内容)	八幡病院において、「救命救急センター」及び「小児救急センター」としての役割を果たすこと。
--------------	--

実績及び法人自己評価		北九州市評価	
取組、成果、課題、評価理由等	評価	評価	評価理由・特記事項等
<p>(3) 小児救急を含む救急医療</p> <p>八幡病院では、救急車応需率は前年度より増加しているものの、新型コロナ診療に伴う内科系医師の不足等により、新型コロナ以前の水準までには回復していない。令和5年度においても感染対策を徹底することで、院内クラスターを起こすことなく最大限の受入れを実施し、「救命救急センター」、「小児救急センター」としての役割を担った。</p> <p>【令和5年度の取組み】</p> <p><施設・設備の整備等></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 新型コロナの影響による小児患者の減少は継続しているが、救急外来、小児科外来、小児集中治療室（P I C U）、無菌室等の施設・設備を適切に活用して医療を提供した。令和2年4月からは、I C Uをコロナ病棟として運用しており、P I C Uには重篤な成人も入院した。また、新型コロナに関する診療報酬上の特例で届け出ていたハイケアユニット入院医療管理料を3月より正式に届け出た。 <ul style="list-style-type: none"> ・ P I C U稼働率 49% (R1: 50%、R2: 40%、R3: 49%、R4: 48%) ・ 無菌室稼働率 44% (R1: 75%、R2: 43%、R3: 26%、R4: 24%) <p><院内体制の充実・強化></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 救急科及び関連診療科の医師確保に向けて、理事長・院長等による大学医学部等への働きかけのほか、医師紹介会社からの情報提供を活用した。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 大学訪問回数 55 回（九州大学、産業医科大学、久留米大学、長崎大学、福岡大学、九州歯科大学、佐賀大学、慶應義塾大学） ・ 医師紹介会社 25 社と契約、紹介件数 94 件 ・ 消化器内科 1 名、麻酔科 1 名、救急科医師 2 名、精神科（精神科救急）1 名増員、歯科（顔面外傷等）1 名補充 ○ 初期研修医 8 名のほか、他病院の研修医を受け入れ、人材育成を通じた救急医受入れ体制の強化を行った。また、令和5年度より初期研修医受入枠が 1 名増となり、更なる体制強化につながった。 ○ 救急医療に関する専門人材として、救急救命士を 2 名体制で運用した。 ○ 積極的な救急受入を実施し、受入件数は独法化後の最高値となった。なお、受入件数の著しい増加に伴い応需率はコロナ以前の水準には及ばないが、昨年度に比べて増加した。 ○ 新型コロナのクラスターの影響等による不応需増の対策として近隣病院との緊急受入れに関する情報共有を開始したが、感染状況が落ち着いたため通常の受入体制に移行した。 	4	4	<p>令和5年度から消化器内科 1 名、麻酔科 1 名、救急科医師 2 名、精神科（精神科救急）1 名、歯科（顔面外傷等）1 名を増員し、救急医療体制を強化していることは評価できる。</p> <p>救急患者の受入件数の増加に伴い応需率はコロナ以前の水準には及ばないが、昨年度に比べ上昇しており、救急受入目標件数 4,000 件を上回って実施していることから評価「4」とした。</p>

中期計画

年度計画

< 関連指標 >

項目	八幡病院	
	H29 実績	R5 目標
救急車応需率	96.3%	98.5%
救急受入件数	3,567 件	—
救急患者手術件数	306 件	—
小児救急ウォークイン患者数	29,509 人	—

※ 救急車応需率＝救急車受入数÷救急要請数。

※ 小児救急ウォークイン患者数は、救急車を利用せずに時間外に受診した患者数。

実績及び法人自己評価						北九州市評価																																				
取組、成果、課題、評価理由等						評価	評価理由・特記事項等																																			
< 関連指標 > <table border="1" data-bbox="129 264 1007 517"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="5">八幡病院</th> </tr> <tr> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>救急車応需率(%)</td> <td>94.0</td> <td>80.6</td> <td>81.7</td> <td>70.1</td> <td>75.1</td> </tr> <tr> <td>救急受入件数(件)</td> <td>3,604</td> <td>3,053</td> <td>3,463</td> <td>4,334</td> <td>4,654</td> </tr> <tr> <td>救急患者手術件数(件)</td> <td>342</td> <td>350</td> <td>341</td> <td>348</td> <td>401</td> </tr> <tr> <td>小児救急ウォークイン患者数(人)</td> <td>30,402</td> <td>15,769</td> <td>20,326</td> <td>23,223</td> <td>29,199</td> </tr> </tbody> </table>						項目	八幡病院					R1	R2	R3	R4	R5	救急車応需率(%)	94.0	80.6	81.7	70.1	75.1	救急受入件数(件)	3,604	3,053	3,463	4,334	4,654	救急患者手術件数(件)	342	350	341	348	401	小児救急ウォークイン患者数(人)	30,402	15,769	20,326	23,223	29,199		
項目	八幡病院																																									
	R1	R2	R3	R4	R5																																					
救急車応需率(%)	94.0	80.6	81.7	70.1	75.1																																					
救急受入件数(件)	3,604	3,053	3,463	4,334	4,654																																					
救急患者手術件数(件)	342	350	341	348	401																																					
小児救急ウォークイン患者数(人)	30,402	15,769	20,326	23,223	29,199																																					

中期目標 (項目)	<p>第1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項</p> <p>1 政策医療の着実な実施</p> <p>(4) 災害時における医療</p>
--------------	--

中期計画	年度計画
<p>(4) 災害時における医療</p> <p>ア 八幡病院において、北九州市地域防災計画や北九州市医師会医療救護計画に基づき、市及び北九州市医師会の指示の下、施設や設備面の機能を活かし、市内の「災害拠点病院」の統括病院としての役割を果たす。</p> <p>○ 災害発生時には院内に災害医療・作戦指令センター(DMOC)を設置し、関係機関と連携して医療支援を行う。</p> <p>○ 災害医療研修センター(DMEC)において、災害時に迅速かつ効果的な医療救護活動ができる人材を育成する。</p> <p>○ 災害医療コーディネーターが派遣される施設として、北九州地域の災害医療に対応する。</p> <p>○ 県内最大規模の屋上ヘリポートを活かし、広域から傷病等患者の受け入れを行うとともに、海上保安庁と連携し水難事故に対応する。</p> <p>○ 隣接する八幡薬剤師会と連携し、災害時に迅速かつ十分な薬品供給体制を構築する。</p>	<p>(4) 災害時における医療</p> <p>ア 八幡病院において、北九州市地域防災計画や北九州市医師会医療救護計画に基づき、市及び北九州市医師会の指示の下、施設や設備面の機能を活かし、市内の「災害拠点病院」の統括病院としての役割を果たす。</p> <p>【令和5年度の取組み】</p> <p>○ DMOC訓練の継続的な実施</p> <p>○ 災害医療研修センターにおける人材育成</p> <p>○ 屋上ヘリポートの活用(広域からの患者受入れ)</p> <p>○ 災害時の迅速かつ十分な薬品供給体制の運用</p>

中期目標 (内容)	<p>ア 八幡病院において、市及び北九州市医師会との連携の下、施設や設備面の機能を活かし、市内の「災害拠点病院」の統括病院としての役割を果たすこと。</p> <p>イ 医療センター及び八幡病院において、「災害拠点病院」としての役割を果たすこと。</p> <p>ウ 災害時における医療提供については、病院自体が被災することも想定して対応策を準備すること。</p>
--------------	--

実績及び法人自己評価		北九州市評価	
取組、成果、課題、評価理由等	評価	評価	評価理由・特記事項等
<p>(4) 災害時における医療</p> <p>ア 災害拠点病院の統括病院としての役割 八幡病院において、災害時における市内の「災害拠点病院」の統括病院としての役割を果たすための取組みを行った。</p> <p>【令和5年度の取組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 地震を想定したBCP訓練に際してDMOC訓練を実施した。また、災害拠点病院全体の連絡訓練を実施した。 ○ 災害時に備え、災害医療研修センターにおける人材育成に向けた取組みを実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ・院内関連会議開催回数8回 ○ 海上保安庁や市消防局ヘリコプターによる離着訓練を実施するとともに、患者受入れ等で屋上ヘリポートを適切に活用した。 <ul style="list-style-type: none"> ・屋上ヘリポート使用回数8回 ○ 災害時の迅速かつ十分な薬品供給に向けて、令和元年度末に八幡薬剤師会と協定を締結し、有事に備えている。 	3 (3)	3 (3)	<p>災害時における医療について、災害発生時に備えた研修・訓練等の取組を継続して進めるとともに、能登半島沖地震被災地にDMATを派遣するなど、災害拠点病院としての役割を適切に果たしており、年度計画を順調に実施していることから、評価「3」とした。</p>

中期計画	年度計画													
<p>イ 医療センター、八幡病院において、「災害拠点病院」としての役割を果たす。</p> <p>○ 災害拠点病院として、災害発生時には24時間体制で災害疾病者の受入れ及び搬出、被災病院、避難所・救護所等への支援を行うとともに、被災地に災害派遣医療チーム(DMAT)の派遣を行う。</p>	<p>イ 医療センター、八幡病院において、「災害拠点病院」としての役割を果たす。</p> <p>【令和5年度の取組み】</p> <p>○ 災害時の適切な対応</p>													
<p><関連指標></p>														
<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="119 795 303 840">項目</th> <th data-bbox="303 795 531 840">医療センター</th> <th data-bbox="531 795 762 840">八幡病院</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="119 840 303 963">日本 DMAT 登録隊員数</td> <td data-bbox="303 840 531 963">医師 2人 看護師 2人 業務調整員1人</td> <td data-bbox="531 840 762 963">医師 5人 看護師 4人 業務調整員2人</td> </tr> <tr> <td data-bbox="119 963 303 1086">福岡県 DMAT 登録隊員数</td> <td data-bbox="303 963 531 1086">医師 2人 看護師 8人 業務調整員6人</td> <td data-bbox="531 963 762 1086">医師 5人 看護師 3人 業務調整員3人</td> </tr> <tr> <td data-bbox="119 1086 303 1249">DMAT等 派遣回数 (人数)</td> <td data-bbox="303 1086 531 1249">H28実績 1回(4人) H29実績 1回(5人)</td> <td data-bbox="531 1086 762 1249">H28実績 3回(11人) H29実績 1回(3人)</td> </tr> </tbody> </table>			項目	医療センター	八幡病院	日本 DMAT 登録隊員数	医師 2人 看護師 2人 業務調整員1人	医師 5人 看護師 4人 業務調整員2人	福岡県 DMAT 登録隊員数	医師 2人 看護師 8人 業務調整員6人	医師 5人 看護師 3人 業務調整員3人	DMAT等 派遣回数 (人数)	H28実績 1回(4人) H29実績 1回(5人)	H28実績 3回(11人) H29実績 1回(3人)
項目	医療センター	八幡病院												
日本 DMAT 登録隊員数	医師 2人 看護師 2人 業務調整員1人	医師 5人 看護師 4人 業務調整員2人												
福岡県 DMAT 登録隊員数	医師 2人 看護師 8人 業務調整員6人	医師 5人 看護師 3人 業務調整員3人												
DMAT等 派遣回数 (人数)	H28実績 1回(4人) H29実績 1回(5人)	H28実績 3回(11人) H29実績 1回(3人)												

実績及び法人自己評価		北九州市評価																																																																																																																															
取組、成果、課題、評価理由等		評価	評価理由・特記事項等																																																																																																																														
<p>イ 災害拠点病院としての役割</p> <p>医療センター、八幡病院において、災害時の適切な対応により、「災害拠点病院」としての役割を果たすための取組みを実施した。</p> <p>【令和5年度の取組み】</p> <p>○ 災害時の適切な対応に向けて、両病院において各種訓練や研修等を適切に実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療センターは、災害情報システムの訓練・研修会、病棟火災訓練等を実施するとともに、能登半島沖地震被災地にJMATを派遣 ・八幡病院は、DMATの各種訓練・研修等に参加するとともに、能登半島沖地震被災地にDMAT及びJMATを派遣 <p>< 関連指標 ></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2">項目</th> <th colspan="5">医療センター</th> </tr> <tr> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">日本 DMAT 登録隊員数 (人)</td> <td>医師</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>看護師</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>業務調整員</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">福岡県 DMAT 登録隊員数 (人)</td> <td>医師</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>看護師</td> <td>6</td> <td>8</td> <td>2</td> <td>6</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>業務調整員</td> <td>6</td> <td>8</td> <td>2</td> <td>8</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">DMAT 等派遣</td> <td>(回)</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>(人)</td> <td>0</td> <td>3</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2">項目</th> <th colspan="5">八幡病院</th> </tr> <tr> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">日本 DMAT 登録隊員数 (人)</td> <td>医師</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>5</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>看護師</td> <td>7</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>3</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>業務調整員</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">福岡県 DMAT 登録隊員数 (人)</td> <td>医師</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>看護師</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>業務調整員</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">DMAT 等派遣</td> <td>(回)</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>(人)</td> <td>0</td> <td>4</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table>		項目		医療センター					R1	R2	R3	R4	R5	日本 DMAT 登録隊員数 (人)	医師	1	1	2	2	2	看護師	2	2	2	3	3	業務調整員	2	2	2	2	2	福岡県 DMAT 登録隊員数 (人)	医師	2	2	2	2	3	看護師	6	8	2	6	7	業務調整員	6	8	2	8	8	DMAT 等派遣	(回)	0	1	0	0	0	(人)	0	3	0	0	0	項目		八幡病院					R1	R2	R3	R4	R5	日本 DMAT 登録隊員数 (人)	医師	6	6	6	5	5	看護師	7	6	6	3	5	業務調整員	4	4	4	4	4	福岡県 DMAT 登録隊員数 (人)	医師	1	1	1	1	1	看護師	3	2	2	2	2	業務調整員	2	2	2	2	1	DMAT 等派遣	(回)	0	1	0	0	1	(人)	0	4	0	0	4	(4)	(4)
項目				医療センター																																																																																																																													
		R1	R2	R3	R4	R5																																																																																																																											
日本 DMAT 登録隊員数 (人)	医師	1	1	2	2	2																																																																																																																											
	看護師	2	2	2	3	3																																																																																																																											
	業務調整員	2	2	2	2	2																																																																																																																											
福岡県 DMAT 登録隊員数 (人)	医師	2	2	2	2	3																																																																																																																											
	看護師	6	8	2	6	7																																																																																																																											
	業務調整員	6	8	2	8	8																																																																																																																											
DMAT 等派遣	(回)	0	1	0	0	0																																																																																																																											
	(人)	0	3	0	0	0																																																																																																																											
項目		八幡病院																																																																																																																															
		R1	R2	R3	R4	R5																																																																																																																											
日本 DMAT 登録隊員数 (人)	医師	6	6	6	5	5																																																																																																																											
	看護師	7	6	6	3	5																																																																																																																											
	業務調整員	4	4	4	4	4																																																																																																																											
福岡県 DMAT 登録隊員数 (人)	医師	1	1	1	1	1																																																																																																																											
	看護師	3	2	2	2	2																																																																																																																											
	業務調整員	2	2	2	2	1																																																																																																																											
DMAT 等派遣	(回)	0	1	0	0	1																																																																																																																											
	(人)	0	4	0	0	4																																																																																																																											

中期計画	年度計画
<p>ウ 災害時における医療提供については、病院自身が被災することも想定して対応策を準備する。</p> <p>○ 医療センターにおいては、国の基準に基づいて非常用電源や備蓄資材（食糧・飲料水、医薬品等）を確保するとともに、業務継続計画（BCP）を策定し、災害時には、病院機能を維持した上で、全ての患者に医療を提供できるよう努める。</p> <p>ただし、災害拠点病院としての機能を果たすためには、免震構造、ライフライン機能の維持、災害活動スペース等を備えることが望ましいが、現病院の施設、設備では十分でないことから、施設の老朽化対策に合わせて、将来的な施設や設備のあり方について検討していく。</p> <p>○ 八幡病院においては、国の基準に基づいて非常用電源や備蓄資材（食糧・飲料水、医薬品等）を確保し、災害時においても病院機能を維持するとともに、全ての患者に医療を提供できるよう、業務継続計画（BCP）を策定し、適切に運用する。</p>	<p>ウ 災害時における医療提供については、病院自身が被災することも想定して対応策を準備する。</p> <p>【令和5年度の取組み】</p> <p><医療センター></p> <p>○ 国の基準に基づく非常用電源や備蓄資材の整備</p> <p>○ 業務継続計画（BCP）の適切な運用</p> <p>○ 災害に対する施設や設備の適切な改修</p> <p><八幡病院></p> <p>○ 国の基準に基づく非常用電源や備蓄資材の確保</p> <p>○ 業務継続計画（BCP）の適切な運用</p> <p><機構本部・看護専門学校></p> <p>○ 業務継続計画（BCP）の適切な運用</p>

実績及び法人自己評価		北九州市評価	
取組、成果、課題、評価理由等	評価	評価	評価理由・特記事項等
<p>ウ 災害時における医療提供</p> <p>災害時における医療提供について、病院自体が被災することも想定し、対応策の準備に取り組んだ。</p> <p>【令和5年度の取組み】</p> <p><医療センター></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 災害時の非常用電源や備蓄資材については、国の基準に基づいて必要な整備を行った。 <ul style="list-style-type: none"> ・上水は4日分を確保。雑用水は3日以上連続供給可能 ・電力は、自家発電機を2台設置、令和3年度に燃料用の重油タンクを増設 ・その他、食料3日分、飲料3日分、医薬品7日分、診療材料3日分のほか、医療ガスも確保 ○ 災害時に備え、BCP委員会において、業務継続計画（BCP）に基づいた対策の検討や訓練に取り組んだ。 <ul style="list-style-type: none"> ・火災訓練、大規模災害時対応訓練を実施 ○ 医療センターの老朽化対策等について、令和3年度に策定した基本方針や設備改修計画に基づき、令和5年度に実施を予定していた改修を適切に実施した。 <p><八幡病院></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 災害時の非常用電源や備蓄資材については、国の基準に基づいて必要な整備を行った。 <ul style="list-style-type: none"> ・上水は3.5日分、雑用水は3日分を確保。 ・電気は大容量自家発電機を設置。3日以上運転可能な重油を確保 ・その他、食料3日分、飲料3日分、医薬品7日分、診療材料4日分のほか、医療ガスも確保 ○ 災害時に備え、防火防災BCP部会において、業務継続計画（BCP）に基づいた対策の検討や訓練に取り組んだ。 <ul style="list-style-type: none"> ・サイバー攻撃やクラスターを想定したBCP計画を新たに整備 ・地震やサイバー攻撃を想定した災害訓練を実施 <p><機構本部・看護専門学校></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ BCP計画に基づく備蓄資材の拡充を実施した。 	(3)	(3)	

中期目標 (項目)	第1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項 2 各病院の特色を活かした医療の充実 (1) 医療センター
--------------	--

中期計画	年度計画
<p>(1) 医療センター</p> <p>ア がん医療について、地域がん診療連携拠点病院として、集学的治療及び標準的治療等の提供体制の充実を図るとともに、がん患者の身体的苦痛や精神心理的苦痛、社会的な問題等に対応できる体制を整備し、高度で専門的な医療を提供する。</p> <p>また、がんゲノム中核拠点病院との情報共有・連携体制の構築に努め、がんゲノム医療連携拠点病院としてがん医療の充実を図る。</p> <p>○ ロボット支援下手術による低侵襲外科手術を実施するため、手術支援ロボットの導入を検討する。検討に当たっては、導入による効果を慎重に見極めることとする。</p> <p>○ 定位放射線治療や強度変調放射線治療等の高度な放射線治療を提供するため、リニアックの更新を検討する。</p> <p>○ 高精細な画像によって診断能力が向上し、より確かな診断を迅速に提供するため、磁気共鳴コンピュータ断層装置 (MR I 3.0 T) の増設を検討する。</p>	<p>(1) 医療センター</p> <p>ア がん医療について、地域がん診療連携拠点病院として、集学的治療及び標準的治療等の提供体制の充実を図るとともに、がん患者の身体的苦痛や精神心理的苦痛、社会的な問題等に対応できる体制を整備し、高度で専門的な医療を提供する。</p> <p>【令和5年度の取組み】</p> <p>○ がんゲノム中核拠点病院との連携強化</p> <p>○ がんゲノム医療連携病院としてのがん医療の充実</p> <p>○ 手術支援ロボットの活用拡大</p> <p>○ リニアックの積極的な活用</p> <p>○ 磁気共鳴コンピュータ断層装置の更新と件数増加</p> <p>○ 乳腺撮影装置 (生検査機能付き) の導入</p>

中期目標 (内容)	ア がん医療について、「地域がん診療連携拠点病院」として、高度で専門的な医療を提供すること。 イ がん患者や家族の支援機能を充実させること。 ウ がん医療に関する地域医療機関との連携の強化に努めること。 エ その他地域の医療状況を踏まえ、市立病院として必要とされる医療を提供すること。
--------------	---

実績及び法人自己評価		北九州市評価	
取組、成果、課題、評価理由等	評価	評価	評価理由・特記事項等
<p>(1) 医療センター</p> <p>ア 高度で専門的ながん医療の提供</p> <p>地域がん診療連携拠点病院として、集学的治療及び標準的治療等の提供体制の充実を図るとともに、がん患者の身体的苦痛や精神心理的苦痛、社会的な問題等に対応できる体制を整備し、高度で専門的な医療の提供に努めた。</p> <p>【令和5年度の取組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ がんゲノム医療連携病院として、がんゲノム中核拠点病院である九州大学病院との連携を推進し、エキスパートパネル（治療方針を決定する専門家会議）を円滑に実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ・エキスパートパネル実施件数 113 回 ○ 一人ひとりのがん遺伝子変異に合わせた治療等を行う「がんゲノム医療」について、診療体制の円滑化を図るため、パネル検査の基礎的な知識や出検フローに関する勉強会を開催した。 ○ 手術支援ロボット「ダヴィンチ」を活用した手術件数は、令和4年度から新たに呼吸器外科で「肺葉切除術」を開始したことなどにより、順調に増加した。 <ul style="list-style-type: none"> ・消化器外科 78 件 (R1 : 23 件、R2 : 63 件、R3 : 47 件、R4 : 61 件) ・泌尿器科 116 件 (R1 : 10 件、R2 : 69 件、R3 : 93 件、R4 : 127 件) ・婦人科 28 件 (R3 : 17 件、R4 : 22 件 ※R3 から開始) ・呼吸器外科 24 件 (R4 : 10 件 ※R4 から開始) ○ リニアックによる治療を2台体制で実施しており、活用件数は増加した。 <ul style="list-style-type: none"> ・強度変調放射線治療 110 人 (R1 : 37 人、R2 : 62 人、R3 : 72 人、R4 : 90 人) ・定位放射線治療 39 人 (R1 : 18 人、R2 : 20 人、R3 : 20 人、R4 : 35 人) ○ 磁気共鳴コンピュータ断層装置について2台体制を維持し、令和5年度に現行の1.5Tのバージョンアップを行った。 ○ 乳腺撮影装置（生検査機能付き）について、令和5年度に導入、稼働開始した。 	4 (4)	4 (4)	<p>地域がん診療連携拠点病院として、新型コロナによる受診控えの影響を受けつつも、医療センターの特色であるがん診療の高度で専門的な医療の提供・充実を進め、患者数は前年度に比べ増加している。</p> <p>緩和ケアセンターや薬剤師外来、チーム医療の充実など、がん患者や家族の支援機能を強化しているほか、がん治療に関する地域医療機関との連携強化を進めていることは評価できる。</p> <p>救急医療については、小児救急医療における平日の時間外診療を開始するとともに、救急車受入目標件数を大幅に上回った。</p> <p>以上のことから、年度計画を上回って実施していると言えるため、評価「4」とした。</p>

中期計画	年度計画								
<p data-bbox="92 241 255 273">< 関連指標 ></p> <table border="1" data-bbox="121 277 761 483"> <thead> <tr> <th data-bbox="121 277 437 358">項目</th> <th data-bbox="437 277 761 358">医療センター (H29 実績)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="121 358 437 400">がん患者数</td> <td data-bbox="437 358 761 400">4,935 人</td> </tr> <tr> <td data-bbox="121 400 437 443">化学療法件数</td> <td data-bbox="437 400 761 443">17,140 件</td> </tr> <tr> <td data-bbox="121 443 437 483">放射線治療件数</td> <td data-bbox="437 443 761 483">12,179 件</td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="92 568 654 600">イ がん患者や家族の支援機能を充実させる。</p> <p data-bbox="114 770 761 920">○ 患者や家族の精神的なケアや生活面での不安・悩みに対応していくため、がん看護専門看護師及びがん分野の認定看護師の配置による「がん看護外来」の充実に取り組む。</p> <p data-bbox="146 1133 761 1361">また、抗がん剤の副作用等への対策として、抗がん剤治療に関する専門知識と経験のある認定薬剤師を配置した「薬剤師外来」を開設するほか、医師・薬剤師・看護師のチーム医療により、がん患者や家族が意思決定しやすい体制を整備するなど、がん患者や家族の支援機能の強化に取り組む。</p> <p data-bbox="121 1816 761 1966">○ 医療センターの患者や家族だけでなく、他院の患者や家族の不安・悩み等の相談に応えるため、「がん相談支援センター」の周知に取り組むとともに体制強化に努める。</p>	項目	医療センター (H29 実績)	がん患者数	4,935 人	化学療法件数	17,140 件	放射線治療件数	12,179 件	<p data-bbox="790 568 1351 600">イ がん患者や家族の支援機能を充実させる。</p> <p data-bbox="802 732 1077 763">【令和5年度の取組み】</p> <p data-bbox="815 775 1118 806">○ がん看護外来の充実</p> <p data-bbox="815 1133 1174 1164">○ 緩和ケアセンターの充実</p> <p data-bbox="815 1375 1091 1406">○ 薬剤師外来の充実</p> <p data-bbox="815 1659 1366 1727">○ 医師・看護師等によるチーム医療の充実 ・リンパ浮腫チームの活動強化</p> <p data-bbox="815 1816 1230 1848">○ がん相談支援センターの充実</p>
項目	医療センター (H29 実績)								
がん患者数	4,935 人								
化学療法件数	17,140 件								
放射線治療件数	12,179 件								

実績及び法人自己評価						北九州市評価																														
取組、成果、課題、評価理由等						評価	評価理由・特記事項等																													
<p><関連指標></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="5">医療センター</th> </tr> <tr> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>がん患者数(人)</td> <td>4,869</td> <td>4,844</td> <td>5,097</td> <td>5,255</td> <td>5,534</td> </tr> <tr> <td>化学療法件数(件)</td> <td>15,538</td> <td>16,632</td> <td>17,321</td> <td>17,107</td> <td>18,618</td> </tr> <tr> <td>放射線治療件数(件)</td> <td>11,781</td> <td>10,682</td> <td>10,666</td> <td>10,650</td> <td>10,840</td> </tr> </tbody> </table>						項目	医療センター					R1	R2	R3	R4	R5	がん患者数(人)	4,869	4,844	5,097	5,255	5,534	化学療法件数(件)	15,538	16,632	17,321	17,107	18,618	放射線治療件数(件)	11,781	10,682	10,666	10,650	10,840		
項目	医療センター																																			
	R1	R2	R3	R4	R5																															
がん患者数(人)	4,869	4,844	5,097	5,255	5,534																															
化学療法件数(件)	15,538	16,632	17,321	17,107	18,618																															
放射線治療件数(件)	11,781	10,682	10,666	10,650	10,840																															
<p>イ がん患者や家族の支援機能の強化</p> <p>患者や家族の精神的なケアや生活面での不安・悩みに対応していくため、がん患者や家族の支援機能を強化した。</p> <p>【令和5年度の取組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ がん看護外来について、令和2年度に開設した移植後フォローアップ外来の運用のほか、インフォームドコンセントへの看護師同席による患者の意思決定支援・不安緩和、がん患者指導管理料の算定件数増加などに取り組んだ。 <ul style="list-style-type: none"> ・がん専門看護師1名 ・がん分野認定看護師10名 ・がん分野の認定看護師介入件数3,180件 (R1:1,704件、R2:2,298件、R3:2,604件、R4:2,939件) ○ 多職種による支援を行う「緩和ケアセンター」について、支援機能の充実に努め、がん患者指導管理料・緩和ケア診療加算・外来緩和ケア管理料の増加などに取り組んだ。 <ul style="list-style-type: none"> ・「つらさのスクリーニング」実施件数1,899件 (R1:872件、R2:1,325件、R3:1,611件、R4:1,755件) ○ 抗がん剤の副作用等への対策を行う「薬剤師外来」について、抗がん剤治療に関する専門知識と経験のある認定薬剤師による服薬指導を行うなど、安全で効果的ながん薬物療法を提供した。 <ul style="list-style-type: none"> ・認定薬剤師数3名 ・延利用者数3,195人(R1:2,315人、R2:3,346人、R3:3,761人、R4:4,061人) ○ 医師・看護師等によるチーム医療を充実させるため、既存チームの活動拡大を行い、リンパ浮腫手術対象患者の地域からの紹介受入れを開始した。 <ul style="list-style-type: none"> ・リンパ管吻合術3件、リンパ浮腫指導管理料260件 ○ 市民や患者の不安・悩み等の相談に応えるため、「がん相談支援センター」の相談対応ツールを充実させるとともに、周知に向けた広報活動を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ・がん相談件数1,322件 (R1:1,086人、R2:858人、R3:882件、R4:1,198件) 						(4)	(4)																													

中期計画	年度計画									
<p>ウ がん医療に関する地域医療機関との連携の強化に努める。</p> <p>○ がん医療における医療機関の役割分担を尊重しながら連携を推進していくため、医療従事者の資質向上に向けた情報提供や研修の開催等、地域全体のレベルアップの貢献に努める。</p> <p>○ インターネットでカルテの閲覧やCT・MRIの予約ができる「連携ネット北九州」の活用を促進する。</p> <p>○ 福岡県がん地域連携クリティカルパスの普及に努める。</p> <p>< 関連指標 ></p> <table border="1" data-bbox="121 1279 761 1406"> <thead> <tr> <th data-bbox="121 1279 379 1323">項 目</th> <th colspan="2" data-bbox="379 1279 761 1323">医療センター</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="121 1323 379 1361">連携ネット北九州</td> <td data-bbox="379 1323 571 1361">H29 実績</td> <td data-bbox="571 1323 761 1361">R5 目標</td> </tr> <tr> <td data-bbox="121 1361 379 1406">新規登録患者数</td> <td data-bbox="379 1361 571 1406">558 件</td> <td data-bbox="571 1361 761 1406">700 件</td> </tr> </tbody> </table>	項 目	医療センター		連携ネット北九州	H29 実績	R5 目標	新規登録患者数	558 件	700 件	<p>ウ がん医療に関する地域医療機関との連携の強化に努める。</p> <p>【令和5年度の取組み】</p> <p>○ 医療従事者の資質向上に向けた情報提供等</p> <p>○ がん医療における「連携ネット北九州」の活用促進</p> <p>○ 地域医療連携システム「メディマップ」の院内利用促進</p> <p>○ 福岡県がん地域連携クリティカルパスの普及促進</p>
項 目	医療センター									
連携ネット北九州	H29 実績	R5 目標								
新規登録患者数	558 件	700 件								

実績及び法人自己評価		北九州市評価																		
取組、成果、課題、評価理由等	評価	評価	評価理由・特記事項等																	
<p>○ 遺伝カウンセラーの応援体制により、遺伝カウンセリング外来を開設した。</p> <p>ウ がん医療に関する地域医療機関との連携強化 医療従事者への情報提供や研修の開催等を通じて地域全体のレベルアップに努めるなど、がん医療に関する地域医療機関との役割分担と連携を推進した。</p> <p>【令和5年度の取組み】</p> <p>○ 医療従事者の資質向上に向けて、研修会を実施したほか、国や県が実施する研修会等について、地域の医療従事者への周知に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・11月に緩和ケア研修会、がん診療連携拠点病院研修会を実施 <p>○ 「連携ネット北九州」の活用促進に向けて、医療機関の訪問やチラシ郵送等によるPR活動に取り組んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3月末時点の活用医療機関数 159件 (R1:150件、R2:158件、R3:160件、R4:159件) <p>○ 地域の医療機関の基本情報が掲載されたシステム「メディマップ」を令和4年に運用開始し、逆紹介業務を効率的に実施した。</p> <p>○ 福岡県がん地域連携クリティカルパスについて、前立腺がんの院内マニュアル等を活用し、運用を推進した。</p> <p><関連指標></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="5">医療センター</th> </tr> <tr> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>連携ネット北九州 新規登録患者数(件)</td> <td>1,186</td> <td>1,159</td> <td>1,233</td> <td>1,047</td> <td>1,019</td> </tr> </tbody> </table>	項目	医療センター					R1	R2	R3	R4	R5	連携ネット北九州 新規登録患者数(件)	1,186	1,159	1,233	1,047	1,019	(3)	(3)	
項目		医療センター																		
	R1	R2	R3	R4	R5															
連携ネット北九州 新規登録患者数(件)	1,186	1,159	1,233	1,047	1,019															

中期計画	年度計画
<p>エ その他地域の医療状況を踏まえ、市立病院として必要とされる医療を提供する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 生活習慣病に対応するため、地域医療機関と連携し、糖尿病や脳卒中、循環器疾患、代謝疾患等に対応していくため、医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、検査技師でのチーム医療が提供できるように体制を強化する。 ○ 膠原病や甲状腺疾患といった地域医療提供体制の中で十分な対応が難しい医療の提供に努める。 ○ 肩・肘関節疾患、スポーツ障害・脊椎疾患に対応するため、低侵襲で早期退院が可能な脊椎内視鏡手術等の脊椎手術を実施する。 ○ せん妄や認知症に対応するため、もの忘れ外来の開設や常勤精神科医の採用に取り組む。 ○ 合併症や新生児疾患の対応等、総合的医療を提供できるように常勤眼科医の採用に取り組む。 ○ 児童福祉法に基づく「助産施設」としての役割を担う。 ○ 市立病院として、市民の命と健康を守るセーフティネットの役割を果たすよう努める。 	<p>エ その他地域の医療状況を踏まえ、市立病院として必要とされる医療を提供する。</p> <p>【令和5年度の取組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 救急医療体制の充実と受入拡大 ○ 生活習慣病・肥満症に対応するための体制強化 <ul style="list-style-type: none"> ・肥満症チームの活動強化 ・内分泌代謝・糖尿病内科の標榜 ○ 膠原病や甲状腺疾患に関する医療の提供 ○ 脊椎内視鏡手術等の脊椎手術の実施 ○ せん妄や認知症に対応するための体制強化 <ul style="list-style-type: none"> ・常勤精神科医の採用 ○ 合併症や新生児疾患の対応等に関する医療の提供

実績及び法人自己評価		北九州市評価	
取組、成果、課題、評価理由等	評価	評価	評価理由・特記事項等
<p>エ その他必要とされる医療の提供 その他地域の医療状況を踏まえ、市立病院として必要とされる医療の提供に努めた。</p> <p>【令和5年度の取組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 救急医療について、救急車受入件数2,000件を目標として順次受入体制を強化し、新型コロナの影響による受入制限がある中でも、受入件数を増加させ目標件数を大幅に上回った。 <ul style="list-style-type: none"> ・小児救急医療における平日の時間外診療を開始 ・救急車受入件数2,436件 (R1:1,533件、R2:1,427件、R3:1,773件、R4:2,143件) ○ 生活習慣病への対応を強化するため、令和2年度に開設した糖尿病センターにおいて糖尿病と糖尿病合併症の診療体制を強化したほか、肥満症診療チームの活動を強化した。 <ul style="list-style-type: none"> ・内分泌代謝・糖尿病内科を院内標榜 ・肥満症専門病院に認定 ○ 膠原病、甲状腺疾患について、専門医による外来診療を実施した。 ○ 脊椎内視鏡手術等の脊椎手術について、専門医による手術を実施した。 ○ せん妄や認知症に対応するため、令和3年度に常勤精神科医を採用して「認知症ケアチーム」を立ち上げるなど、体制を強化した。 <ul style="list-style-type: none"> ・もの忘れ相談外来を週1回、院内紹介で実施 ・認知症ケア加算算定件数5,815件 (R1:1,983件、R2:3,138件、R3:5,876件、R4:5,324件) ・せん妄ハイリスク患者ケア加算5,089件 (R3:2,334件、R4:5,107件 ※R3から開始) ○ 合併症や新生児疾患に対応するため、糖尿病センターにおいて糖尿病と糖尿病合併症に特化した集学的な診療体制を継続した。 	(4)	(4)	

中期計画	年度計画				
<p>オ 医療センターにおいて、上記の医療を提供するための標榜診療科目及び病床数は、以下のとおりとする。</p> <p>ただし、標榜診療科目及び病床の実際の運用については、今後の医療需要の変化や診療機能の向上等に合わせて柔軟に対応していく。</p> <table border="1" data-bbox="89 517 761 889"> <thead> <tr> <th data-bbox="89 517 569 566">標榜診療科目</th> <th data-bbox="569 517 761 566">病床数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="89 566 569 889">内科、心療内科、精神科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、腫瘍内科、糖尿病内科、緩和ケア内科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、呼吸器外科、心臓血管外科、小児外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、病理診断科、麻酔科、歯科</td> <td data-bbox="569 566 761 889">許可病床数 636</td> </tr> </tbody> </table>	標榜診療科目	病床数	内科、心療内科、精神科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、腫瘍内科、糖尿病内科、緩和ケア内科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、呼吸器外科、心臓血管外科、小児外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、病理診断科、麻酔科、歯科	許可病床数 636	
標榜診療科目	病床数				
内科、心療内科、精神科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、腫瘍内科、糖尿病内科、緩和ケア内科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、呼吸器外科、心臓血管外科、小児外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、病理診断科、麻酔科、歯科	許可病床数 636				

実績及び法人自己評価		北九州市評価					
取組、成果、課題、評価理由等	評価	評価	評価理由・特記事項等				
<p>※ 市民や患者に分かりやすく専門分野を示すため、以下のとおり標榜診療科の新設を行った。なお、以下の新設は、病院の機能を変更するものではない。</p> <p>(1月)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・形成外科を新設 							
<table border="1"> <thead> <tr> <th>標榜診療科目</th> <th>病床数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>内科、肝臓内科、血液内科、感染症内科、心療内科、精神科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、腫瘍内科、内分泌・糖尿病内科、緩和ケア内科、小児科、外科、消化器外科、乳腺外科、内分泌外科、大腸外科、肛門外科、肝臓外科、胆のう外科、膵臓外科、食道外科、胃腸外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、呼吸器外科、心臓血管外科、小児外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、病理診断科、救急科、麻酔科、歯科、リハビリテーション科</td> <td>許可病床数 636</td> </tr> </tbody> </table>		標榜診療科目	病床数	内科、肝臓内科、血液内科、感染症内科、心療内科、精神科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、腫瘍内科、内分泌・糖尿病内科、緩和ケア内科、小児科、外科、消化器外科、乳腺外科、内分泌外科、大腸外科、肛門外科、肝臓外科、胆のう外科、膵臓外科、食道外科、胃腸外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、呼吸器外科、心臓血管外科、小児外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、病理診断科、救急科、麻酔科、歯科、リハビリテーション科	許可病床数 636		
標榜診療科目	病床数						
内科、肝臓内科、血液内科、感染症内科、心療内科、精神科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、腫瘍内科、内分泌・糖尿病内科、緩和ケア内科、小児科、外科、消化器外科、乳腺外科、内分泌外科、大腸外科、肛門外科、肝臓外科、胆のう外科、膵臓外科、食道外科、胃腸外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、呼吸器外科、心臓血管外科、小児外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、病理診断科、救急科、麻酔科、歯科、リハビリテーション科	許可病床数 636						

中期目標 (項目)	第1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項 2 各病院の特色を活かした医療の充実 (2) 八幡病院
--------------	--

中期計画	年度計画						
<p>(2) 八幡病院</p> <p>ア 小児医療について、「小児救急・小児総合医療センター」を中心に、診療機能の充実を図る。</p> <p>○ 専門性の高い小児科医の確保や小児集中治療室（P I C U）・無菌室の整備等により、「救急・集中治療」「児童虐待とその家族」「血液・腫瘍性疾患」「神経疾患・てんかん、医療的ケア児」に係る専門医療の充実と在宅医療の支援に取り組む。</p> <p>○ 小児科専門医の基幹研修施設として、人材育成を通じて、診療機能の強化に取り組む。</p> <p><関連指標></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">項 目</th> <th style="width: 50%;">八幡病院 (H29 実績)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小児科患者数（外来）</td> <td style="text-align: center;">51,681 人</td> </tr> <tr> <td>小児科患者数（入院）</td> <td style="text-align: center;">34,156 人</td> </tr> </tbody> </table>	項 目	八幡病院 (H29 実績)	小児科患者数（外来）	51,681 人	小児科患者数（入院）	34,156 人	<p>(2) 八幡病院</p> <p>ア 小児医療について、「小児救急・小児総合医療センター」を中心に、診療機能の充実を図る。</p> <p>【令和5年度の取組み】</p> <p><施設・設備の整備等></p> <p>○ 専門性の高い小児科医の確保</p> <p>○ 小児集中治療室（P I C U）・無菌室等の活用</p> <p>【再掲】</p> <p>○ 救急・集中治療等に係る専門医療の充実</p> <p>○ 在宅医療の支援</p> <p><院内体制の充実・強化></p> <p>○ 小児科専門医の人材育成を通じた診療機能の強化</p>
項 目	八幡病院 (H29 実績)						
小児科患者数（外来）	51,681 人						
小児科患者数（入院）	34,156 人						

中期目標 (内容)	ア 小児医療について、「小児救急・小児総合医療センター」を中心に、診療機能の充実を図ること。 イ 小児医療に関する障害者や家族に対する医療面での支援の充実に取り組むこと。 ウ その他地域の医療状況を踏まえ、市立病院として必要とされる医療を提供すること。
--------------	--

実績及び法人自己評価		北九州市評価																								
取組、成果、課題、評価理由等	評価	評価	評価理由・特記事項等																							
<p>(2) 八幡病院</p> <p>ア 小児医療の診療機能の充実 小児医療について、「小児救急・小児総合医療センター」を中心に、診療機能の充実に努めた。 また、新型コロナの影響により小児感染症患者が減少している状況を踏まえ、小児血液・腎臓・アレルギー・神経内科の専門性の高い医療提供に努めた。</p> <p>【令和5年度の取組み】 <施設・設備の整備等> ○ 発達障害、遺伝・代謝、免疫・膠原病、神経てんかん、循環器、内分泌・代謝、消化器・肝臓病、腎・代謝など小児の専門性の高い分野について、常勤医のほか、外部医療機関からの診療応援により、医師の確保に努めた。</p> <p>○ 新型コロナの影響による小児患者の減少は継続しているが、救急外来、小児科外来、小児集中治療室（P I C U）、無菌室等の施設・設備を適切に活用して医療を提供した。なお、令和2年4月から、I C Uをコロナ病棟として運用しており、P I C Uには重篤な成人も入院した。【再掲】 ・ P I C U稼働率 49% (R1: 50%、R2: 40%、R3: 49%、R4: 48%) ・ 無菌室稼働率 44% (R1: 75%、R2: 43%、R3: 26%、R4: 24%)</p> <p>○ 小児科医が実臨床の中で自ら超音波検査を行う「小児臨床超音波センター」を日本で初めて設置した。</p> <p>○ 介護している家族の休息等を目的とした小児患者のレスパイト入院等の受入れを行った。 ・ レスパイト目的の入院受入実績 7件・36日</p> <p><院内体制の充実・強化> ○ 小児科専門医の基幹研修施設として、他病院の専攻医2名を受入れ、人材育成を通じた診療機能の強化に取り組んだ。</p> <p><関連指標></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="5">八幡病院</th> </tr> <tr> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小児科患者数 外来(人)</td> <td>51,412</td> <td>32,424</td> <td>41,371</td> <td>46,142</td> <td>53,881</td> </tr> <tr> <td>小児科患者数 入院(人)</td> <td>37,255</td> <td>21,894</td> <td>25,099</td> <td>20,920</td> <td>22,742</td> </tr> </tbody> </table>	項目	八幡病院					R1	R2	R3	R4	R5	小児科患者数 外来(人)	51,412	32,424	41,371	46,142	53,881	小児科患者数 入院(人)	37,255	21,894	25,099	20,920	22,742	3 (4)	3 (4)	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により小児科患者数は減少している。外来・入院ともに昨年度より患者数が増加したものの、入院はコロナ禍以前の水準には回復していない。</p> <p>・ 小児科患者数(外来) [R1:51,412人→R2:32,424人→R3:41,371人→R4:46,142人→R5:53,881人] ・ 小児科患者数(入院) [R1:37,255人→R2:21,894人→R3:25,099人→R4:20,920人→R5:22,742人] 医療提供体制においては、「小児救急・小児総合医療センター」を中心に診療機能の充実に努め、ハイブリッド手術室の運用や日本で初めての小児臨床超音波センターの設置など、適切な医療を提供しており、年度計画を順調に実施していることから評価「3」とした。</p>
項目		八幡病院																								
	R1	R2	R3	R4	R5																					
小児科患者数 外来(人)	51,412	32,424	41,371	46,142	53,881																					
小児科患者数 入院(人)	37,255	21,894	25,099	20,920	22,742																					

中期計画	年度計画
<p>イ 小児医療に関する障害者や家族に対する医療面での支援の充実に取り組む。</p> <p>○ 障害を持つ小児患者等を一時的に預かる福岡県及び北九州市が実施主体の「小児慢性特定疾病児童等レスパイト支援事業」に参加する等支援の充実に取り組む。 また、障害者やその家族が安心して生活が送れるよう医療面での支援を行う。</p> <p>ウ その他地域の医療状況を踏まえ、市立病院として必要とされる医療を提供する。</p> <p>○ 消化器・肝臓病センターを内科・外科・放射線科等の医師、薬剤師及び看護師等で横断的に組織化し、生活習慣や食生活の変化に伴い急増する消化器・肝臓病疾患に対して最新・総合的な医療を提供する。</p> <p>○ 心不全センターを内科・循環器内科・形成外科等の医師、リハビリテーションスタッフ、薬剤師及び看護師等で横断的に組織化し、高齢化等に伴い急増する心不全患者に専門的な医療を提供するとともに、かかりつけ医療機関・介護施設・在宅との間を取り持つ役割を担うことで、地域全体で心不全患者を支援する体制を構築する。</p> <p>○ アメリカでも注目され、実践されている Acute Care Surgery（外傷急性期外科）の北九州市の中心となるべく、血管造影装置とCTを備えたハイブリッド手術室の機能を駆使して、最先端の医療を提供する。 さらに、外傷・形態修復・治療センターを外科・形成外科・整形外科等の医師、リハビリスタッフ及び看護師等で横断的に組織化し、外傷やその他の形態異常に対し機能的・整容的な再建を行うことで、患者のQOL（生活の質）の回復を目指す。</p> <p>○ 市立病院として、市民の命と健康を守るセーフティネットの役割を果たすよう努める。</p>	<p>イ 小児医療に関する障害者や家族に対する医療面での支援の充実に取り組む。</p> <p>【令和5年度の取組み】</p> <p>○ 小児慢性特定疾病児童等レスパイト支援事業への参加</p> <p>ウ その他地域の医療状況を踏まえ、市立病院として必要とされる医療を提供する。</p> <p>【令和5年度の取組み】</p> <p>○ 消化器・肝臓病センターの積極的な活用</p> <p>○ ハイブリッド手術室の活用 ・外傷急性期外科医療の提供</p> <p>○ 心臓血管外科開設に向けた体制整備</p> <p>○ 外傷・形態修復・治療センターの積極的な活用</p>

実績及び法人自己評価		北九州市評価	
取組、成果、課題、評価理由等	評価	評価	評価理由・特記事項等
<p>イ 障害者や家族への医療支援の充実 小児医療に関する障害者や家族に対する医療面での支援の充実に努めた。</p> <p>【令和5年度の実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 介護している家族の休息等を目的とした小児患者のレスパイト入院等の受入れを行った。【再掲】 <ul style="list-style-type: none"> ・レスパイト支援事業実績 0 件 ・上記以外のレスパイト目的の入院受入実績 7 件・36 日 	(3)	(3)	
<p>ウ その他必要とされる医療の提供 その他地域の医療状況を踏まえ、市立病院として必要とされる医療の提供に努めた。</p> <p>【令和5年度の実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 医師、看護師、薬剤師等で横断的に組織化した消化器・肝臓病センターにおいて、ハイブリッド手術室を活用した医療を提供した。 ○ ハイブリッド手術室を適切に活用し、外傷急性期外科医療の提供に努めた。また、手術症例の増加に向けて、診療案内冊子等で他医療機関への周知に努めた。 <ul style="list-style-type: none"> ・ハイブリッド手術室使用実績 60 件 (R1 : 54 件、R2 : 44 件、R3 : 31 件、R4 : 51 件) ○ 心臓血管外科開設に必要な医療機器等の検討を行うとともに、ハイブリッド手術室のクリーン度向上工事を行った。 ○ 外傷・形態修復・治療センターにおいて、外科・整形外科・形成外科の医師、リハビリスタッフ及び看護師等の組織横断的なチームを編成して多方向からの集約的治療を継続した。また、手術症例の増加に向けて、診療案内冊子等で他医療機関への周知に努めた。 	(3)	(3)	

中期計画	年度計画				
<p>エ 八幡病院において、上記の医療を提供するための診療科目及び病床数は、以下のとおりとする。</p> <p>ただし、標榜診療科目及び病床の実際の運用については、今後の医療需要の変化や診療機能の向上等に合わせて柔軟に対応していく。</p> <table border="1" data-bbox="92 479 759 763"> <thead> <tr> <th data-bbox="92 479 585 521">標榜診療科目</th> <th data-bbox="585 479 759 521">病床数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="92 521 585 763">内科、精神科、循環器内科、小児科、外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、呼吸器外科、消化器外科、小児外科、皮膚科、泌尿器科、婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、救急科、麻酔科、歯科</td> <td data-bbox="585 521 759 763">許可病床数 350</td> </tr> </tbody> </table>	標榜診療科目	病床数	内科、精神科、循環器内科、小児科、外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、呼吸器外科、消化器外科、小児外科、皮膚科、泌尿器科、婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、救急科、麻酔科、歯科	許可病床数 350	
標榜診療科目	病床数				
内科、精神科、循環器内科、小児科、外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、呼吸器外科、消化器外科、小児外科、皮膚科、泌尿器科、婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、救急科、麻酔科、歯科	許可病床数 350				

実績及び法人自己評価		北九州市評価					
取組、成果、課題、評価理由等	評価	評価	評価理由・特記事項等				
<p>※ 市民や患者に分かりやすく専門分野を示すため、以下のとおり標榜診療科の新設を行った。なお、以下の新設は、病院の機能を変更するものではない。</p> <p>(10月)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・呼吸器内科を新設 							
<table border="1"> <thead> <tr> <th>標榜診療科目</th> <th>病床数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>内科、呼吸器内科、精神科、循環器内科、小児科、小児血液・腫瘍内科、小児神経内科、外科、消化器外科、肝臓外科、胆のう外科、膵臓外科、内視鏡外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、呼吸器外科、小児外科、皮膚科、泌尿器科、婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、救急科、麻酔科、歯科、リハビリテーション科、臨床検査科</td> <td>許可病床数 350</td> </tr> </tbody> </table>		標榜診療科目	病床数	内科、呼吸器内科、精神科、循環器内科、小児科、小児血液・腫瘍内科、小児神経内科、外科、消化器外科、肝臓外科、胆のう外科、膵臓外科、内視鏡外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、呼吸器外科、小児外科、皮膚科、泌尿器科、婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、救急科、麻酔科、歯科、リハビリテーション科、臨床検査科	許可病床数 350		
標榜診療科目	病床数						
内科、呼吸器内科、精神科、循環器内科、小児科、小児血液・腫瘍内科、小児神経内科、外科、消化器外科、肝臓外科、胆のう外科、膵臓外科、内視鏡外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、呼吸器外科、小児外科、皮膚科、泌尿器科、婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、救急科、麻酔科、歯科、リハビリテーション科、臨床検査科	許可病床数 350						

中期目標 (項目)	第1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項 3 医療の質の確保 (1) 人材の確保・育成
--------------	---

中期計画	年度計画
<p>(1) 人材の確保・育成</p> <p>ア 医療従事者の養成機関との連携を図るとともに、柔軟で多様な職員採用により、医師をはじめとする優秀な医療スタッフの確保に努めるとともに、医療スタッフが長く働き続けることができる職場環境の整備に努める。</p> <p>○ 医師については、大学等関係機関との連携強化や教育研修を充実させ、医師の負担軽減に向けて医師事務作業補助者を配置する等、医師が働きやすい環境づくりを行う。 また、女性医師が安心して就業の継続や復職ができる環境の整備を行う。</p> <p>○ 看護師については、計画的に安定した優秀な人材を確保するため、看護学校の学生に対する充実した教育や実習の提供等により、卒業生の入職率を高める。 また、看護師が看護業務に専念できる環境を整備するため、看護補助者の確保に努めるとともに、看護師の事務作業をサポートする職の配置やチーム医療の推進等に取り組む。</p>	<p>(1) 人材の確保・育成</p> <p>ア 医療従事者の養成機関との連携を図りながら、柔軟で多様な職員採用により、医師をはじめとする優秀な医療スタッフの確保に努めるとともに、医療スタッフが長く働き続けることができる職場環境の整備に努める。</p> <p>【令和5年度の取組み】</p> <p><全職種></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ リクルート活動の強化 <p><医師></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 医師の負担軽減 <ul style="list-style-type: none"> ・ 医師事務作業補助者の増員及び定着に向けた制度運用 ○ 女性医師の就業環境の整備に向けた検討 ○ 医師紹介会社を通じた採用の促進 <p><看護師></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 看護業務に専念できる環境の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・ 看護補助者の確保に向けた求人広報等の強化 ・ 事務作業サポート職の効果的な配置

中期目標 (内容)	<p>ア 医師をはじめとする優秀な医療スタッフの確保に努めること。</p> <p>イ 特に、医師の確保に当たっては、大学医局との連携強化、臨床研修の充実等に努めること。</p> <p>ウ 医療スタッフの専門性や医療技術向上のため、先進的な事例や取組を習得できる教育研修制度を充実させること。</p>
--------------	---

実績及び法人自己評価		北九州市評価	
取組、成果、課題、評価理由等	評価	評価	評価理由・特記事項等
<p>(1) 人材の確保・育成</p> <p>ア 医療スタッフの確保、職場環境の整備</p> <p>医療従事者の養成機関との連携や、柔軟で多様な職員採用により、医師をはじめとする優秀な医療スタッフの確保に努めるとともに、医療スタッフが長く働き続けることができる職場環境の整備に努めた。</p> <p>【令和5年度の取組み】</p> <p><全職種></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 看護学生向けの就職説明会や学校訪問を行うとともに、職種ごとに複数回の採用試験を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ・リクルート活動として、就職説明会参加(2回)、学内説明会開催(1回)、看護学校訪問(14回)を実施 ・採用試験は助産師・医療技術職(1回)、薬剤師・臨床検査技師・臨床工学技士(2回)、看護師(2回)等を実施 <p><医師></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 医師の負担軽減のため、医師事務作業補助者の定数を増員するとともに、人材の確保が困難な場合は派遣枠を拡大して対応した。 <ul style="list-style-type: none"> ・医療センター16名の定数増 ・八幡病院8名の定数増 ○ 女性医師の就業環境について、令和3年度から育短勤務の希望者を短時間嘱託医に切り替えることで就業継続を可能としている。また、育短勤務の取得パターン追加に向けた検討を行い、令和6年度から試行的に実施予定。 ○ 医師紹介会社25社と契約を締結し、大学医局からの派遣以外での医師の採用を進めた。 <ul style="list-style-type: none"> ・八幡病院にて2名(常勤麻酔科医、常勤救急科医)を令和6年度より採用予定 <p><看護師></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 看護師が看護業務に専念できる環境の整備に向けて、看護補助者の求人広報強化による人員確保、事務作業サポート職(病棟クラーク)の定数増などを実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ・看護補助者の募集について、求人広告誌等に掲載し、医療センターで8名、八幡病院で14名を随時採用(内13名は年度内に退職) ・病棟クラーク(医師事務作業補助者を含む)の定数を医療センター16名、八幡病院8名増 	<p>3</p> <p>(4)</p>	<p>3</p> <p>(4)</p>	<p>医療スタッフの確保や事務職プロパー職員の採用を進めたほか、各種研修の充実など、医療スタッフの専門性や医療技術向上への取組を行い、年度計画を順調に実施していることから、評価「3」とした。</p>

中期計画	年度計画
<p>さらに、認定看護師等の資格取得に際して、十分にバックアップするとともに、その専門性が発揮できるような勤務体制を構築する。</p> <p>○ 医療技術職については、柔軟な採用制度の下、経験者を含めた多様な職種の人材確保に努める。</p> <p>また、資格取得等の奨励・支援を行い、学会発表等の参加機会を確保できるよう配慮する。</p> <p>○ 事務職員については、プロパー化を進めるとともに、医療マネジメントができる事務職員を育成するため、院内教育の充実を図り、資格取得の支援に加え、セミナーや学会発表等の学習機会を提供する。</p> <p>また、事務職員の総合力を強化するため、定期的な部署間の異動等、計画的な育成に取り組む。</p>	<p>○ 資格取得支援のあり方の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新しい認定看護師制度における派遣研修の実施 <p>○ 専門性が発揮できる勤務体制の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認定看護師の専従配置 <p>○ 働き方に柔軟に対応できる体制の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> ・育短勤務の導入の検討 <p><医療技術職></p> <p>○ 経験者を含めた多様な職種の人材確保</p> <p>○ 学会発表等の参加機会の確保</p> <p>○ 資格取得の奨励、支援制度の構築</p> <p><事務職員></p> <p>○ プロパー化の推進</p> <p>○ 医療マネジメントができる事務職員の育成</p> <p>○ 院内教育の推進</p> <p>○ 事務職員の総合力の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・育成等の基本方針に基づく異動等の実施

実績及び法人自己評価		北九州市評価	
取組、成果、課題、評価理由等	評価	評価	評価理由・特記事項等
<p>○ 認定看護師や特定行為研修の派遣計画に基づき派遣者を決定したほか、機構にとって必要な資格取得支援のあり方についての検討を行った。</p> <p>○ 専門性が発揮できる勤務体制の構築のため、認定看護師の専従配置を進めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療センター10名（R1：7名、R2：9名、R3：11名、R4：10名） ・八幡病院3名（R1：0名、R2：2名、R3：2名、R4：2名） <p>○ 育短勤務など柔軟な勤務体制の導入に向けて、課題となっている夜勤体制の現状分析等を実施したほか、産前産後休暇・育児休暇の代替として正規職員を採用した。</p> <p><医療技術職></p> <p>○ 柔軟な職員採用により、経験者を含めた多様な職種の人材を確保した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・薬剤師11名、臨床検査技師1名、臨床工学技士2名、診療放射線技師2名、理学療法士2名、作業療法士1名 <p>○ 学会発表等の参加機会の確保を行った。また、機構にとって必要な資格取得支援のあり方についての検討を行った。</p> <p><事務職員></p> <p>○ プロパー化計画に基づき、プロパー職員の採用を進めるとともに、市派遣職員を減少させた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般事務職員11名を採用 ・3月末時点の派遣職員数32名 （R1：59名、R2：49名、R3：42名、R4：35名） <p>○ 医療マネジメントができる事務職員の育成に向けて、新規採用職員研修や階層別研修を実施したほか、各病院において院内教育を推進した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規採用職員研修、病院実習研修を実施 ・新任主査・係長・課長研修を実施 ・新たに採用3年次研修を実施したほか、主査以下の事務職員交流のための意見交換会を3回開催 ・医療センターでは、事務部門の自主勉強会を毎月実施したほか、適時調査対応・診療報酬改定対応などをOJTの機会として活用 ・八幡病院では、事務部門の自主勉強会を毎月実施したほか、経営分析やマネジメントのオンラインセミナーを積極的に活用 <p>○ 令和元年度に策定した基本方針（段階的にプロパー職員を採用し、その後ジョブローテーションを行う）に基づく計画的な職員採用、及びプロパー職員のジョブローテーションを実施した。</p>			

中期計画			年度計画																		
< 関連指標 > <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th>医療センター</th> <th>八幡病院</th> </tr> <tr> <th>H29 実績</th> <th>H29 実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>看護実習受入数</td> <td>350 人</td> <td>249 人</td> </tr> </tbody> </table>			項目	医療センター	八幡病院	H29 実績	H29 実績	看護実習受入数	350 人	249 人											
項目	医療センター	八幡病院																			
	H29 実績	H29 実績																			
看護実習受入数	350 人	249 人																			
※ 医療センターは、5 校 350 人、八幡病院は、4 校、249 人																					
イ 特に、医師の確保にあたっては、大学医局との連携強化、臨床研修の充実に努める。			イ 特に、医師の確保にあたっては、大学医局との連携強化、臨床研修の充実に努める。																		
<ul style="list-style-type: none"> ○ 大学医局等からの医師確保、病院運営への協力等に向けて、関係大学との連携強化の仕組みづくりに取り組む。 ○ 病院機能の特性を生かした魅力ある臨床研修プログラムや専門研修プログラムの充実、指導体制の整備により、病院の将来を担う医師の育成に努める。 			【令和 5 年度の取組み】 <ul style="list-style-type: none"> ○ 関係大学との連携強化の仕組みづくり ○ 臨床研修プログラムや専門研修プログラムの充実 ○ 病院の将来を担う医師の育成 <ul style="list-style-type: none"> ・ 初期研修医枠の拡大に向けた取組み 																		
< 関連指標 > <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th>医療センター</th> <th>八幡病院</th> </tr> <tr> <th>H29 実績</th> <th>H29 実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>専門医資格取得件数</td> <td>167 件</td> <td>95 件</td> </tr> <tr> <td>指導医資格取得件数</td> <td>140 件</td> <td>62 件</td> </tr> <tr> <td>初期臨床研修医</td> <td>7 人</td> <td>4 人</td> </tr> <tr> <td>専攻医</td> <td>23 人</td> <td>10 人</td> </tr> </tbody> </table>			項目	医療センター	八幡病院	H29 実績	H29 実績	専門医資格取得件数	167 件	95 件	指導医資格取得件数	140 件	62 件	初期臨床研修医	7 人	4 人	専攻医	23 人	10 人		
項目	医療センター	八幡病院																			
	H29 実績	H29 実績																			
専門医資格取得件数	167 件	95 件																			
指導医資格取得件数	140 件	62 件																			
初期臨床研修医	7 人	4 人																			
専攻医	23 人	10 人																			

実績及び法人自己評価						北九州市評価					
取組、成果、課題、評価理由等						評価	評価	評価理由・特記事項等			
< 関連指標 >											
項目		医療センター					(3)	(3)			
		R1	R2	R3	R4	R5					
看護実習受入数(人)		282	128	258	346	261					
項目		八幡病院									
		R1	R2	R3	R4	R5					
看護実習受入数(人)		261	45	67	175	178					
※ 令和2・3年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、看護実習の受入れ制限あり											
イ 大学医局との連携強化等											
特に、医師の確保にあたっては、大学医局との連携強化、臨床研修の充実に努めた。											
【令和5年度の取組み】											
○ 関係大学との連携強化に向けて、理事長、院長等による訪問活動を積極的に実施した。											
・ 大学訪問回数 55 回（九州大学、産業医科大学、久留米大学、長崎大学、福岡大学、九州歯科大学、佐賀大学、慶應義塾大学）											
○ 医療センター、八幡病院ともに、臨床研修や専門研修プログラムを充実させたほか、臨床研修医の募集定員拡大に向けて、関係機関等への働きかけを行った。											
・ 令和6年度臨床研修医募集定員											
医療センター 3 名											
八幡病院 2 名											
< 関連指標 >											
項目		医療センター					(3)	(3)			
		R1	R2	R3	R4	R5					
専門医資格取得件数(件)		105	196	184	214	226					
指導医資格取得件数(件)		119	113	135	124	159					
初期臨床研修医(人)		10	11	8	7	9					
専攻医(人)		22	14	18	15	16					
項目		八幡病院									
		R1	R2	R3	R4	R5					
専門医資格取得件数(件)		121	110	103	112	122					
指導医資格取得件数(件)		42	51	46	52	54					
初期臨床研修医(人)		4	5	5	8	8					
専攻医(人)		9	10	12	9	5					

中期計画	年度計画
<p>ウ 医療スタッフの専門性や医療技術向上のため、各専門分野における医療スタッフの資格取得支援する制度の充実に努めるとともに、先進的な事例や取組みを習得できる教育研修制度を充実させる。</p> <p>○ 医療センターにおいては、習熟レベルに応じた研修プログラムの充実と教育担当者の配置、研修体系の一元管理の整備など計画的な人材育成の推進と知識・技術の向上に取り組む。</p> <p>特に、がん看護に特化した専門看護師の育成と高い臨床推論力と病態判断力を持って急性期医療、地域医療に貢献できる特定行為研修を修了した認定看護師の育成に取り組む。</p> <p>○ 八幡病院においては、今後の高齢化の進展を見据え「慢性心不全看護」「慢性呼吸器疾患看護」の認定看護師資格の取得を目指すとともに、「感染管理」「皮膚・排泄ケア」の認定看護師資格の取得者の増員に取り組む。</p> <p>また、院内では、看護師の専門性向上のため、経験年数別・役割別・職種別の研修を実施するとともに、他職種についても新たな研修制度の構築に取り組む。</p>	<p>ウ 医療スタッフの専門性や医療技術向上のため、各専門分野における医療スタッフの資格取得を支援する制度の充実に努めるとともに、先進的な事例や取組みを習得できる教育研修制度を充実させる。</p> <p>【令和5年度の取組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 医師を含む医療スタッフの資格取得を支援する制度の実施 ○ 職員の役職や習熟度に応じた研修の実施 <p><医療センター></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 習熟レベルに応じた研修プログラムの実施 ・ 看護師に対する教育担当者の配置 ・ 研修体系の一元管理の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・ がん看護に特化した専門看護師の活動支援・今後の育成検討 ・ 特定行為研修を修了した認定看護師の育成・活動支援 ・ 職員の技術向上と緊急時にも対応可能な技術の習得 <p><八幡病院></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 習熟レベルに応じた研修プログラムの実施 ・ 感染管理の充実 ・ 皮膚・排泄ケアの認定看護師資格の取得者の増員に向けた取組み ・ クリティカルケアの認定看護師資格の取得者の増員に向けた取組み ・ 職員の技術向上と緊急時にも対応可能な技術の習得

実績及び法人自己評価		北九州市評価	
取組、成果、課題、評価理由等	評価	評価	評価理由・特記事項等
<p>ウ 資格取得支援制度等の充実</p> <p>医療スタッフの専門性や医療技術向上のため、各専門分野における医療スタッフの資格取得を支援する仕組みや、先進的な事例や取組みを習得できる教育研修制度の充実に取り組んだ。</p> <p>【令和5年度の取組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 機構にとって必要な資格取得支援のあり方についての検討を行った。 ○ 職員の役職や習熟度に応じて、新規採用職員研修、新任主査・係長・課長研修を実施した。また、外部団体主催の病院中堅職員研修への参加や、事務職員意見交換会を実施した。 <p><医療センター></p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本看護協会が提示するクリニカルラダーを参考に、習熟レベルに応じた研修プログラムを令和4年度から導入し、研修体系の一元管理を実施 ・看護単位ごとに教育担当者を設定するとともに、教育委員会・教育体制検討委員会において新人の育成状況や育成方針等を看護部全体で共有 ・がん看護専門看護師の資格取得者1名が、緩和ケアセンターのジェネラルマネージャーとして活動 ・医師の負担軽減に向けて、特定行為研修（クリティカルケア）修了者1名が特定行為を実施 ・職員の技術向上と緊急時にも対応可能な技術の習得に向けて、臨床検査技術課、放射線技術課において定期的なジョブローテーションを実施 <p><八幡病院></p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本看護協会が提示するクリニカルラダーを参考に、習熟レベルに応じた研修プログラムを令和4年度から導入し、研修体系の一元管理を実施 ・感染管理の認定看護師2名を専従化し、新型コロナの感染管理において、組織横断的な活動を実施 ・褥瘡・皮膚排泄ケアの認定看護師を専従化し、今後の資格取得者の増員に向けた後任の育成を実施 ・クリティカルケア認定看護師資格の取得に向けて派遣対象者を公募 ・職員の技術向上と緊急時にも対応可能な技術の習得に向けて、臨床検査技術課、放射線技術課において定期的なジョブローテーションを実施 	(3)	(3)	

中期計画		年度計画	
< 関連指標 >			
項 目	医療センター	八幡病院	
	H29 実績	H29 実績	
専門看護師	0 人	0 人	
認定看護師	20 人	13 人	
診療情報管理士	5 人	3 人	

実績及び法人自己評価		北九州市評価																																
取組、成果、課題、評価理由等	評価	評価	評価理由・特記事項等																															
< 関連指標 >																																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="5">医療センター</th> </tr> <tr> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>専門看護師(人)</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>認定看護師(人)</td> <td>21</td> <td>22</td> <td>22</td> <td>22</td> <td>21</td> </tr> <tr> <td>診療情報管理士(人)</td> <td>11</td> <td>8</td> <td>14</td> <td>14</td> <td>15</td> </tr> </tbody> </table>		項目	医療センター					R1	R2	R3	R4	R5	専門看護師(人)	0	1	1	1	1	認定看護師(人)	21	22	22	22	21	診療情報管理士(人)	11	8	14	14	15				
項目	医療センター																																	
	R1	R2	R3	R4	R5																													
専門看護師(人)	0	1	1	1	1																													
認定看護師(人)	21	22	22	22	21																													
診療情報管理士(人)	11	8	14	14	15																													
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="5">八幡病院</th> </tr> <tr> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>専門看護師(人)</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>認定看護師(人)</td> <td>17</td> <td>18</td> <td>17</td> <td>17</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>診療情報管理士(人)</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table>		項目	八幡病院					R1	R2	R3	R4	R5	専門看護師(人)	0	0	1	1	1	認定看護師(人)	17	18	17	17	15	診療情報管理士(人)	2	3	2	4	4				
項目	八幡病院																																	
	R1	R2	R3	R4	R5																													
専門看護師(人)	0	0	1	1	1																													
認定看護師(人)	17	18	17	17	15																													
診療情報管理士(人)	2	3	2	4	4																													

中期目標 (項目)	第1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項 3 医療の質の確保 (2) 医療の質の確保・向上
--------------	---

中期計画	年度計画								
<p>(2) 医療の質の確保、向上</p> <p>ア 医療の多様化・複雑化に対応するため、医療スタッフが診療科や職域を越えて連携できる「チーム医療」の推進に取り組む。</p>	<p>(2) 医療の質の確保、向上</p> <p>ア 医療の多様化・複雑化に対応するため、医療スタッフが診療科や職域を越えて連携できる「チーム医療」の推進に取り組む。</p> <p>【令和5年度の取組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ チーム医療の推進 ○ 早期離床・リハビリテーションの実施 ○ 重点診療領域のセンター化に向けた協議 								
<p>< 関連指標 ></p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th>医療センター</th> <th>八幡病院</th> </tr> <tr> <th>H29実績</th> <th>H29実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医療 チーム 編成状況</td> <td> 緩和ケア 認知症ケア 感染防止対策 栄養サポート 医療安全管理 呼吸ケアサポート 褥瘡(じよくそう)管理 </td> <td> 認知症ケア 感染防止対策 栄養サポート 医療安全管理 呼吸ケアサポート 褥瘡(じよくそう)管理 </td> </tr> </tbody> </table>		項目	医療センター	八幡病院	H29実績	H29実績	医療 チーム 編成状況	緩和ケア 認知症ケア 感染防止対策 栄養サポート 医療安全管理 呼吸ケアサポート 褥瘡(じよくそう)管理	認知症ケア 感染防止対策 栄養サポート 医療安全管理 呼吸ケアサポート 褥瘡(じよくそう)管理
項目	医療センター		八幡病院						
	H29実績	H29実績							
医療 チーム 編成状況	緩和ケア 認知症ケア 感染防止対策 栄養サポート 医療安全管理 呼吸ケアサポート 褥瘡(じよくそう)管理	認知症ケア 感染防止対策 栄養サポート 医療安全管理 呼吸ケアサポート 褥瘡(じよくそう)管理							

中期目標 (内容)	<p>ア 医療の多様化や複雑化に対応するため、医療スタッフが診療科や職域を超えて連携できる「チーム医療」の推進に取り組むこと。</p> <p>イ 良質な医療を効率的に提供するため、クリニカルパスの活用等による医療の標準化に取り組むこと。</p> <p>ウ 医療需要の変化や医療の高度化に的確に対応するため、法人の経営状況を踏まえつつ、高度な医療機器の整備、更新等を計画的に進めること。</p>
--------------	--

実績及び法人自己評価		北九州市評価									
取組、成果、課題、評価理由等	評価	評価	評価理由・特記事項等								
<p>(2) 医療の質の確保・向上</p> <p>ア チーム医療の推進</p> <p>医療の多様化・複雑化に対応するため、医療スタッフが診療科や職域を越えて連携できる「チーム医療」の推進に取り組んだ。</p> <p>【令和5年度の取組み】</p> <p>○ チーム医療の推進に向けて、既存チームの活動強化のほか、新たなチームを立ち上げて活動を開始した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療センターにおいて、肥満診療手術実施に向け体制を検討 ・八幡病院において、令和5年度に緩和ケアチーム、術後疼痛管理チーム、報告書確認対策チームを新設 <p>○ 各病院において、医師、看護師、理学療法士等の多職種がチームとして連携し、集中治療室における早期離床・リハビリテーションに取り組んだ。</p> <p>○ 重点診療領域については、患者や家族にスムーズに医療が提供できるようセンター化の検討を進めており、独法化以降、医療センターで「がんゲノムセンター」「がんセンター」「糖尿病センター」、八幡病院で「小児臨床超音波センター」を設置した。</p> <p><関連指標></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th>医療センター</th> <th>八幡病院</th> </tr> <tr> <th>R5実績</th> <th>R5実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医療チーム編成状況</td> <td> 緩和ケア 認知症ケア 感染防止対策 栄養サポート 医療安全管理 呼吸ケアサポート 褥瘡（じょくそう）管理 抗菌薬適正使用 リンパ浮腫 肥満症診療 院内迅速対応 報告書確認対策 </td> <td> 緩和ケア 認知症ケア 感染防止対策 栄養サポート 医療安全管理 呼吸ケアサポート 褥瘡（じょくそう）管理 排尿ケア 抗菌薬適正使用 養育支援 早期リハビリ 院内迅速対応 報告書確認対応 術後疼痛管理 </td> </tr> </tbody> </table>	項目	医療センター	八幡病院	R5実績	R5実績	医療チーム編成状況	緩和ケア 認知症ケア 感染防止対策 栄養サポート 医療安全管理 呼吸ケアサポート 褥瘡（じょくそう）管理 抗菌薬適正使用 リンパ浮腫 肥満症診療 院内迅速対応 報告書確認対策	緩和ケア 認知症ケア 感染防止対策 栄養サポート 医療安全管理 呼吸ケアサポート 褥瘡（じょくそう）管理 排尿ケア 抗菌薬適正使用 養育支援 早期リハビリ 院内迅速対応 報告書確認対応 術後疼痛管理	4 (4)	4 (4)	<p>チーム医療の推進や高度医療機器の運用による手術件数増加など、医療の多様化・高度化への対応を推進している。</p> <p>クリニカルパス適用率は両病院で向上した。</p> <p>八幡病院において、第三者機関による病院機能評価（Ver. 3.0）を適切に受審し、認定を受けた。</p> <p>以上のことから、年度計画を上回って実施していると言えるため、評価「4」とした。</p>
項目		医療センター	八幡病院								
	R5実績	R5実績									
医療チーム編成状況	緩和ケア 認知症ケア 感染防止対策 栄養サポート 医療安全管理 呼吸ケアサポート 褥瘡（じょくそう）管理 抗菌薬適正使用 リンパ浮腫 肥満症診療 院内迅速対応 報告書確認対策	緩和ケア 認知症ケア 感染防止対策 栄養サポート 医療安全管理 呼吸ケアサポート 褥瘡（じょくそう）管理 排尿ケア 抗菌薬適正使用 養育支援 早期リハビリ 院内迅速対応 報告書確認対応 術後疼痛管理									

中期計画	年度計画											
<p>イ 良質な医療を効率的に提供するため、クリニカルパスの活用等による医療の標準化に取り組む。</p> <p>< 関連指標 ></p> <table border="1" data-bbox="92 757 758 925"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th>医療センター</th> <th>八幡病院</th> </tr> <tr> <th>H29実績</th> <th>H29実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>クリニカルパス件数</td> <td>185件</td> <td>127件</td> </tr> <tr> <td>クリニカルパス適用率</td> <td>22.4%</td> <td>18.1%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ クリニカルパス適用率＝クリニカルパス適用入院患者数÷新入院患者数</p>	項目	医療センター	八幡病院	H29実績	H29実績	クリニカルパス件数	185件	127件	クリニカルパス適用率	22.4%	18.1%	<p>イ 良質な医療を効率的に提供するため、クリニカルパスの活用等による医療の標準化に取り組む。</p> <p>【令和5年度の取組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ パス件数、パス適用率の向上 ○ パスの積極的な活用のための仕組みづくり
項目		医療センター	八幡病院									
	H29実績	H29実績										
クリニカルパス件数	185件	127件										
クリニカルパス適用率	22.4%	18.1%										

実績及び法人自己評価		北九州市評価																																																
取組、成果、課題、評価理由等	評価	評価	評価理由・特記事項等																																															
<p>イ クリニカルパスの活用等</p> <p>良質な医療を効率的に提供するため、クリニカルパスの活用等による医療の標準化に努めた。</p> <p>【令和5年度の取組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ パス件数、パス適用率の向上に向けて、目標適用率を設定し、院内広報や経営ヒアなどを通じて、パスの作成や見直し、活用について積極的な働きかけを行った。 ○ パスの積極的な活用に向けて、各病院において、院内広報を実施したほか、パス委員会で改善点や見直し等を協議した。 <p><関連指標></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="5">医療センター</th> </tr> <tr> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>クリニカルパス件数(件)</td> <td>229</td> <td>226</td> <td>287</td> <td>309</td> <td>309</td> </tr> <tr> <td>クリニカルパス適用率(%)</td> <td>26.6</td> <td>32.1</td> <td>41.0</td> <td>43.8</td> <td>46.6</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="5">八幡病院</th> </tr> <tr> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>クリニカルパス件数(件)</td> <td>218</td> <td>273</td> <td>310</td> <td>356</td> <td>377</td> </tr> <tr> <td>クリニカルパス適用率(%)</td> <td>20.5</td> <td>30.6</td> <td>39.3</td> <td>45.6</td> <td>55.9</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ クリニカルパス適用率＝クリニカルパス適用入院患者数÷新入院患者数</p>	項目	医療センター					R1	R2	R3	R4	R5	クリニカルパス件数(件)	229	226	287	309	309	クリニカルパス適用率(%)	26.6	32.1	41.0	43.8	46.6	項目	八幡病院					R1	R2	R3	R4	R5	クリニカルパス件数(件)	218	273	310	356	377	クリニカルパス適用率(%)	20.5	30.6	39.3	45.6	55.9	(4)	(4)		
項目		医療センター																																																
	R1	R2	R3	R4	R5																																													
クリニカルパス件数(件)	229	226	287	309	309																																													
クリニカルパス適用率(%)	26.6	32.1	41.0	43.8	46.6																																													
項目	八幡病院																																																	
	R1	R2	R3	R4	R5																																													
クリニカルパス件数(件)	218	273	310	356	377																																													
クリニカルパス適用率(%)	20.5	30.6	39.3	45.6	55.9																																													

中期計画	年度計画
<p>ウ 医療需要の変化や医療の高度化に的確に対応するため、法人の経営状況を踏まえつつ、高度な医療機器の整備・更新等を計画的に進める。</p> <p>○ 医療センターにおいては、患者への低侵襲な手術を推進するため、手術支援ロボットの導入を検討するとともに、「リニアック」を活用し、患者への負担が少ない放射線治療を推進する。</p> <p>○ 八幡病院においては、ハイブリッド手術室の機能を駆使して、最先端の医療を提供するとともに、小児集中治療室（P I C U）・無菌室を活用し、小児重症患者の診療体制を強化する。</p>	<p>ウ 医療需要の変化や医療の高度化に的確に対応するため、法人の経営状況を踏まえつつ、高度な医療機器の整備・更新等を計画的に進める。</p> <p>【令和5年度の取組み】</p> <p><医療センター></p> <p>○ リニアックの積極的な活用 【再掲】</p> <p>○ 手術支援ロボットの活用 【再掲】</p> <p>○ 磁気共鳴コンピュータ断層装置の更新と件数増加 【再掲】</p> <p><八幡病院></p> <p>○ ハイブリッド手術室の活用 【再掲】</p> <p>○ 小児集中治療室（P I C U）・無菌室等の活用 【再掲】</p>

実績及び法人自己評価		北九州市評価	
取組、成果、課題、評価理由等	評価	評価	評価理由・特記事項等
<p>ウ 高度医療機器の計画的な整備・更新等</p> <p>医療需要の変化や医療の高度化に的確に対応するため、法人の経営状況を踏まえつつ、高度な医療機器の整備・更新等を計画的に進めた。</p> <p>【令和5年度の取組み】</p> <p><医療センター></p> <p>○ リニアックによる治療を2台体制で実施し、活用件数は増加した。【再掲】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・強度変調放射線治療 110人 (R1: 37人、R2: 62人、R3: 72人、R4: 90人) ・定位放射線治療 39人 (R1: 18人、R2: 20人、R3: 20人、R4: 35人) <p>○ 手術支援ロボット「ダヴィンチ」を活用した手術件数は、令和4年度から新たに呼吸器外科で「肺葉切除術」を開始したことなどにより、順調に増加している。【再掲】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消化器外科 78件 (R1: 23件、R2: 63件、R3: 47件、R4: 61件) ・泌尿器科 116件 (R1: 10件、R2: 69件、R3: 93件、R4: 127件) ・婦人科 28件 (R3: 17件、R4: 22件 ※R3から開始) ・呼吸器外科 24件 (R4: 10件 ※R4から開始) <p>○ 磁気共鳴コンピュータ断層装置について2台体制を維持し、令和5年度に現行の1.5Tのバージョンアップを行った。【再掲】</p> <p><八幡病院></p> <p>○ ハイブリッド手術室を適切に活用し、外傷急性期外科医療の提供に努めた。また、手術症例の増加に向けて、診療案内冊子等で他医療機関への周知に努めた。【再掲】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハイブリッド手術室使用実績 60件 (R1: 54件、R2: 44件、R3: 31件、R4: 51件) <p>○ 新型コロナの影響による小児患者の減少は継続しているが、救急外来、小児科外来、小児集中治療室(PICU)、無菌室等の施設・設備を適切に活用して医療を提供した。なお、令和2年4月から、ICUをコロナ病棟として運用しており、PICUには重篤な成人も入院した。【再掲】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PICU稼働率 49% (R1: 50%、R2: 40%、R3: 49%、R4: 48%) ・無菌室稼働率 44% (R1: 75%、R2: 43%、R3: 26%、R4: 24%) 	(4)	(4)	

中期計画	年度計画
<p>エ その他、医療の質の確保、向上に向けて、病院機能評価等の第三者機関による評価制度を積極的に活用するとともに、クリニカルインディケーター（臨床評価指標）等の分析・評価の活用に取り組む。</p> <p>○ 医療センターにおいては、がんゲノム医療連携拠点病院として、十分にその機能を発揮していくため、国際規格 I S O 1 5 1 8 9 の認定を目指す。</p>	<p>エ その他、医療の質の確保、向上に向けて、病院機能評価等の第三者機関による評価制度を積極的に活用するとともに、クリニカルインディケーター（臨床評価指標）等の分析・評価の活用に取り組む。</p> <p>【令和5年度の取組み】</p> <p><医療センター></p> <p>○ 第三者機関による評価制度の活用</p> <p>○ クリニカルインディケーターの活用</p> <p><八幡病院></p> <p>○ 第三者機関による評価制度の活用 ・病院機能評価の受審</p>

実績及び法人自己評価		北九州市評価	
取組、成果、課題、評価理由等	評価	評価	評価理由・特記事項等
<p>エ 第三者機関による評価制度の活用 その他、医療の質の確保・向上に向けて、病院機能評価等の第三者機関による評価制度の積極的な活用に取り組んだ。</p> <p>【令和5年度の取組み】 <医療センター> ○ 令和4年度に病院機能評価を計画通りに適切に受審し認定を受けた。評価結果において、改善に向けたコメントが示された項目については、各部門において改善策を検討した。</p> <p>○ クリニカルインディケータの活用に向けて、主なDPC病院が参加する日本病院会のクオリティインディケータ事業の年次報告を参考に、異常値がある場合に分析・改善を実施することとした。</p> <p><八幡病院> ○ 令和5年度に病院機能評価（Ver. 3.0）を計画通りに適切に受審し認定を受けた。</p>	(4)	(4)	

中期目標 (項目)	第1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項 3 医療の質の確保 (3) 医療安全の徹底
--------------	--

中期計画	年度計画											
<p>(3) 医療安全の徹底</p> <p>安全で安心な医療を提供するため、医療事故や院内感染など医療の安全を脅かす事象に関する情報収集・分析を行い、適切な予防策を講じる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 八幡病院において、市保健所と連携して地域感染対策を実践するため、地域医療機関での院内感染発生時の対応支援や地域医療従事者への教育・研修等を行う。 ○ 院内ラウンドや医療安全研修会等を実施し、医療事故や院内感染など医療の安全を脅かす事象の予防に取り組む。 ○ インシデント・アクシデントレポートを適切に分析し、再発防止に努める。 ○ 国内外における感染情報の収集に努める。 <p>< 関連指標 ></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th>医療センター</th> <th>八幡病院</th> </tr> <tr> <th>H29 実績</th> <th>H29 実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>研修等実施回数</td> <td style="text-align: center;">60 回</td> <td style="text-align: center;">74 回</td> </tr> <tr> <td>インシデント・アクシデントレポート提出回数</td> <td style="text-align: center;">1,450 回</td> <td style="text-align: center;">1,069 回</td> </tr> </tbody> </table>	項目	医療センター	八幡病院	H29 実績	H29 実績	研修等実施回数	60 回	74 回	インシデント・アクシデントレポート提出回数	1,450 回	1,069 回	<p>(3) 医療安全の徹底</p> <p>安全で安心な医療を提供するため、医療事故や院内感染など医療の安全を脅かす事象に関する情報収集・分析を行い、適切な予防策を講じる。</p> <p>【令和5年度の取組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 地域医療従事者への教育・研修等の実施 ・地域感染対策研修センターの運用 ○ 院内ラウンドや医療安全研修会等の実施 ○ インシデント・アクシデントレポートの分析 ○ 院内迅速対応チームの活動強化 ○ 国内外における感染情報の収集 ○ 機構全体の危機管理体制の構築 ・医療訴訟及びクレーム対応の体制強化
項目		医療センター	八幡病院									
	H29 実績	H29 実績										
研修等実施回数	60 回	74 回										
インシデント・アクシデントレポート提出回数	1,450 回	1,069 回										

中期目標 (内容)	安全で安心な医療を提供するため、医療事故、院内感染等の医療の安全を脅かす事象に関する情報収集、分析を行い、適切な予防策を講じること。
--------------	--

実績及び法人自己評価		北九州市評価																																															
取組、成果、課題、評価理由等	評価	評価	評価理由・特記事項等																																														
<p>(3) 医療安全の徹底</p> <p>安全で安心な医療を提供するため、医療事故や院内感染など医療の安全を脅かす事象に関する情報収集・分析を行い、適切な予防策を講じた。</p> <p>【令和5年度の取組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 八幡病院において、市保健福祉局やNPO法人北九州感染制御チーム(KRICT)と連携し、地域の医療関係者や行政職員を対象に、新型コロナを含めた感染防止対策研修を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ・感染対策研修会(2回)、感染対策セミナー(2回) ○ 両病院において、医療安全ラウンドを月1回実施するとともに、各種研修は主にeラーニングを活用して適切に実施した。 ○ 各病院において、医療事故等の再発防止に向けて、多職種参加のRCA分析(根本原因分析)を実施し、分析結果を防止対策に反映しマニュアルや手順を変更した。 <ul style="list-style-type: none"> ・RCA分析件数 医療センター3件、八幡病院12件 ○ 各病院において、院内迅速対応チームについての運営委員会やワーキンググループにおいてマニュアルの検討や見直しを実施した。 ○ 各病院において、関係機関等からの感染情報を収集し、全職員へ最新の情報発信を行った。 ○ 業務継続計画(BCP)の理解を深めるための研修や災害時安否確認システムの使用訓練等により危機管理体制を強化したほか、外部講師による訴訟事案担当職員に対する研修会を開催することにより医療訴訟・クレーム対応の体制を強化した。 <p><関連指標></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="5">医療センター</th> </tr> <tr> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>研修等実施回数(回)</td> <td>56</td> <td>34</td> <td>44</td> <td>48</td> <td>41</td> </tr> <tr> <td>インシデント・アクシデント レポート提出回数(回)</td> <td>1,424</td> <td>1,468</td> <td>1,495</td> <td>1,384</td> <td>1,898</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="5">八幡病院</th> </tr> <tr> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>研修等実施回数(回)</td> <td>59</td> <td>46</td> <td>43</td> <td>49</td> <td>48</td> </tr> <tr> <td>インシデント・アクシデント レポート提出回数(回)</td> <td>1,252</td> <td>1,386</td> <td>1,132</td> <td>1,363</td> <td>1,148</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 新型コロナ感染防止の観点から、一部研修の開催を見送り</p>	項目	医療センター					R1	R2	R3	R4	R5	研修等実施回数(回)	56	34	44	48	41	インシデント・アクシデント レポート提出回数(回)	1,424	1,468	1,495	1,384	1,898	項目	八幡病院					R1	R2	R3	R4	R5	研修等実施回数(回)	59	46	43	49	48	インシデント・アクシデント レポート提出回数(回)	1,252	1,386	1,132	1,363	1,148	3	3	<p>医療事故や院内感染防止のための研修等により、安全で安心な医療を提供するための取組を行っている。</p> <p>業務継続計画(BCP)の研修等により、病院機構全体の危機管理体制の強化を図っている。</p> <p>医療安全への対応について、年度計画を順調に実施していることから、評価「3」とした。</p>
項目		医療センター																																															
	R1	R2	R3	R4	R5																																												
研修等実施回数(回)	56	34	44	48	41																																												
インシデント・アクシデント レポート提出回数(回)	1,424	1,468	1,495	1,384	1,898																																												
項目	八幡病院																																																
	R1	R2	R3	R4	R5																																												
研修等実施回数(回)	59	46	43	49	48																																												
インシデント・アクシデント レポート提出回数(回)	1,252	1,386	1,132	1,363	1,148																																												

中期目標 (内容)	高度で先進的な医療の提供に向けて、医療に関する調査、研究に積極的に取り組むこと。
--------------	--

実績及び法人自己評価		北九州市評価																																			
取組、成果、課題、評価理由等	評価	評価	評価理由・特記事項等																																		
<p>(4) 医療に関する調査・研究</p> <p>高度で先進的な医療の提供に向けて、医療に関する調査・研究に積極的に取り組んだ。</p> <p>【令和5年度の取組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 令和3年度に医療センターの治験研究推進室の機能を機構本部に移管し、新たに臨床研究推進センターを立ち上げたことにより、両病院の治験・臨床研究の情報が一元管理された。各種委員会やセミナーの開催により、関連部署との連携や教育体制をより強化し、治験等の推進に取り組んだ。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 治験等収益 77 百万円 (R1: 38 百万円、R2: 46 百万円、R3: 28 百万円、R4: 29 百万円) ・ 治験・臨床研究審査委員会を毎月開催 ・ 研究の品質管理や情報共有を目的として、治験・臨床研究運営委員会を設置、1 回開催 ・ 法令等に基づき、各種規程等を整備・見直し ・ 治験・臨床研究に携わる職員を対象としたセミナー（入門編）を年 2 回実施、継続研修のための e ラーニングを実施 ○ 治験・臨床研究の推進に向けて、施設や設備等の充実による体制整備を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ・ Agatha を新たに導入し、IRB 資料の保管にかかる管理体制を強化 ・ 業務拡大に伴い令和5年度から事務職員を 1 名増員 ○ 企業治験、特定臨床研究、臨床研究を積極的に実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和3年度に開始した肺がんの再生医療等製品の第 I 相治験を継続して実施中 ・ 令和4年度に開始した医療センターの医師が多施設共同研究の研究代表者の臨床試験を継続して実施中 <p>< 関連指標 ></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="5">医療センター</th> </tr> <tr> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>治験等実施件数(件)</td> <td>109</td> <td>181</td> <td>286</td> <td>183</td> <td>291</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="5">八幡病院</th> </tr> <tr> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>治験等実施件数(件)</td> <td>31</td> <td>21</td> <td>54</td> <td>50</td> <td>87</td> </tr> </tbody> </table> <p>※治験等実施件数には臨床研究実施件数及び公的調査研究件数を含む。</p>	項目	医療センター					R1	R2	R3	R4	R5	治験等実施件数(件)	109	181	286	183	291	項目	八幡病院					R1	R2	R3	R4	R5	治験等実施件数(件)	31	21	54	50	87	3	3	<p>令和3年度から病院機構本部に両病院の治療・臨床研究を一元管理する臨床研究推進センターを移管し、治験等の推進に取り組むなど年度計画を順調に実施している。</p> <p>治験等実施件数及び治験等収益ともに、前年度より増加し、年度計画を順調に実施していることから、評価「3」とした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 治験等実施件数 医療センター [R1:109 件→R2:181 件→R3:286 件→R4:183 件→R5:291 件] 八幡病院 [R1:31 件→R2:21 件→R3:54 件→R4:50 件→R5:87 件] ・ 治験等収益 [R1:34 百万円→R2:46 百万円→R3:28 百万円→R4:29 百万円→R5:77 百万円]
項目		医療センター																																			
	R1	R2	R3	R4	R5																																
治験等実施件数(件)	109	181	286	183	291																																
項目	八幡病院																																				
	R1	R2	R3	R4	R5																																
治験等実施件数(件)	31	21	54	50	87																																

中期目標 (項目)	<p>第1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項</p> <p>4 市民・地域医療機関からの信頼の確保</p> <p>(1) 患者サービスの向上</p>
--------------	---

中期計画	年度計画
<p>(1) 患者サービスの向上</p> <p>① 患者目線での病院運営の徹底</p> <p>ア 患者や家族のニーズを的確に把握し、市民から信頼される病院を目指す。</p> <p>また、患者中心の医療提供を行うため、接遇研修を抜本的に見直すなど、患者目線に立ったサービスの提供に努める。</p> <p>特に、看護については病室やベッドサイドで看護記録やカンファレンス等を行うセル看護方式やパートナーシップ・ナーシングシステム(PNS)の導入等、可能な限り患者に寄り添う看護の提供に取り組む。</p> <p>イ 職員が患者満足度調査等の情報を共有し、病院全体で患者満足度の向上に努める。</p> <p>患者満足度調査の手法も含めて抜本的に見直すとともに、患者ニーズを的確に把握し、課題等に対して適切な改善策を講じる。</p> <p>また、現在、特に不満の多い「受付・診察の待ち時間」の短縮に向けて、各病院において以下の取組を進める。</p> <p>医療センターにおいては、診療予約時間に基づいて中央処置室での採血や採尿の受付時間を設定するなどの混雑緩和の取組を進める。</p> <p>八幡病院においては、自動精算機・診察待ち順番表示設備の導入、問診・脈拍測定等の診察前実施に取り組む。</p>	<p>(1) 患者サービスの向上</p> <p>ア 患者目線での病院運営の徹底</p> <p>市民から信頼される病院を目指して、患者や家族のニーズを的確に把握するとともに、職員が患者満足度調査等の情報を共有し、病院全体で患者満足度の向上に努める。</p> <p>【令和5年度の取組み】</p> <p><患者ニーズの把握></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 患者満足度調査手法の有効活用 <p><患者サービスの改善></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 接遇研修の抜本的な見直し ○ 患者に寄り添う新たな看護方式試行 ○ 受付・診察・会計の待ち時間の短縮に向けた取組み

中期目標 (内容)	① 患者目線での病院運営の徹底 ア 患者や家族のニーズを的確に把握し、市民から信頼される病院を目指すこと。 イ 職員が患者満足度調査等の情報を共有し、病院全体で患者満足度の向上に努めること。
	② 快適な院内環境の整備 ア 施設や設備面での快適性を向上させること。 イ 患者や家族の利便性を向上させること。
	③ 患者や市民への情報提供 ア 診療内容、治療実績等の情報発信に積極的に取り組むこと。 イ 市民の健康増進に向けた取組みを進めること。

実績及び法人自己評価		北九州市評価	
取組、成果、課題、評価理由等	評価	評価	評価理由・特記事項等
<p>(1) 患者サービスの向上</p> <p>ア 患者目線での病院運営の徹底 市民から信頼される病院を目指して、患者や家族のニーズを的確に把握するとともに、職員が患者満足度調査等の情報を共有し、病院全体で患者満足度の向上に努めた。</p> <p>【令和5年度取組み】 ＜患者ニーズの把握＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 患者満足度調査については、令和2年度から外部委託による統一調査に変更しており、各病院の担当委員会において調査結果を踏まえた患者サービス向上施策の検討に活用した。 <p>＜患者サービスの改善＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 外部講師を招いた接遇研修などを実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ・勤務シフト等により集合研修の実施が困難との意見を踏まえ、接遇研修用資料を動画データで作成 ○ 各病院の看護部において、セル看護方式やPNSの導入に向けて、マニュアル改定やモデル病棟での試行を実施し、評価・改善を行った。 <ul style="list-style-type: none"> ・医療センターでは、セル看護方式を全病棟で、PNSを2病棟で試行実施 ・八幡病院では、PNSを2病棟で試行実施 ○ 各病院において、院内の設備の整備等により、受付・診察の待ち時間の短縮など、患者サービスの向上を図った。 <ul style="list-style-type: none"> ・医療センターでは、外来診療適正化プロジェクトによる各科別の外来待ち時間のデータ分析、会計待ち時間表示案内システム(Airwait)の活用などの取組みを推進したほか、新たにフロアコンシェルジュの配置、外来診療費後払いシステムを開始 ・八幡病院では、自動精算機・診察待ち順番表示設備の表示人数の随時調整したほか、処置室での待ち時間データの分析や待ち時間短縮に向けたシステム導入等の検討を実施 	3 (3)	4 (3)	<p>院内における連携機能やベッドコントロール機能など、入退院支援の機能強化を行った。患者サービスにおいては、待ち時間短縮等への取組みを行い、満足度調査は5段階評価で概ね4点以上を維持している。新型コロナウイルス感染防止の観点から開催を見送っていた市民公開講座を再開するとともに、ソーシャルメディアを活用した積極的な情報発信を行うなど広報の充実を図っていること、並びに接遇研修回数や広報誌等の発行回数の増加などを踏まえ、評価「4」とすることが適当である。</p>

中期計画	年度計画
<p>② 快適な院内環境の整備</p> <p>ア 院内環境の改善により施設・設備面での快適性の向上に取り組む。</p> <p>○ 医療センターにおいては、消化器疾患全般について、内科・外科が連携し、よりシームレスで総合的な診療を提供する消化器センターの開設や、婦人科、乳腺内分泌外科を中心とした女性専用病棟の開設等病棟機能の集約化に取り組む。</p> <p>○ 八幡病院においては、患者や家族がくつろげる中庭やファミリールーム等新たに整備した施設・設備を適切に活用し、より一層の快適性と利便性の向上に取り組む。</p> <p>イ 患者や家族の利便性の向上に向けて、自動精算機や診察待ち順番表示設備の導入等待ち時間短縮に向けた取り組みを推進する。</p> <p>また、入退院センター等について、メディカルソーシャルワーカー、看護師、事務職員等の人員配置を強化するなど、患者やその家族の支援機能の強化に取り組む。</p>	<p><新たな患者サービスの検討></p> <p>○ ボランティアの導入に向けた検討</p> <p>○ 通訳アプリ等を活用した外国人患者の受入れ</p> <p>イ 快適な院内環境の整備</p> <p>院内環境の改善により、院内体制の充実・強化や施設・設備の整備等により、患者や家族の快適性や利便性の向上に取り組む。</p> <p>【令和5年度の取組み】</p> <p><院内体制の充実・強化></p> <p>○ 消化器センターの円滑な運用</p> <p>○ 女性専用病棟の円滑な運用</p> <p>○ 入退院支援機能の強化</p> <p><施設・設備の整備等></p> <p>○ 中庭やファミリールームの活用</p> <p>○ 自動精算機や診察待ち順番表示設備の円滑な運用</p>

実績及び法人自己評価		北九州市評価	
取組、成果、課題、評価理由等	評価	評価	評価理由・特記事項等
<p><新たな患者サービスの検討></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ボランティアの導入については、新型コロナ感染拡大防止の観点から、今後の検討課題とした。 ○ 外国人の受入れについては、北九州国際交流協会からの医療通訳派遣を活用するほか、ポケトークや通訳アプリを活用して、適切に対応している。 <p>イ 快適な院内環境の整備</p> <p>院内環境の改善に向けて、院内体制の充実・強化や施設・設備の整備等に取り組んだ。</p> <p>【令和5年度の取組み】</p> <p><院内体制の充実・強化></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 医療センターの消化器センターについては、新型コロナ応援対応による一時休床期間も含めて、円滑に運用している。 ○ 医療センターの女性専用病棟については、乳腺外科、産婦人科、泌尿器科において、円滑に運用している。 <ul style="list-style-type: none"> ・稼働率 84.8% (R1 : 88.2%、R2 : 84.3%、R3 : 87.0%、R4 : 90.8%) ○ 院内における連携機能やベッドコントロール機能の強化など、入退院支援の機能強化に取り組んだ。 <ul style="list-style-type: none"> ・医療センターでは入退院支援、ベッドコントロール機能を持つ患者支援センターの活用を拡大 ・八幡病院では退院支援基準やマニュアルの見直しを図るとともに、R6年度からのベッドコントロール室設置を検討 <p><施設・設備の整備等></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 八幡病院の中庭は新型コロナ感染防止の観点から閉鎖していたが、感染状況を見つつ利用者を段階的に拡大しながら再開している。ファミリールームについても同様の理由で閉鎖しており、感染状況を考慮しつつ再開を検討する。 ○ 自動精算機や診察待ち順番表示設備を円滑に運用し、患者サービスの向上に努めた。 <ul style="list-style-type: none"> ・医療センターでは、会計待ち時間表示案内システム（A i r w a i t）の活用推進したほか、外来診療費後払いシステムを導入 ・八幡病院では、自動精算機・診察待ち順番表示設備の表示人数の随時調整したほか、待ち時間短縮に向けたシステム導入等の検討を実施 	(3)	(4)	

中期計画		年度計画	
< 関連指標 >			
項 目	医療センター	八幡病院	
	H29 実績		
接遇研修回数	23 回	10 回	
研修参加延人数	274 人	260 人	
患者満足度調査結果 (入院)	3.9 点	4.2 点	
患者満足度調査結果 (外来)	3.6 点	4.0 点	
※ 患者満足度調査は、病院で入院・外来ごとにアンケートを実施。各項目について 5 段階で評価			

実績及び法人自己評価						北九州市評価		
取組、成果、課題、評価理由等						評価	評価	評価理由・特記事項等
< 関連指標 >								
項目	医療センター							
	R1	R2	R3	R4	R5			
接遇研修回数(回)	17	4	2	13	26			
研修参加延人数(人)	115	116	967	282	146			
患者満足度調査結果 入院(点)	4.2	4.1	4.3	4.1	4.1			
患者満足度調査結果 外来(点)	3.5	3.7	3.7	3.8	3.7			
※ 接遇研修は新型コロナ感染防止の観点から回数を見直し、R3はeラーニングで実施								
項目	八幡病院							
	R1	R2	R3	R4	R5			
接遇研修回数(回)	10	0	0	7	13			
研修参加延人数(人)	122	0	0	282	127			
患者満足度調査結果 入院(点)	4.4	4.3	4.5	4.3	4.1			
患者満足度調査結果 外来(点)	4.1	4.2	4.2	4.1	4.0			
※ 接遇研修はR2,R3は新型コロナ感染防止の観点から実施を見送り、R4はeラーニング等での実施を含む。								
※ 患者満足度調査は、病院で入院・外来ごとにアンケートを実施。各項目について5段階で評価								

中期計画	年度計画											
<p>③ 患者や市民への情報提供</p> <p>ア 診療内容や治療実績等の情報発信に積極的に取り組む。</p> <p>○ ホームページや広報誌を通じて、診療内容や治療実績等を積極的に情報発信するとともに、SNS等のソーシャルメディアを積極的に活用する。</p> <p>イ 市民の健康増進に向けた取り組みを進める。</p> <p>< 関連指標 ></p> <table border="1" data-bbox="89 1641 761 1807"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th>医療センター</th> <th>八幡病院</th> </tr> <tr> <th colspan="2">H29 実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>広報誌等発行回数</td> <td>8回</td> <td>8回</td> </tr> <tr> <td>市民向け健康講座等開催件数</td> <td>13回</td> <td>30回</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 市民向け健康講座等開催件数は、市民向けに実施した公開講座や出前講演等。</p>	項目	医療センター	八幡病院	H29 実績		広報誌等発行回数	8回	8回	市民向け健康講座等開催件数	13回	30回	<p>ウ 患者や市民への情報提供</p> <p>診療内容や治療実績等の情報発信に積極的に取り組むとともに、市民の健康増進に向けた取り組みを進める。</p> <p>【令和5年度の取り組み】</p> <p>○ 診療内容や治療実績等の情報発信</p> <p>○ ホームページの見直し</p> <p>○ 各種PRツールの整備</p> <p>○ ソーシャルメディアの活用</p> <p>○ 市民向け健康講座等の充実</p> <p>○ 医療センター開院150周年記念イベントの開催</p> <p>○ 広報対応力の強化</p>
項目		医療センター	八幡病院									
	H29 実績											
広報誌等発行回数	8回	8回										
市民向け健康講座等開催件数	13回	30回										

実績及び法人自己評価		北九州市評価																																																
取組、成果、課題、評価理由等	評価	評価	評価理由・特記事項等																																															
<p>ウ 患者や市民への情報提供</p> <p>診療内容や治療実績等の情報発信に積極的に取り組むとともに、市民の健康増進に向けた取組みを進めた。</p> <p>【令和5年度の取組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 患者、市民、地域医療機関等に向けて、診療内容や治療実績等を情報発信するため、広報誌やリーフレットを作成したほか、ホームページも随時見直しを行った。 <ul style="list-style-type: none"> ・機構本部広報担当ラインと両病院が連携し、ホームページのトップページの大幅改修を実施 ・医療センターでは、広報誌「輪」を年4回発行 ・八幡病院では、広報誌「やはた病院ニュース」を年3回、「さらくら」を年1回発行 ・その他、両病院とも各診療科をPRするリーフレット等を作成 ○ 診療内容等を広く発信するため、各種のソーシャルメディアを活用して情報発信に努めた。 <ul style="list-style-type: none"> ・医療センターでは、Facebook、X、Instagramを活用して病院の取組みや診療科の紹介等の情報を発信したほか、YouTubeを活用した市民公開講座等を配信 ・八幡病院では、Facebookを活用してDMAT・小児医療等の情報を発信したほか、Facebook、X、Instagram、YouTubeでも情報を発信 ○ 新型コロナ感染防止の観点から開催を見送っていた市民公開講座等を再開した。 <ul style="list-style-type: none"> ・医療センターでは、市民公開講座のユーチューブ配信や出前講座を積極的に実施したほか、150周年記念イベントを実施 ・八幡病院では、小児アレルギー関連の講座を複数回開催したほか、出前講座についても積極的に実施 ○ 機構本部の広報担当係と両病院の広報担当が随時情報を共有し、ホームページなどを通じた効果的・効率的な情報発信を実施した。 <p>< 関連指標 ></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="5">医療センター</th> </tr> <tr> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>広報誌等発行回数(回)</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>市民向け健康講座等開催件数(回)</td> <td>20</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>18</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="5">八幡病院</th> </tr> <tr> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>広報誌等発行回数(回)</td> <td>8</td> <td>15</td> <td>19</td> <td>14</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>市民向け健康講座等開催件数(回)</td> <td>35</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>7</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 市民向け健康講座等開催件数は、市民向けに実施した公開講座や出前講演等</p>	項目	医療センター					R1	R2	R3	R4	R5	広報誌等発行回数(回)	5	4	4	4	4	市民向け健康講座等開催件数(回)	20	0	0	1	18	項目	八幡病院					R1	R2	R3	R4	R5	広報誌等発行回数(回)	8	15	19	14	10	市民向け健康講座等開催件数(回)	35	0	1	3	7	(4)	(4)		
項目		医療センター																																																
	R1	R2	R3	R4	R5																																													
広報誌等発行回数(回)	5	4	4	4	4																																													
市民向け健康講座等開催件数(回)	20	0	0	1	18																																													
項目	八幡病院																																																	
	R1	R2	R3	R4	R5																																													
広報誌等発行回数(回)	8	15	19	14	10																																													
市民向け健康講座等開催件数(回)	35	0	1	3	7																																													

中期目標 (項目)	第1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項 4 市民・地域医療機関からの信頼の確保 (2) 地域の医療機関等との連携
--------------	---

中期計画	年度計画
<p>(2) 地域医療機関等との連携</p> <p>ア 地域医療機関のニーズと役割を把握し、地域医療機関に信頼される病院を目指す。</p> <p>○ 地域医療機関へのヒアリングやアンケートの実施により、信頼の確保に努めるとともに、医療連携室の機能強化により、急性期医療を要する患者の地域医療機関からの紹介と慢性・軽症患者の地域医療機関への逆紹介を推進する。</p> <p>○ 福岡県地域医療構想調整会議での議論や地域の医療機関のニーズを踏まえ、適切な機能分化・役割分担の構築に努める。</p>	<p>(2) 地域医療機関等との連携</p> <p>ア 地域医療機関のニーズと役割を把握し、地域医療機関に信頼される病院を目指す。</p> <p>【令和5年度の取組み】</p> <p>○ 地域医療機関へのヒアリングやアンケートの実施</p> <p>○ 地域医療連携機能の強化</p> <p>○ 紹介率・逆紹介率の向上</p> <p>○ 近隣病院との機能分化・役割分担に向けた検討</p> <p>○ 紹介受診重点医療機関の認定</p>

中期目標 (内容)	<p>ア 地域の医療機関のニーズと役割を把握し、地域の医療機関に信頼される病院を目指すこと。</p> <p>イ 地域医療支援病院として求められる役割を着実に果たすこと。</p> <p>ウ 医療センターと八幡病院の機能分化や連携を深めること。</p>
--------------	--

実績及び法人自己評価		北九州市評価	
取組、成果、課題、評価理由等	評価	評価	評価理由・特記事項等
<p>(2) 地域の医療機関等との連携</p> <p>ア 地域医療機関のニーズと役割の把握等 地域医療機関に信頼される病院を目指し、地域医療機関のニーズと役割の把握に取り組んだ。</p> <p>【令和5年度の取組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 医療機関に積極的に訪問したほか、ヒアリングやアンケートを実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ・医療センターでは、延べ741件の医療機関を訪問したほか、要望書を配付・回収して意見・要望等を把握 ・八幡病院では、延べ570件の地域医療機関を訪問し、意見・要望等の把握に向けたヒアリングを実施 ○ 地域の医療機関との連携強化に向けて、紹介実績データの整理、PRツールの拡充、ヒアリングやアンケートによるニーズの把握、返書管理の徹底など、院内の営業戦略を検討するチームが中心となり取組みを推進した。 ○ 医療機関への積極的な訪問や、返書管理の徹底などにより地域医療機関と信頼関係を構築することで、紹介・逆紹介を推進した。 <ul style="list-style-type: none"> ・医療センター紹介患者数11,127件 (R1:10,613件、R2:9,103件、R3:10,317件、R4:10,511件) ・八幡病院紹介患者数7,502件 (R1:6,561件、R2:5,903件、R3:6,889件、R4:6,791件) ○ 福岡県地域医療構想の実現に向けて、近隣病院との機能分化・役割分担を進めていくため、地域医療機関の意見・要望の集約に努めた。 ○ 紹介受診重点医療機関の認定に向けて、外来機能報告等の必要な作業を実施し、医療センターが認定を取得した。 	4 (4)	4 (4)	<p>紹介患者数・紹介率・逆紹介率は、両病院ともに増加・向上している。</p> <p>消防局との連携も強化しており、年度計画を上回って実施していると言え、評価「4」とした。</p>

中期計画		年度計画		
< 関連指標 >				
項目	医療センター		八幡病院	
	H29実績	R5目標	H29実績	R5目標
紹介率	86.6%	90.0%	67.1%	70.0%
逆紹介率	68.0%	80.0%	96.7%	100.0%
※ 紹介率＝紹介患者数÷（初診患者数－救急車搬送初診患者数－時間外初診患者数）×100 ※ 逆紹介率＝逆紹介患者数÷（初診患者数－救急車初診搬送患者数－時間外初診患者数）×100				
イ 地域医療支援病院として求められる役割を着実に果たす。		イ 地域医療支援病院として求められる役割を着実に果たす。		
○ 地域医療支援病院として、紹介患者に対する医療提供、医療機器の共同利用を通じて地域医療を担うかかりつけ医等に対する支援を行う。		【令和5年度の取組み】 ○ 医療機器の共同利用等の実績の向上 ○ かかりつけ医等に対する支援		
		○ 「連携ネット北九州」の活用促進【再掲】		

実績及び法人自己評価						北九州市評価																																																
取組、成果、課題、評価理由等						評価	評価	評価理由・特記事項等																																														
<p><関連指標></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="5">医療センター</th> </tr> <tr> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>紹介率(%)</td> <td>85.2</td> <td>85.1</td> <td>84.1</td> <td>85.1</td> <td>93.5</td> </tr> <tr> <td>逆紹介率(%)</td> <td>81.3</td> <td>96.2</td> <td>95.3</td> <td>88.5</td> <td>92.5</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="5">八幡病院</th> </tr> <tr> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>紹介率(%)</td> <td>63.6</td> <td>77.0</td> <td>80.2</td> <td>78.7</td> <td>85.0</td> </tr> <tr> <td>逆紹介率(%)</td> <td>82.3</td> <td>110.0</td> <td>96.9</td> <td>94.7</td> <td>100.1</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 紹介率＝紹介患者数÷（初診患者数－救急車搬送初診患者数－時間外初診患者数）×100 ※ 逆紹介率＝逆紹介患者数÷（初診患者数－救急車初診搬送患者数－時間外初診患者数）×100</p> <p>イ 地域医療支援病院としての役割 地域医療支援病院として求められる役割を着実に果たすよう努めた。</p> <p>【令和5年度の取組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 医療機器の共同利用の実績向上に向けて、地域医療機関への訪問やホームページ、広報誌等を通じた広報活動等に取り組んだ。 ○ かかりつけ医に対する支援の充実に向け、各病院において、紹介患者の優先的な対応や医療従事者向けの研修会の開催等に取り組んだ。 <ul style="list-style-type: none"> ・医療センターでは、連携ネット北九州による情報提供を推進したほか、Webによる医療従事者研修会を11回開催 ・八幡病院では、在宅療養後方支援病院の推進のためかかりつけ医等の登録を進めたほか、Webによる医療従事者研修を13回開催 ○ 「連携ネット北九州」の活用促進に向けて、医療機関の訪問やチラシ郵送等によるPR活動に取り組んだ。【再掲】※医療センター <ul style="list-style-type: none"> ・3月末時点の活用医療機関数159件 (R1：150件、R2：158件、R3：160件、R4：159件) 						項目	医療センター					R1	R2	R3	R4	R5	紹介率(%)	85.2	85.1	84.1	85.1	93.5	逆紹介率(%)	81.3	96.2	95.3	88.5	92.5	項目	八幡病院					R1	R2	R3	R4	R5	紹介率(%)	63.6	77.0	80.2	78.7	85.0	逆紹介率(%)	82.3	110.0	96.9	94.7	100.1	(3)	(3)	
項目	医療センター																																																					
	R1	R2	R3	R4	R5																																																	
紹介率(%)	85.2	85.1	84.1	85.1	93.5																																																	
逆紹介率(%)	81.3	96.2	95.3	88.5	92.5																																																	
項目	八幡病院																																																					
	R1	R2	R3	R4	R5																																																	
紹介率(%)	63.6	77.0	80.2	78.7	85.0																																																	
逆紹介率(%)	82.3	110.0	96.9	94.7	100.1																																																	

中期計画	年度計画																				
<p>○ 大腿骨近位部骨折や脳卒中については、地域医療機関との連携の下に策定した地域連携クリティカルパス（北九州標準モデル）の普及に努める。 また、がんについては、福岡県地域連携クリティカルパスの普及に努める。</p> <p>○ 地域の医療機関を対象に地域連携会を中心とした情報交換体制の充実を図る。</p>	<p>○ 地域連携クリティカルパスの普及促進</p> <p>○ 福岡県がん地域連携クリティカルパスの普及【再掲】</p> <p>○ 地域連携会を中心とした情報交換体制の充実</p> <p>○ 消防局との連携強化</p>																				
<p>< 関連指標 ></p>																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="2">医療センター</th> </tr> <tr> <th>H29実績</th> <th>R5目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>共同利用件数 (高額医療機器)</td> <td>1,433件</td> <td>1,500件</td> </tr> <tr> <td>共同利用件数 (開放病床)</td> <td>51件</td> <td>60件</td> </tr> <tr> <td>地域医療従事者研修 実施回数</td> <td>12回</td> <td>12回</td> </tr> <tr> <td>登録医療機関件数</td> <td>615件</td> <td>620件</td> </tr> <tr> <td>地域医療連携会議 参加人数</td> <td>640人</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>		項目	医療センター		H29実績	R5目標	共同利用件数 (高額医療機器)	1,433件	1,500件	共同利用件数 (開放病床)	51件	60件	地域医療従事者研修 実施回数	12回	12回	登録医療機関件数	615件	620件	地域医療連携会議 参加人数	640人	—
項目	医療センター																				
	H29実績	R5目標																			
共同利用件数 (高額医療機器)	1,433件	1,500件																			
共同利用件数 (開放病床)	51件	60件																			
地域医療従事者研修 実施回数	12回	12回																			
登録医療機関件数	615件	620件																			
地域医療連携会議 参加人数	640人	—																			
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="2">八幡病院</th> </tr> <tr> <th>H29実績</th> <th>R5目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>共同利用件数 (高額医療機器)</td> <td>798件</td> <td>900件</td> </tr> <tr> <td>共同利用件数 (開放病床)</td> <td>74件</td> <td>100件</td> </tr> <tr> <td>地域医療従事者研修 実施回数</td> <td>12回</td> <td>20回</td> </tr> <tr> <td>登録医療機関件数</td> <td>221件</td> <td>230件</td> </tr> <tr> <td>地域医療連携会 議参加人数</td> <td>377人</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>		項目	八幡病院		H29実績	R5目標	共同利用件数 (高額医療機器)	798件	900件	共同利用件数 (開放病床)	74件	100件	地域医療従事者研修 実施回数	12回	20回	登録医療機関件数	221件	230件	地域医療連携会 議参加人数	377人	—
項目	八幡病院																				
	H29実績	R5目標																			
共同利用件数 (高額医療機器)	798件	900件																			
共同利用件数 (開放病床)	74件	100件																			
地域医療従事者研修 実施回数	12回	20回																			
登録医療機関件数	221件	230件																			
地域医療連携会 議参加人数	377人	—																			

実績及び法人自己評価		北九州市評価																																																																																				
取組、成果、課題、評価理由等	評価	評価	評価理由・特記事項等																																																																																			
<p>○ 地域連携クリティカルパスの普及に向けて、院内への周知、関係医療機関とのカンファレンスの実施等に取り組んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療センターでは、脳卒中・大腿骨骨折・前立腺がんを運用 ・八幡病院では、脳卒中・大腿骨骨折を運用 <p>○ 福岡県がん地域連携クリティカルパスについて、県内関係者と協同して普及促進に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運用件数（医療センター）34件 （R2：27件、R3：36件、R4：30件） <p>○ 地域医療機関との連携強化に向け、両病院において地域医療機関を対象とした医療連携の会を開催した。</p> <p>○ 円滑な救急医療体制の構築に向け、市内及び市近郊の消防署への訪問や、救急救命士への実地研修等を開催し、消防局との連携強化を図った。</p> <p>< 関連指標 ></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="5">医療センター</th> </tr> <tr> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>共同利用件数 高額医療機器(件)</td> <td>1,274</td> <td>1,193</td> <td>1,327</td> <td>1,340</td> <td>1,180</td> </tr> <tr> <td>共同利用件数 開放病床(件)</td> <td>35</td> <td>92</td> <td>68</td> <td>63</td> <td>68</td> </tr> <tr> <td>地域医療従事者研修 実施回数(回)</td> <td>9</td> <td>7</td> <td>11</td> <td>10</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>登録医療機関件数(件)</td> <td>588</td> <td>587</td> <td>582</td> <td>579</td> <td>567</td> </tr> <tr> <td>地域医療連携会議 参加人数(人)</td> <td>312</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>99</td> <td>193</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="5">八幡病院</th> </tr> <tr> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>共同利用件数 高額医療機器(件)</td> <td>710</td> <td>665</td> <td>737</td> <td>698</td> <td>542</td> </tr> <tr> <td>共同利用件数 開放病床(件)</td> <td>71</td> <td>27</td> <td>48</td> <td>19</td> <td>44</td> </tr> <tr> <td>地域医療従事者研修 実施回数(回)</td> <td>17</td> <td>10</td> <td>25</td> <td>26</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>登録医療機関件数(件)</td> <td>220</td> <td>237</td> <td>245</td> <td>250</td> <td>251</td> </tr> <tr> <td>地域医療連携会議 参加人数(人)</td> <td>393</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>281</td> </tr> </tbody> </table>	項目	医療センター					R1	R2	R3	R4	R5	共同利用件数 高額医療機器(件)	1,274	1,193	1,327	1,340	1,180	共同利用件数 開放病床(件)	35	92	68	63	68	地域医療従事者研修 実施回数(回)	9	7	11	10	11	登録医療機関件数(件)	588	587	582	579	567	地域医療連携会議 参加人数(人)	312	0	0	99	193	項目	八幡病院					R1	R2	R3	R4	R5	共同利用件数 高額医療機器(件)	710	665	737	698	542	共同利用件数 開放病床(件)	71	27	48	19	44	地域医療従事者研修 実施回数(回)	17	10	25	26	13	登録医療機関件数(件)	220	237	245	250	251	地域医療連携会議 参加人数(人)	393	0	0	0	281				
項目		医療センター																																																																																				
	R1	R2	R3	R4	R5																																																																																	
共同利用件数 高額医療機器(件)	1,274	1,193	1,327	1,340	1,180																																																																																	
共同利用件数 開放病床(件)	35	92	68	63	68																																																																																	
地域医療従事者研修 実施回数(回)	9	7	11	10	11																																																																																	
登録医療機関件数(件)	588	587	582	579	567																																																																																	
地域医療連携会議 参加人数(人)	312	0	0	99	193																																																																																	
項目	八幡病院																																																																																					
	R1	R2	R3	R4	R5																																																																																	
共同利用件数 高額医療機器(件)	710	665	737	698	542																																																																																	
共同利用件数 開放病床(件)	71	27	48	19	44																																																																																	
地域医療従事者研修 実施回数(回)	17	10	25	26	13																																																																																	
登録医療機関件数(件)	220	237	245	250	251																																																																																	
地域医療連携会議 参加人数(人)	393	0	0	0	281																																																																																	

中期計画	年度計画
<p>ウ 市立病院が一つの病院事業体として、効率的・効果的な病院運営を行うため、医療センターと八幡病院の機能分化や連携を推進する。</p> <p>○ 医療提供機能の相互支援の充実に向けて、各病院の専門分野に関する知識の習得のため、医師を含めた多職種における人事交流を推進する。</p> <p>○ 特に、市立病院の専門分野においては、相互に患者の紹介等を優先的に行う。</p> <p>○ 高度医療機器の共同利用や、診療・検査等における医療提供機能の相互支援に取り組む。</p>	<p>ウ 市立病院が一つの病院事業体として、効率的・効果的な病院運営を行うため、医療センターと八幡病院の機能分化や連携を推進する。</p> <p>【令和5年度の取組み】</p> <p>○ 医師を含めた多職種における人事交流の推進</p> <p>○ 相互の専門分野における優先的な患者の紹介・連携推進連絡会議による相互紹介の推進</p> <p>○ 高度医療機器の共同利用に向けた取組み</p> <p>○ 診療・検査等における医療提供機能の相互支援</p> <p>○ TV会議システムの活用</p> <p>○ 電子カルテの共通化に向けた検討</p>

実績及び法人自己評価		北九州市評価	
取組、成果、課題、評価理由等	評価	評価	評価理由・特記事項等
<p>ウ 医療センターと八幡病院の連携</p> <p>市立病院が一つの病院事業体として、効率的・効果的な病院運営を行うため、理事長のリーダーシップの下、医療センターと八幡病院の機能分化や連携を推進した。</p> <p>【令和5年度の取組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 医療提供機能の相互支援の充実に向けて、多職種における人事交流（令和5年4月異動）に取り組んだ。 <ul style="list-style-type: none"> ・看護師は、医療センターから八幡病院へ係員4名、八幡病院から医療センターへ係員2名、看護専門学校から八幡病院へ副看護部長1名・副看護師長1名、医療センターから看護専門学校へ主査1名 ・薬剤師は、医療センターから八幡病院へ薬剤師長1名、八幡病院から医療センターへ薬剤師長1名 ・作業療法士は、医療センターから八幡病院へ作業療法士長1名、八幡病院から医療センターへ係員1名 ・臨床検査技師は、医療センターから八幡病院へ主任1名、八幡病院から医療センターへ係員1名 ○ 各病院の専門分野における相互に優先的な患者紹介を推進した。 <ul style="list-style-type: none"> ・医療センターから八幡病院への紹介患者数75人（R1：26人、R2：33人、R3：24人、R4：36人） ・八幡病院から医療センターへの紹介患者数50人（R1：33人、R2：50人、R3：48人、R4：44人） ○ 各病院が保有する高度医療機器を有効活用するため、新規購入の予算要求時に、共同利用の可否について検討した。 ○ 診療・検査等における医療提供機能の相互支援を推進するため、医師の診療・当直応援の実施に取り組んだ。 <ul style="list-style-type: none"> ・八幡病院の小児科から医療センターの新生児科に医師を派遣（1名、週5日、診療応援） ○ 新型コロナ感染拡大防止や業務効率化の観点から、機構本部・両病院の三者会議等でTV会議システムを最大限に活用した。 ○ 令和10年度に両病院の電子カルテを共通化させる方針の下、令和5年度に医療センターの更新を行った。 	(4)	(4)	

中期目標 (項目)	第2 業務運営の改善及び効率化に関する事項 1 収入増加・確保対策 (1) 病床利用率の向上
--------------	--

中期計画	年度計画
<p>1 収入増加・確保対策 (1) 病床利用率の向上</p> <p>政策医療等に関する病床を除く一般病床については、法人全体の営業収支及び経常収支の黒字化を前提とした病床利用率の数値目標を設定し、その目標達成に向けて各病院全体で取り組む。</p> <p>また、病床利用率の数値目標の達成に向けて、診療科毎に数値目標を設定して全てのスタッフで共有するなど目標管理を徹底するとともに、地域医療機関との連携強化や救急患者の積極的な受入によって患者の確保に努めるほか、ベッドコントロールの効率化による病床利用率の向上に取り組む。</p> <p>○ 医療センターにおいては、クリニカルパスの整備、早期リハビリテーションの実施等によって在院日数の短縮に取り組むとともに、副院長をトップとして病棟看護師長がベッドコントロールを行う病床マネジメントのための管理体制を構築する。</p> <p>また、外来診察の完全予約制の導入を検討する等、地域医療機関との連携強化により、急性期医療を必要とする患者の受入と急性期を脱した患者の地域医療機関へのシフトを促進することにより、患者の確保に努める。</p> <p>○ 八幡病院においては、DPCデータ等に基づくベッドコントロールの効率化や多職種による退院支援体制の強化に取り組む。</p> <p>また、小児救急・小児総合医療センターにおける専門医療の充実や、地域のニーズを踏まえた消化器・肝臓病センターや心不全センターの運営等、市民に求められる医療の提供を通じて、患者の確保に努める。</p>	<p>1 収入増加・確保対策 (1) 病床利用率の向上</p> <p>政策医療等に関する病床を除く一般病床については、法人全体の営業収支及び経常収支の黒字化を前提とした病床利用率の数値目標を設定し、その目標達成に向けて各病院全体で取り組む。</p> <p>また、病床利用率の数値目標の達成に向けて、診療科毎に数値目標を設定して全てのスタッフで共有するなど目標管理を徹底するとともに、地域医療機関との連携強化や救急患者の積極的な受入によって患者の確保に努めるほか、ベッドコントロールの効率化による病床利用率の向上に取り組む。</p> <p>その上で、後方支援病院の開拓などにより、適切なDPC入院期間での退院に努めることで増収を図る。</p> <p>【令和5年度の取組み】</p> <p><目標管理></p> <p>○ 病棟別・診療科毎の目標管理の徹底</p> <p>○ 稼動実績を踏まえた病床配置の見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナ感染状況に応じた柔軟な病床運用 ・病棟再編の推進 <p><マネジメント体制></p> <p>○ 入退院支援機能の強化【再掲】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ベッドコントロール機能の強化 ・TMSCの全科介入（医療センター）

中期目標 (内容)	政策医療等に関する病床を除く一般病床については、法人全体の営業収支及び経常収支の黒字化を前提とした病床利用率の数値目標を設定し、その目標達成に向けて各病院全体で取り組むこと。
--------------	---

実績及び法人自己評価		北九州市評価	
取組、成果、課題、評価理由等	評価	評価	評価理由・特記事項等
<p>1 収入増加・確保対策</p> <p>(1) 病床利用率の向上</p> <p>県の要請に応じて柔軟に新型コロナ病床を増減させるとともに、受入患者増加時には、一般病床の一部休止、手術や救急受入の制限を行うなど、新型コロナ対策を優先した病院運営を実施したことにより、例年に比べて患者数は減少が続いている。</p> <p>このような状況の中、地域連携機能や救急受入体制の強化、ベッドコントロールの効率化などを行なうことで、一般病床の稼働率向上に努めた。</p> <p>【令和5年度の取組み】</p> <p><目標管理></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 機構全体または各病院において、目標数値の設定、達成状況の確認や原因分析など、目標管理の徹底に取り組んだ。 <ul style="list-style-type: none"> ・機構全体の毎月の収支目標を設定し、経営本部会議において月次決算を検証、原因分析等を実施 ・一般病床の稼働率目標など収支改善の目標を設定し、経営ヒアにおいて課題や進捗状況の情報共有を実施 ○ 病床の配置については、新型コロナ患者の増減に合わせて一般病床を増減させるなど、柔軟な見直しを実施した。特に感染拡大時には、随時、看護師や病床の配置を見直したほか、ベッドコントロールによる退院促進や主病棟以外での積極的な患者受入などを行うことで、通常より少ない一般病床数においても最大限の患者を受け入れられるように努めた。 <p><マネジメント体制></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 病床稼働率の向上に向けて、各病院において、ベッドコントロールの効率化や入退院支援体制の充実に取り組んだ。 <ul style="list-style-type: none"> ・医療センターでは、患者支援センターにおいてベッドコントロール、入退院支援を一元的に実施したほか、病棟再編を実施したことでより柔軟な入院受入を実現 ・八幡病院では、多職種からなるベットコントロールチームにおいてベッドコントロールしたほか、R6年度のベッドコントロール室設置に向けた検討を実施 	3	3	<p>ベッドコントロールの効率化など、利用率向上に向けた取組を行っているものの、コロナ禍以前の水準には回復していない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療センター [R1: 80.6%→R2: 69.3%→R3: 73.1%→R4: 72.3%→R5: 75.7%] ・八幡病院 [R1: 80.8%→R2: 64.1%→R3: 67.1%→R4: 68.1%→R5: 72.0%] <p>病床利用率向上及び患者確保に向け、救急患者の積極的な受入れや体制強化に努めており、年度計画を順調に実施していると言えることから、評価「3」とした。</p> <p>病床利用率のさらなる向上への取組により、目標達成できるよう期待する。</p>

中期計画	年度計画																																														
<p data-bbox="92 801 252 835">< 関連指標 ></p> <table border="1" data-bbox="92 840 762 1169"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="2">医療センター</th> </tr> <tr> <th>H29実績</th> <th>R5目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>病床利用率（全体）</td> <td>75.5%</td> <td>85.5%</td> </tr> <tr> <td>〃（感染症・周産期除く）</td> <td>80.5%</td> <td>92.0%</td> </tr> <tr> <td>外来患者数</td> <td>264,264人</td> <td>258,005人</td> </tr> <tr> <td>入院患者数</td> <td>161,253人</td> <td>163,349人</td> </tr> <tr> <td>手術件数</td> <td>3,709件</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>平均在院日数</td> <td>14.7日</td> <td>14.7日</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" data-bbox="92 1214 762 1543"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="2">八幡病院</th> </tr> <tr> <th>H29実績</th> <th>R5目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>病床利用率（全体）</td> <td>73.8%</td> <td>89.6%</td> </tr> <tr> <td>〃（感染症・周産期除く）</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>外来患者数</td> <td>130,191人</td> <td>139,748人</td> </tr> <tr> <td>入院患者数</td> <td>84,345人</td> <td>102,330人</td> </tr> <tr> <td>手術件数</td> <td>1,469件</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>平均在院日数</td> <td>10.2日</td> <td>10.2日</td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="92 1552 762 1861"> ※ 病床利用率＝1日当たり入院患者数÷病床数×100 ※ 病床利用率の実績については、医療センター585床、八幡病院313床をベースに算定している。 ※ 病床利用率の目標については、これまでの各病院の稼働状況等を踏まえ、医療センター522床、八幡病院312床をベースに、平成30年度決算見込の収支をもとに算定しており、今後の病床数や収支の状況によって数値が変動する可能性がある。 </p>	項目	医療センター		H29実績	R5目標	病床利用率（全体）	75.5%	85.5%	〃（感染症・周産期除く）	80.5%	92.0%	外来患者数	264,264人	258,005人	入院患者数	161,253人	163,349人	手術件数	3,709件	—	平均在院日数	14.7日	14.7日	項目	八幡病院		H29実績	R5目標	病床利用率（全体）	73.8%	89.6%	〃（感染症・周産期除く）	—	—	外来患者数	130,191人	139,748人	入院患者数	84,345人	102,330人	手術件数	1,469件	—	平均在院日数	10.2日	10.2日	<p data-bbox="788 241 948 275">< 患者確保 ></p> <ul data-bbox="813 282 1203 633" style="list-style-type: none"> ○ 救急患者の積極的な受入れ ○ 外来診察の原則予約制の実施
項目		医療センター																																													
	H29実績	R5目標																																													
病床利用率（全体）	75.5%	85.5%																																													
〃（感染症・周産期除く）	80.5%	92.0%																																													
外来患者数	264,264人	258,005人																																													
入院患者数	161,253人	163,349人																																													
手術件数	3,709件	—																																													
平均在院日数	14.7日	14.7日																																													
項目	八幡病院																																														
	H29実績	R5目標																																													
病床利用率（全体）	73.8%	89.6%																																													
〃（感染症・周産期除く）	—	—																																													
外来患者数	130,191人	139,748人																																													
入院患者数	84,345人	102,330人																																													
手術件数	1,469件	—																																													
平均在院日数	10.2日	10.2日																																													

実績及び法人自己評価		北九州市評価																																																																																																				
取組、成果、課題、評価理由等	評価	評価	評価理由・特記事項等																																																																																																			
<p><患者確保></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 病床稼働率向上及び患者確保のため、救急患者の積極的な受入れや体制強化に努めた。 <ul style="list-style-type: none"> ・医療センターでは、救急車受入件数の目標 2,000 件を達成したほか、小児救急医療における平日の時間外診療を開始した。 ・八幡病院では、市内及び市内近郊の消防署や地域の医療機関等への訪問を行い連携体制を強化するとともに、積極的な救急受入を実施し、目標 4,000 件を達成した。 ○ 医療センターにおいて、地域の診療所との機能分化を進めるため、令和 3 年度に外来予約センターを開設し、原則予約制や二次検診・個人紹介予約を継続している。 <p><関連指標></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="5">医療センター</th> </tr> <tr> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>病床利用率 全体 (%)</td> <td>80.6</td> <td>69.3</td> <td>73.1</td> <td>72.3</td> <td>75.7</td> </tr> <tr> <td>病床利用率 感染症・周産期除く (%)</td> <td>85.9</td> <td>76.9</td> <td>87.2</td> <td>87.8</td> <td>86.8</td> </tr> <tr> <td>外来患者数(人)</td> <td>251,036</td> <td>231,218</td> <td>246,155</td> <td>248,041</td> <td>248,880</td> </tr> <tr> <td>入院患者数(人)</td> <td>154,033</td> <td>131,981</td> <td>139,177</td> <td>137,763</td> <td>143,752</td> </tr> <tr> <td>手術件数(件)</td> <td>3,934</td> <td>3,362</td> <td>3,599</td> <td>3,674</td> <td>3,893</td> </tr> <tr> <td>平均在院日数(日)</td> <td>13.8</td> <td>13.2</td> <td>12.6</td> <td>11.8</td> <td>11.1</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="5">八幡病院</th> </tr> <tr> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>病床利用率 全体 (%)</td> <td>80.8</td> <td>64.1</td> <td>67.1</td> <td>68.1</td> <td>72.0</td> </tr> <tr> <td>病床利用率 感染症・周産期除く (%)</td> <td>—</td> <td>(参考) 74.1</td> <td>(参考) 82.7</td> <td>(参考) 84.0</td> <td>(参考) 84.0</td> </tr> <tr> <td>外来患者数(人)</td> <td>121,000</td> <td>91,752</td> <td>98,028</td> <td>104,810</td> <td>125,994</td> </tr> <tr> <td>入院患者数(人)</td> <td>92,315</td> <td>72,988</td> <td>76,405</td> <td>77,525</td> <td>82,203</td> </tr> <tr> <td>手術件数(件)</td> <td>1,899</td> <td>1,727</td> <td>1,997</td> <td>2,037</td> <td>2,145</td> </tr> <tr> <td>平均在院日数(日)</td> <td>11.2</td> <td>11.5</td> <td>10.7</td> <td>10.9</td> <td>10.2</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 病床利用率=1日当たり入院患者数÷病床数×100 ※ 病床利用率の実績については、医療センター514床（R5年10月31日まで522床）、八幡病院312床をベースに算定。</p>					項目	医療センター					R1	R2	R3	R4	R5	病床利用率 全体 (%)	80.6	69.3	73.1	72.3	75.7	病床利用率 感染症・周産期除く (%)	85.9	76.9	87.2	87.8	86.8	外来患者数(人)	251,036	231,218	246,155	248,041	248,880	入院患者数(人)	154,033	131,981	139,177	137,763	143,752	手術件数(件)	3,934	3,362	3,599	3,674	3,893	平均在院日数(日)	13.8	13.2	12.6	11.8	11.1	項目	八幡病院					R1	R2	R3	R4	R5	病床利用率 全体 (%)	80.8	64.1	67.1	68.1	72.0	病床利用率 感染症・周産期除く (%)	—	(参考) 74.1	(参考) 82.7	(参考) 84.0	(参考) 84.0	外来患者数(人)	121,000	91,752	98,028	104,810	125,994	入院患者数(人)	92,315	72,988	76,405	77,525	82,203	手術件数(件)	1,899	1,727	1,997	2,037	2,145	平均在院日数(日)	11.2	11.5	10.7	10.9	10.2				
項目	医療センター																																																																																																					
	R1	R2	R3	R4	R5																																																																																																	
病床利用率 全体 (%)	80.6	69.3	73.1	72.3	75.7																																																																																																	
病床利用率 感染症・周産期除く (%)	85.9	76.9	87.2	87.8	86.8																																																																																																	
外来患者数(人)	251,036	231,218	246,155	248,041	248,880																																																																																																	
入院患者数(人)	154,033	131,981	139,177	137,763	143,752																																																																																																	
手術件数(件)	3,934	3,362	3,599	3,674	3,893																																																																																																	
平均在院日数(日)	13.8	13.2	12.6	11.8	11.1																																																																																																	
項目	八幡病院																																																																																																					
	R1	R2	R3	R4	R5																																																																																																	
病床利用率 全体 (%)	80.8	64.1	67.1	68.1	72.0																																																																																																	
病床利用率 感染症・周産期除く (%)	—	(参考) 74.1	(参考) 82.7	(参考) 84.0	(参考) 84.0																																																																																																	
外来患者数(人)	121,000	91,752	98,028	104,810	125,994																																																																																																	
入院患者数(人)	92,315	72,988	76,405	77,525	82,203																																																																																																	
手術件数(件)	1,899	1,727	1,997	2,037	2,145																																																																																																	
平均在院日数(日)	11.2	11.5	10.7	10.9	10.2																																																																																																	

中期目標 (項目)	第2 業務運営の改善及び効率化に関する事項 1 収入増加・確保対策 (2) 適切な診療報酬の確保
--------------	--

中期計画	年度計画
<p>(2) 適切な診療報酬の確保</p> <p>ア 複雑化する診療報酬制度に対応し、診療行為に対する診療報酬を適切に確保するため、専門的知識・経験を有する事務職員をプロパー職員として計画的に採用するとともに、診療情報管理士の資格取得等による事務職員の育成に努めるなど、医療事務の処理能力の強化に取り組む。</p> <p>イ 全職員が診療報酬制度への理解を深めるため、経営状況や診療報酬制度等に関する職員説明会等の実施に取り組むとともに、医療環境の変化や患者の動向等を迅速かつ的確に把握・分析し、診療機能の強化につながる施設基準の取得等、効果的な経営戦略を企画・立案するため、法人全体の事務処理体制の強化に取り組む。</p> <p>また、診療報酬の請求漏れや減点の防止に努めるとともに、未収金の発生防止や効果的な回収策を講じるなど、適切な診療報酬の確保に向けて不断に取り組む。</p> <p>特に、医療費徴収にあたっては、納付資力があるにもかかわらず、納付しない滞納者に対して法的措置などを厳正に実施する。</p>	<p>(2) 適切な診療報酬の確保</p> <p>複雑化する診療報酬制度に対応し、診療報酬を適切に確保するため、法人全体の医療事務の処理能力の強化に取り組む。</p> <p>また、全職員が診療報酬制度への理解を深めるための取組みを進めるとともに、査定減対策の強化、未収金の効果的な回収策の検討など、適切な診療報酬の確保に向けて不断に取り組む。</p> <p>【令和5年度の取組み】</p> <p><事務処理能力の強化></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 医療事務プロパー職員の計画的な採用 ○ 資格取得等による事務職員の育成 <p><診療報酬の確保></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 診療報酬改定への対応 ○ 査定減比率の改善に向けた取組み

中期目標 (内容)	ア 複雑化する診療報酬制度に対応するため、医療事務の処理能力を強化すること。 イ 全職員が診療報酬制度への理解を深めるとともに、診療機能の強化につながる施設基準の取得を積極的に検討するなど、適切な診療報酬の確保に向けて不断に取り組むこと。
--------------	--

実績及び法人自己評価		北九州市評価	
取組、成果、課題、評価理由等	評価	評価	評価理由・特記事項等
<p>(2) 適切な診療報酬の確保</p> <p>複雑化する診療報酬制度に対応し、診療行為に対する診療報酬を適切に確保するため、専門的知識・経験を有する事務職員をプロパー職員として計画的に採用するとともに、診療情報管理士の資格取得等による事務職員の育成に努めるなど、医療事務の処理能力の強化に取り組んだ。</p> <p>【令和5年度の取組み】</p> <p><事務処理能力の強化></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 事務処理体制を強化するため、事務系職員について、診療報酬制度や医療事務等の専門的知識や経験を有する人材を中心に、プロパー職員の採用に取り組んだ。 <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度は、病院医療事務経験者2名（本部広報係長含む）を採用 ・令和6年度に向けて、病院医療事務経験者8名（八幡病院経営係長を含む）を採用 ○ 事務職員の能力向上に向けて、新規採用職員研修や階層別研修を実施したほか、各病院において院内教育やWeb研修受講を推進した。また、機構にとって必要な資格取得支援のあり方についての検討を行った。 <p><診療報酬の確保></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 令和6年度の診療報酬改定に備え、両病院において改定対応チームを編成し、関係部門が適宜連携しながら情報共有するなど適切に対応した。 ○ 査定減比率の改善に向けて、各病院において、診療報酬請求に精通した職員の確保・育成に努めるとともに、査定結果の分析や対策に関する勉強会の開催等に取り組んだ。 <ul style="list-style-type: none"> ・保険診療委員会において、医師・看護部・コメディカルが共同し、かつ委託業者も参加して査定内容の分析・対策を検討、院内周知を実施 ・AIによるレセプト点検システムの導入検討を行った。 	4	4	<p>適切な診療報酬の確保に向け、専門的知識や経験を有する人材の採用など、年度計画に基づいた取組を順調に実施している。</p> <p>その成果として、新たな施設基準の届出〔医療センター25件、八幡病院8件〕で、加算による増収は、両病院合計で前年比2.5億円となったことは評価できる。</p> <p>市派遣職員比率は、両病院ともに低下。</p> <p>査定減比率は両病院ともに上昇したものの、低水準を維持。</p> <p>医療費徴収率は両病院ともに高水準を維持。</p> <p>以上のことから、年度計画を上回って実施していると言えるため、評価「4」とした。</p>

中期計画	年度計画
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 施設基準等の積極的な取得 ○ 医学管理料・リハビリテーション料の算定率向上 ○ 診療報酬制度等に関する職員説明会等の実施 <未収金対策> ○ 効果的な未収金回収策の検討 <ul style="list-style-type: none"> ・弁護士法人への未収金回収業務委託等の導入検討 ○ 医療費徴収率の向上に向けた取組み

実績及び法人自己評価		北九州市評価	
取組、成果、課題、評価理由等	評価	評価	評価理由・特記事項等
<p>○ 診療報酬の適切な確保に向けて、施設基準の積極的な取得に取り組むとともに、医学管理料・リハビリテーション料の算定率向上に努め、加算による増収を実現した。</p> <p><医療センター></p> <ul style="list-style-type: none"> ・急性期充実体制加算など、新たに25件の施設基準を届出 ・加算による増収額は、前年比+1.9億円、独法化後の累計は+7.6億円 <p><八幡病院></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハイケアユニット入院医療管理料1など、新たに8件の施設基準を届出 ・加算による増収額は、前年比+0.6億円、独法化後の累計は+5.2億円 <p>○ 医療スタッフの診療報酬制度への理解を深めるため、各病院において診療報酬制度等に関する説明会を実施したほか、経営改善に関する院内報を定期的に作成し、サイボウズで機構全体に周知した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療センターでは、院内説明会を1回実施、院内報（MMニュース・DPCニュース）を12回発行 ・八幡病院では、院内説明会を3回実施、院内報（V字だより）を23回発行 <p><未収金対策></p> <p>○ 未収金の発生防止に向けた既存の対策を徹底するとともに、弁護士委託などによる新たな未収金回収策の導入に向けた検討を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・無保険者に対する保険加入手続きや生活保護受給等のサポートを実施 ・高額医療制度等の自己負担軽減制度対象者に対する限度額認定証取得のサポートを実施 ・夜間救急患者の保険加入情報等の確認を徹底 ・新たな未収金対策として、弁護士委託、信用取引保険、連帯保証人代行制度などの導入を検討 <p>○ 各病院において、専任職員を配置し、未払者を早期に把握するとともに、滞納整理事案全件に対し、滞納者への催告等（文書や電話による催告を数回実施し、連絡が取れないもの等は臨戸訪問）を適切に実施した。</p>			

中期計画		年度計画	
< 関連指標 >			
項 目	医療センター		
	H29 実績	R5 目標	
市派遣職員比率	100%	39.1%	
査定減比率	0.69%	0.49%	
医療費徴収率	99.7%	99.8%	
項 目	八幡病院		
	H29 実績	R5 目標	
市派遣職員比率	100%	52.6%	
査定減比率	0.51%	0.43%	
医療費徴収率	99.4%	99.5%	
※ 市派遣職員比率 = 市派遣職員数 (事務職員) ÷ 正規事務職員数 ※ 査定減比率 = 査定減金額 ÷ 診療報酬請求金額 ※ 医療費徴収率 = 収入予定額 (現年分 + 滞納繰越分) ÷ 診療報酬請求額 (現年分 + 滞納繰越分)			

実績及び法人自己評価						北九州市評価	
取組、成果、課題、評価理由等						評価	評価理由・特記事項等
< 関連指標 >							
項目	医療センター						
	R1	R2	R3	R4	R5		
市派遣職員比率(%)	65.5	45.5	40.7	25.8	21.2		
査定減比率(%)	0.75	0.73	0.43	0.39	0.40		
医療費徴収率(%)	99.7	99.6	99.7	99.7	99.7		
項目	八幡病院						
	R1	R2	R3	R4	R5		
市派遣職員比率(%)	87.5	66.6	46.2	29.6	26.7		
査定減比率(%)	0.46	0.33	0.33	0.35	0.48		
医療費徴収率(%)	99.7	99.7	99.7	99.6	99.7		
※ 市派遣職員比率＝市派遣職員数（事務職員）÷正規事務職員数 ※ 査定減比率＝査定減金額÷診療報酬請求金額 ※ 医療費徴収率＝収入予定額（現年分＋滞納繰越分）÷診療報酬請求額（現年分＋滞納繰越分）							
< 参考 >							
項目	医療センター						
	R1	R2	R3	R4	R5		
入院単価(円)	62,694	69,525	70,380	74,285	77,787		
外来単価(円)	22,275	24,864	25,582	26,103	28,118		
項目	八幡病院						
	R1	R2	R3	R4	R5		
入院単価(円)	55,060	60,937	63,316	64,529	64,851		
外来単価(円)	11,364	11,361	15,743	15,674	15,649		

中期目標 (項目)	第2 業務運営の改善及び効率化に関する事項 2 経費節減・抑制対策 (1) コスト節減の推進
--------------	--

中期計画	年度計画
<p>(1) コスト節減の推進</p> <p>ア コスト節減に向けて、地方独立行政法人制度の特長を活かした柔軟で多様な契約制度の導入に取り組む。</p> <p>契約制度については、医療機器等の調達保守一体契約の導入、器械設備や業務委託の複数年契約の推進、医薬品や診療材料調達に係る価格交渉の徹底等に取り組む。</p> <p>また、コスト節減に向けて、後発医薬品の採用品目数の増加に取り組む。</p> <p>イ 法人全体で業務の抜本的な見直しに取り組む。</p> <p>コスト削減に向けて、専任職員の配置による調達部門における体制強化や医療機器管理への専門技術者の配置等の組織体制の強化に取り組むとともに、清掃や警備等の業務委託や物品調達等については、医療センターと八幡病院で契約の一本化を推進する。</p>	<p>(1) コスト節減の推進</p> <p>コスト節減に向けて、地方独立行政法人制度の特長を活かした柔軟で多様な契約制度の導入に取り組むとともに、法人全体で業務の抜本的な見直しに取り組む。</p> <p>【令和5年度の取組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 組織体制の強化 <ul style="list-style-type: none"> ・ 調達部門への専任職員の配置 ○ 柔軟で多様な契約制度の導入 <ul style="list-style-type: none"> ・ 業務委託等の複数年契約の推進 ○ 業務委託等の契約内容の見直し <ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機器等の保守契約の見直し ○ 医薬品や診療材料調達価格の削減 <ul style="list-style-type: none"> ・ 医薬品や診療材料調達に係る価格交渉の徹底 ・ 共同購入等による調達価格の削減 ○ 後発医薬品採用率の向上 ○ 医療センターと八幡病院の契約一本化の推進

中期目標 (内容)	ア 地方独立行政法人制度の特長を活かした契約制度の導入に取り組むこと。 イ 法人全体で業務の抜本的な見直しに取り組むこと。
--------------	--

実績及び法人自己評価		北九州市評価	
取組、成果、課題、評価理由等	評価	評価	評価理由・特記事項等
<p>(1) コスト節減の推進</p> <p>コスト節減に向けて、地方独立行政法人制度の特長を活かして、組織体制の強化や柔軟で多様な契約制度の導入等に取り組んだ。</p> <p>【令和5年度の取組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 調達部門の専任職員が中心となって医薬品や診療材料の調達コストの削減に努めたほか、システムの適正化、医療機器保守業務の効率化に向けた組織体制の強化に取り組んだ。 <ul style="list-style-type: none"> ・医療機器保守業務の運用体制強化に向けて、臨床工学技士を医療センターに2名増員 ○ 事務効率化の観点から、業務委託等の複数年契約化を推進しており、令和4年度までに医療センターでは累計23件、八幡病院では累計31件の複数年契約化が実施済み。今後も新規契約の際などに複数年契約の検討を行う。 ○ 両病院において医療機器の保守契約について、機器購入時の保守一体契約のほか、損害保険の活用など、保守金額の削減に向けて選択肢の幅を広げた。 <ul style="list-style-type: none"> ・医療センターにおいて、放射線機器保守契約について包括保守サービスとの比較を行うことで約700万円を削減 ・八幡病院において、医療機器保守の損害保険活用することで約1,700万円を削減 ○ 診療材料の調達について、全国規模の共同購入組織への参画を継続している。また、医薬品や診療材料の調達では、個別の価格交渉を徹底することで、調達価格の削減に努めた。 <ul style="list-style-type: none"> ・医療センターの年間削減効果額は約5,500万円 ・八幡病院の年間削減効果額は約4,800万円 ○ 新たな後発医薬品が次々に発売される中においても、診療報酬の加算が得られる採用率90%以上を維持できるよう、切替を随時実施した。 ○ 平成30年度から推進してきた2病院の委託業務の契約一本化については、令和3年度で完了した。今後も効果が見込まれる契約については都度検討を行う。 	4	4	<p>調達部門への専任職員が中心となり経費削減への取組が進んでいることは評価できる。</p> <p>後発医薬品採用率について、医療センターは92.3%、八幡病院は91.4%で、令和5年度の目標値90.0%を達成している。</p> <p>以上のことから、年度計画を上回って実施していると言えるため、評価「4」とした。</p>

中期計画

年度計画

- その他コスト削減策の検討
 - ・コスト削減に向けたアイデア募集・情報共有
 - ・消耗品の規格統一化

< 関連指標 >

項 目	医療センター		八幡病院	
	H29実績	R5目標	H29実績	R5目標
後発医薬品採用率	84.0%	90.0%	86.7%	90.0%

※ 後発医薬品採用率＝採用後発医薬品の数量÷後発医薬品が存在する医薬品の数量×100

実績及び法人自己評価		北九州市評価																																								
取組、成果、課題、評価理由等	評価	評価	評価理由・特記事項等																																							
<p>○ 令和3年度に作成した一般消耗品のカタログを活用したほか、医療センターでは、経営改善委員会において省エネや業務上のロス削減のための取組を取りまとめて周知するなど、経費の節減に取り組んだ。</p> <p><関連指標></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="5">医療センター</th> </tr> <tr> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>後発医薬品採用率(%)</td> <td>91.7</td> <td>91.0</td> <td>91.4</td> <td>92.9</td> <td>92.3</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="5">八幡病院</th> </tr> <tr> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>後発医薬品採用率(%)</td> <td>86.9</td> <td>87.8</td> <td>86.4</td> <td>90.4</td> <td>91.4</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 後発医薬品採用率＝採用後発医薬品の数量÷後発医薬品が存在する医薬品の数量×100</p>					項目	医療センター					R1	R2	R3	R4	R5	後発医薬品採用率(%)	91.7	91.0	91.4	92.9	92.3	項目	八幡病院					R1	R2	R3	R4	R5	後発医薬品採用率(%)	86.9	87.8	86.4	90.4	91.4				
項目	医療センター																																									
	R1	R2	R3	R4	R5																																					
後発医薬品採用率(%)	91.7	91.0	91.4	92.9	92.3																																					
項目	八幡病院																																									
	R1	R2	R3	R4	R5																																					
後発医薬品採用率(%)	86.9	87.8	86.4	90.4	91.4																																					

中期目標 (項目)	第2 業務運営の改善及び効率化に関する事項 2 経費節減・抑制対策 (2) 医療機器等の有効活用及び計画的な整備
--------------	--

中期計画	年度計画
<p>(2) 医療機器等の有効活用及び計画的な整備</p> <p>ア 医療機器等については、モニタリングによる稼働状況の把握等により、費用対効果等を勘案して稼働率の向上に努める。</p> <p>○ また、医療機器等の計画的かつ効率的な運用に向けて、臨床工学技士等を配置した医療機器管理部門の設置、医療機器等の配置状況や稼働率を可視化できるシステムの導入等を検討する。</p> <p>イ 医療機器をはじめとする高額な機械設備や情報システム等の新規導入や更新にあたっては、法人全体で効率的かつ計画的に取り組む。</p> <p>○ 磁気共鳴コンピュータ断層撮影装置(MRI)やX線コンピュータ断層撮影装置(CT)等の高額な機械設備や電子カルテ等の情報システム等については、中長期の新規導入・更新計画を作成する。 また、電子カルテの共通化をはじめ、両病院で採用する医療機器等の規格の統一により、医療の質や患者サービスの向上及びコスト削減につながる取組みを推進する。</p>	<p>(2) 医療機器等の有効活用及び計画的な整備</p> <p>医療機器等については、費用対効果等を勘案して稼働率の向上に努めるとともに、高額な機械設備や情報システム等の新規導入や更新にあたっては、法人全体で効率的かつ計画的に取り組む。</p> <p>【令和5年度の取組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 医療機器等の稼働状況の把握 ○ 医療機器等の計画的かつ効率的な運用の検討 <ul style="list-style-type: none"> ・臨床工学課を中心とした医療機器の適正管理 ・稼働状況等の可視化システムの活用 ○ 中長期の新規導入・更新計画の作成 ○ 両病院における医療機器等の規格統一化の検討 <ul style="list-style-type: none"> ・電子カルテの共通化に向けた検討【再掲】

中期目標 (内容)	ア 医療機器等については、費用対効果等を勘案して稼働率の向上に努めること。 イ 医療機器をはじめとする高額な機械設備、情報システム等の新規導入及び更新に当たっては、法人全体で効率的かつ計画的に取り組むこと。
--------------	--

実績及び法人自己評価		北九州市評価	
取組、成果、課題、評価理由等	評価	評価	評価理由・特記事項等
<p>(2) 医療機器等の有効活用及び計画的な整備</p> <p>医療機器等については、費用対効果等を勘案して稼働率の向上に努めるとともに、高額な機械設備や情報システム等の新規導入や更新にあたっては、法人全体で効率的かつ計画的に取り組んだ。</p> <p>【令和5年度の取組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 各病院が保有する医療機器を有効活用するため、稼働状況を把握するとともに、必要に応じて共同利用や移設を検討した。 ○ 医療機器等の計画的かつ効率的な運用に向けて、各病院の臨床工学課において、機器の中央管理を行うとともに、一部修繕の内製化を実施した。また、稼働状況の可視化システム「ME 機器管理システム」については、八幡病院では新病院移転時に導入済みであるが、非常に高額であるため、医療センターへの導入については今後の検討課題とした。 ○ 医療機器等の新規導入・更新について、第2期中期計画期間中の黒字化を前提とした購入計画の策定を行った。また、当該計画に基づき令和6年度の予算を確保した。 ○ 新たに購入する医療機器等については、機構全体で情報共有し、可能な限り両病院での規格統一を検討する仕組みを構築している。 ○ 令和10年度に両病院の電子カルテを共通化させる方針の下、令和5年度に医療センターの更新を行った。【再掲】 	3	3	<p>医療機器等の稼働状況を把握し、両病院間での共同利用を検討するなど、積極的に有効活用を行っている。医療センターにおいて電子カルテを更新したことや医療機器等の規格統一化への検討など、年度計画を順調に実施していることから、評価「3」とした。</p>

中期目標 (項目)	第2 業務運営の改善及び効率化に関する事項 3 自立的な業務運営体制の構築 (1) マネジメント体制の確立
--------------	---

中期計画	年度計画
<p>(1) マネジメント体制の確立</p> <p>ア 病院経営を取り巻く環境の変化に迅速かつ的確に対応していくため、理事長のリーダーシップの下、理事会を中心とした主体的かつ機動的な意思決定システムを構築する。</p> <p>○ 自立的なマネジメント体制の確立に向けて、理事長等の役員で構成する理事会の他、両病院の幹部職員で構成する経営本部会議等を設置する。</p> <p>○ 法人本部と各病院の権限と責任を明確にし、組織目標、部門別目標の設定による目標管理を徹底する。</p> <p>○ 病院経営を担う法人本部・事務局組織の体制強化に向けて、企画経営部門の機能強化、病院経営に精通した民間人材の登用や医療経営コンサルタントの活用、ジョブローテーションによる幹部人材の育成に取り組む。</p>	<p>(1) マネジメント体制の確立</p> <p>ア 病院経営を取り巻く環境の変化に迅速かつ的確に対応していくため、理事長のリーダーシップの下、理事会を中心とした主体的かつ機動的な意思決定システムを構築する。</p> <p>【令和5年度の取組み】</p> <p>○ 経営本部会議等の充実</p> <p>○ 組織目標、部門別目標の設定による目標管理を徹底</p> <ul style="list-style-type: none"> ・機構ミッション工程表の進捗管理 ・経営指標の管理・分析手法の見直し <p>○ 法人本部・事務局組織の体制強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病院経営に精通した民間人材の登用 ・医療経営コンサルタントの活用 ・幹部人材の育成

中期目標 (内容)	<p>ア 病院経営を取り巻く環境の変化に迅速かつ的確に対応していくため、理事長のリーダーシップの下、理事会を中心とした主体的かつ機動的な意思決定システムを構築すること。</p> <p>イ 各病院においては、院長以下、全ての職員が一丸となって病院運営にあたることのできる組織風土づくりに取り組むこと。</p>
--------------	---

実績及び法人自己評価		北九州市評価	
取組、成果、課題、評価理由等	評価	評価	評価理由・特記事項等
<p>(1) マネジメント体制の確立</p> <p>ア 主体的・機動的な意思決定システムの構築</p> <p>病院経営を取り巻く環境の変化に迅速かつ的確に対応していくため、理事長のリーダーシップの下、理事会を中心とした主体的かつ機動的な意思決定システムを構築した。</p> <p>【令和5年度の取組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 理事会に次ぐ意思決定機関として、機構幹部職員で構成する経営本部会議を毎月開催し、理事会上程議案の審議、病院運営に関する重要事項や経営状況の情報共有等を行った。 ○ 令和6年度からの第2期中期目標期間を迎えるにあたり、目標値や行動計画について、機構内の各部門との協議を適切に実施しながら第2期中期計画の策定を行った。 <p>また、機構が取り組む事業については、工程表を作成して進捗を管理したほか、月次決算によって毎月の目標達成状況等を情報共有するなど、目標管理の徹底に努めた。</p> <p>日次・月次の稼働状況報告については項目ごとに細分化しており、稼働額や単価の増減要因が分析できるよう報告している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中期計画や年度計画等に掲載した具体的事業について、「機構ミッション工程表」による進捗状況確認の自己評価を実施 ・毎月の経営本部会議で月次決算を報告し、目標の達成状況に対する原因分析や課題解決策を協議 ○ 事務部門の体制強化に向けて、病院経営や専門性の高い分野に精通した民間人材を登用したほか、幹部人材の育成のあり方の調査・研究などを実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ・病院経営や専門性の高い分野に精通した民間人材として、令和5年度に広報係長（機構本部）、令和6年度に八幡病院経営係長等を採用 ・幹部人材の育成に向けて、新任主査・係長・課長などの階層別研修を実施 	<p>3 (3)</p>	<p>4 (4)</p>	<p>幹部職員で構成する「経営本部会議」を毎月開催し、病院経営状況の管理体制を強化し、毎月の目標管理と要因分析など経営課題に迅速に対応するための取組が推進されていることは評価できる。</p> <p>理事長のリーダーシップの下、主体的かつ機動的な意思決定システムが構築され、マネジメント体制を確立している。</p> <p>市と綿密に協議しながら第2期中期計画を策定しており、年度計画を上回って実施していると言えることから、評価「4」とした。</p>

中期計画	年度計画
<p>イ 各病院において、院長以下、全ての職員が一丸となって病院運営にあたることのできる組織風土づくりに取り組む。</p> <p>また、組織風土づくりに当たっては、特に、病院運営に関する医師の意識改革に取り組む。</p> <p>○ 病院全体の組織目標、診療科や課単位の部門別目標を明確にし、全ての職員が組織や部門別の目標を踏まえた目標管理ができるよう実効性のある目標管理体制の構築に取り組む。</p> <p>○ 病院職員全体の情報共有に向けて、法人全体の事業概要等の作成により、病院運営や経営状況等を全ての職員に周知するとともに、職員による病院運営に関する提言等が法人・病院幹部に伝わるような仕組みづくりに取り組む。</p>	<p>イ 各病院において、院長以下、全ての職員が一丸となって病院運営にあたることのできる組織風土づくりに取り組む。</p> <p>【令和5年度の取組み】</p> <p>○ 機構全体の基本理念・シンボルマーク等の活用</p> <p>○ 機構全体の広報戦略の運用</p> <p>○ 医師等の意識改革</p> <ul style="list-style-type: none"> ・診療科や課単位の部門別目標の設定 ・診療科別ヒアリング等の実施 <p>○ 病院職員全体の情報共有</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法人全体の事業概要等の作成 <p>○ 職員と経営幹部による情報共有等の仕組みづくり</p>

実績及び法人自己評価		北九州市評価	
取組、成果、課題、評価理由等	評価	評価	評価理由・特記事項等
<p>イ 機構全体の組織風土づくり</p> <p>機構全体または各病院において、全ての職員が一丸となって病院運営にあたることのできる組織風土づくりに取り組んだ。</p> <p>【令和5年度の取組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 機構の認知や関心を高めるためシンボルマークの活用を推進し、シンボルマークを使用したピンバッチを外部会議参加時に着用した。 ○ 機構本部広報担当ラインと両病院が連携し、これまでの実績・取組みを基にした集患につながる広報戦略を検討した。 ○ 医師等の医療スタッフの意識改革に向けて、令和元年度から理事長・院長等による部門別の経営ヒアリングを実施しており、現状や課題の把握、対応策の検討、目標の設定・進捗管理などを行うことで、医療スタッフの経営に対する意識は年々向上している。 <ul style="list-style-type: none"> ・経営ヒアは、医療センター40部門、八幡病院26部門で実施 ・専門事業者を活用した診療科別収支の分析を実施 ○ 機構職員全体の情報共有に向けて、グループウェア「サイボウズ」などを活用したきめ細やかな情報発信に努めた。 <ul style="list-style-type: none"> ・機構通信（職員広報誌）4回発行 ・コロナ通信（コロナ関連情報）2回発行 ・新規採用職員向け事業概要を配付 ○ 職員からの意見・質問を受付けるため、経営状況説明会でのアンケート、グループウェア「サイボウズ」の「職員ポスト」を継続して活用した。 	(3)	(3)	

中期目標 (項目)	第2 業務運営の改善及び効率化に関する事項 3 自主的な業務運営体制の構築 (2) 職員の経営意識の向上
--------------	--

中期計画	年度計画
<p>(2) 職員の経営意識の向上</p> <p>ア 職員の経営感覚を高めるため、病院を取り巻く医療環境の変化や経営状況をリアルタイムで提供し、計画の達成状況の周知に取り組むほか、職員を対象とした外部講師による講演会の開催などにより職員の経営意識の向上に努める。</p> <p>イ 職員自らが業務改善に積極的に取り組めるよう、職員提案制度の充実、アンケート・ヒアリングの実施、職員と病院幹部の交流の促進等により職員の声を聴く取り組みや、職員の提案を実現させるための仕組みづくりに取り組む。</p>	<p>(2) 職員の経営意識の向上</p> <p>職員の経営感覚を高めるとともに、職員自らが業務改善に積極的に取り組めるよう、職員の経営意識の向上に努める。</p> <p>【令和5年度の取組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 病院運営や経営状況等の職員への提供 <ul style="list-style-type: none"> ・職員向け広報誌の製作 ・外部講師による講演会の開催 ○ 職員と病院幹部の交流の促進 <ul style="list-style-type: none"> ・職員提案制度の充実 ・アンケート・ヒアリングの実施

中期目標 (内容)	ア 職員の経営感覚を高めるための取組を進めること。 イ 職員自らが業務改善に積極的に取り組むこと。
--------------	--

実績及び法人自己評価		北九州市評価	
取組、成果、課題、評価理由等	評価	評価	評価理由・特記事項等
<p>(2) 職員の経営意識の向上</p> <p>職員の経営感覚を高めるとともに、職員自らが業務改善に積極的に取り組めるよう、職員の経営意識の向上に努めた。</p> <p>【令和5年度の取組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 病院運営や経営状況等を職員に分かりやすく周知するため、職員向け広報誌の発行や経営状況説明会の開催等に取り組んだ。 <ul style="list-style-type: none"> ・職員広報誌「機構通信」を4回発行、全職員に配布 ・夏季に決算状況を踏まえた経営状況説明会を医療センター、八幡病院、機構本部・看護学校にてそれぞれ開催 ・事務職員の役割や働き方に関して、先進的な取組を行う他の公立病院幹部を招いた講演会や意見交換会を実施 ○ 職員と病院幹部の交流の促進に向けて、診療科別ヒアリングや経営状況説明会を実施したほか、職員の意見や提案を聴取するための取組みを実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ・診療科別ヒアリングは、理事長・院長等が出席の下、医療センター40部門、八幡病院26部門で実施 ・経営状況説明会を夏季に医療センター、八幡病院、機構本部・看護学校でそれぞれ開催、アンケートも実施し、サイボウズで職員全員に回答をフィードバック ・職員からの意見・質問を直接受け付けるため、サイボウズに「職員ポスト」を継続設置 ・職員満足度調査を2月に実施 	3	3	<p>職員向け広報誌の発行や経営状況説明会の開催、先進的な取組を行う他の公立病院幹部を招いた講演会の実施など、年度計画を順調に実施していることから、評価「3」とした。</p>

中期目標 (項目)	第2 業務運営の改善及び効率化に関する事項 3 自立的な業務運営体制の構築 (3) 法令・行動規範の遵守等
--------------	---

中期計画	年度計画
<p>(3) 法令・行動規範の遵守等</p> <p>ア 公立病院として、市民の信頼を確保するため医療法をはじめとする関係法令を遵守するとともに、法人職員としての行動規範と倫理を確立する。</p> <p>法令・行動規範の遵守にあたっては、関係内部規定を整備し適切に運用するとともに、コンプライアンスに関する職場研修を定期的実施する。</p> <p>ハラスメント防止にあたっては、人事の公正の確保、職員の利益の保護及び職員の能率の発揮を担保できるよう、基準を整備した上で職員に周知し、厳正に対処する。</p> <p>また、診療情報に関する個人情報については、保護とセキュリティの確保等に努める。</p> <p>イ ガバナンス強化の観点から、役員及び職員の不正防止に向けて地方独立行政法人法に基づく、内部統制の仕組みを整備するとともに、市立病院にふさわしい行動規範・倫理を遵守するための制度を構築する。</p>	<p>(3) 法令・行動規範の遵守等</p> <p>公立病院として、市民の信頼を確保するため、関係法令の遵守、ガバナンス強化等の観点から、法人職員としての行動規範と倫理を確立する。</p> <p>【令和5年度の取組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 法令・行動規範の遵守の取組み <ul style="list-style-type: none"> ・関係内部規程の運用 ・コンプライアンスに関する職場研修の実施 ○ ハラスメント防止対策の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・制度の運用、職員への周知 ○ 診療情報の保護・セキュリティの確保 <ul style="list-style-type: none"> ・紙カルテの適切な管理 ・セキュリティポリシーの適切な運用 ○ 役員及び職員の不正防止対策 <ul style="list-style-type: none"> ・内部統制の仕組みの整備

中期目標 (内容)	ア 医療法をはじめとする関係法令を遵守するとともに、法人職員としての行動規範と倫理を確立すること。 イ ガバナンス強化の観点から、内部統制の仕組みを整備すること。
--------------	--

実績及び法人自己評価		北九州市評価	
取組、成果、課題、評価理由等	評価	評価	評価理由・特記事項等
<p>(3) 法令・行動規範の遵守等</p> <p>公立病院として、市民の信頼を確保するため医療法をはじめとする関係法令を遵守するとともに、法人職員としての行動規範と倫理の確立に努めた。</p> <p>【令和5年度の取組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 法令・行動規範の遵守に向けて、内部規程の運用や職員研修を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ・不祥事防止・ハラスメント研修を年1回実施 ○ ハラスメント防止に向けて、ハラスメント対策専門官による相談や弁護士による外部相談を受付けるとともに、職員向けの啓発や研修の実施等に取り組んだ。 <ul style="list-style-type: none"> ・ハラスメント対策専門官への相談 54名 ・弁護士への相談 1件 ・専門官によるハラスメント研修実施（計23回） ・顧問弁護士による管理監督者向けハラスメント防止研修の実施（計4回） ・ハラスメント防止ハンドブックの改訂 ○ セキュリティポリシーを適切に運用するとともに、令和5年度からの個人情報保護法の地方自治体等への適用拡大に対応して、個人情報保護規程・セキュリティポリシーを改正した。また、サイバー攻撃に備えサイバーセキュリティ保険への加入を継続した。 ○ 役員及び職員の不正防止対策に向けて、不祥事防止・ハラスメント研修を実施したほか、電子署名の厳格な管理・運用を行うために電子署名規程を策定した。 	3	3	<p>内部規程の整備をはじめ、法令・行動規範遵守のための研修を実施しているほか、セキュリティポリシーの運用やサイバーセキュリティ保険への加入継続など、診療情報保護対策に取り組んでおり、年度計画を順調に実施していることから、評価「3」とした。</p>

中期目標 (内容)	第2 業務運営の改善及び効率化に関する事項 4 職場環境の充実
--------------	------------------------------------

中期計画	年度計画
<p>4 職場環境の充実</p> <p>ア 働き方改革の観点から、病院の実態に即して、職員が働きやすく、長く働き続けることができる職場環境づくりに努める。</p> <p>また、職場環境の充実に向けた具体策の検討にあたっては、職員で構成するプロジェクトチームを編成する。</p> <p>○ 地方独立行政法人制度の特長を活かした法人固有の人事給与制度の構築に向けて、病院の業績が特に良好な場合の賞与の支給や職員の業績を反映した昇給制度を導入するとともに、人事評価制度のあり方、柔軟な勤務形態の導入等について検討するほか、院内保育所の充実等、子育てや介護が必要な職員が働きやすい職場環境づくりに努める。</p> <p>○ 働き方改革の観点から、医療スタッフの負担軽減のため、医師や看護師の事務作業補助者の配置、病棟への薬剤師の配置や手術室への臨床工学技士の配置、医療業務のタスクシフティング等に取り組むとともに、時間外勤務の削減や有給休暇が取得しやすい職場にするため、人員配置や業務の見直し等に取り組む。</p> <p>また、ワークライフバランスの確保、職員の健康保持に取り組む。</p>	<p>4 職場環境の充実</p> <p>働き方改革の観点から、職員が働きやすく、長く働き続けることができる職場環境づくりに努めるとともに、職員のやりがいや満足度の向上に向けた取組みを進める。</p> <p>【令和5年度の取組み】</p> <p>○ 働き方改革の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・働き方改革推進本部の運営 ・働き方改革研究会の提言に基づく施策の推進・進捗管理 <p>○ 医療スタッフの負担軽減</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医師や看護師の事務作業補助者の配置 ・病棟への薬剤師の配置 ・手術室への臨床工学技士の配置 ・医療行為の一部の他の職種への委譲に向けた検討（タスクシフティング） ・看護師特定行為活動の拡大 ・救急救命士の採用【再掲】 <p>○看護師の業務効率化</p> <p>○看護師の夜勤負担平準化</p> <p>○定年延長の検討</p> <p>○ 法人固有の人事給与制度の構築に向けた検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・柔軟な勤務形態導入に向けた検討（看護職の変則2交代） ・看護師の人員配置・勤務シフトの検討・見直し

中期目標 (内容)	ア 働き方改革の観点から、病院の実態に即した職員が働きやすい職場環境づくりに努めること。 イ 職員のやりがいや満足度の向上に努めること。
--------------	---

実績及び法人自己評価		北九州市評価	
取組、成果、課題、評価理由等	評価	評価	評価理由・特記事項等
<p>4 職場環境の充実</p> <p>働き方改革の観点から、病院の実態に即して、職員が働きやすく、長く働き続けることができる職場環境づくりに努めるとともに、職員のやりがいや満足度の向上に向けた取組みを進めた。</p> <p>【令和5年度の取組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 働き方改革を推進するため、令和元年度の「働き方改革研究会」の提言を踏まえ、年度計画に基づいて取組みを進めた。 ○ 医療スタッフの負担軽減に向けて、年度計画に基づいた取組みなどを進めた。 <ul style="list-style-type: none"> ・事務負担軽減のため、医師事務作業補助者・病棟クラークを配置 医療センター48名（R1：30名、R2：39名、R3：42名、R4：43名） 八幡病院29名（R1：14名、R2：18名、R3：25名、R4：26名） ・病棟での薬剤管理や服薬指導のため、病棟専任の薬剤師を配置 医療センター11名（R1：11名、R2：12名、R3：13名、R4：11名） 八幡病院9名（R1：0名、R2：9名、R3：9名、R4：9名） ・機器点検を効率化するため、手術室専任の臨床工学技士を配置 医療センター4名（R1：2名、R2：2名、R3：2名、R4：3名） 八幡病院1名（R1：0名、R2：1名、R3：1名、R4：1名） ・医療行為の一部（特定行為）の認定看護師へのシフトについて、 医療センター2名、八幡病院2名が活動を実践 ・救急救命士を2名体制で運用した。 ○ コンサルタントの支援を受けながら、看護師の業務改善に関する研修や他病院との意見交換を実施した。 ○ 看護師の夜勤負担の平準化に向けて、新人看護師の夜勤開始時期の前倒しや、夜勤免除者の配置部署の検討などを実施した。 ○ 定年延長の検討について、他の公立病院等の情報収集や制度導入済みの北九州市との情報交換等を実施した。 ○ 法人固有の人事給与制度の構築に向けて、手当の支給対象者の拡充のほか、看護職の変則2交代などの柔軟な勤務形態導入に向けた検討を行った。 <ul style="list-style-type: none"> ・10月に新型コロナ対応慰労金を全職員に支給 	4	4	<p>「働き方改革研究会」の提言を踏まえ、医師・看護師等の負担軽減や手当の拡充、医師のインセンティブ制度の運用など、長く働き続けることができる職場環境づくりに積極的に取り組んでいることは評価できる。</p> <p>人事給与システムをクラウド化し、アクセスの利便性を向上させるなど、デジタル化を推進させたほか、柔軟な勤務形態の導入に向けた検討や各種研修実施など、職場環境の充実が図られており、年度計画を上回って実施していると言えることから、評価「4」とした。</p>

中期計画	年度計画
<p>イ 職員のやりがいや満足度の向上に向けて、職員満足度調査を実施するとともに、職員研修や職員提案制度の充実、人事評価制度の見直しなどに取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 医師のインセンティブ制度の運用 <ul style="list-style-type: none"> ・他医療職へのインセンティブ制度導入に向けた調査・研究 ○ 職員の役職や習熟度に応じた研修の実施【再掲】 ○ 事業主実施計画の推進・職員が働きやすい職場環境づくり <ul style="list-style-type: none"> ・院内保育所の充実 ・時間外勤務の削減に向けた取組みの強化 ・有給休暇の取得促進に向けた取組みの強化 ・院内委員会の見直し検討 ・デジタル化の推進 ・ワークライフバランスの確保 ・職員の健康保持 ・レクリエーションの企画・実施 ○ 職員満足度調査の実施 ○ 看護師の離職防止・定着促進 ○ 法人固有の福利厚生制度の検討

実績及び法人自己評価		北九州市評価	
取組、成果、課題、評価理由等	評価	評価	評価理由・特記事項等
<p>○ 令和3年度から導入した医師のインセンティブ制度について、診療実績などの病院経営に対する貢献度合を評価し、運用を行うとともに、制度改正に向けてコンサルタントの支援による調査・研究を開始した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医師以外の職種についても、制度導入に向けて調査・研究を開始 <p>○ 職員の役職や習熟度に応じて、新採職員研修や階層別研修を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規採用職員研修、病院中堅職員研修を実施 ・新任主査・係長・課長研修を実施 <p>○ 職員が働きやすい職場環境づくりに向けて、年度計画に基づいて取組みを進めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・院内保育所の利用者拡大に向けて新規採用職員、産休・育休取得者に募集案内チラシを配付したほか、福岡県に対して病児保育利用料の無償化補助金の交付申請を実施 ・時間外勤務について、1人あたり前年比10%削減することを目標として医師事務作業補助者・病棟クラークの増員などの負担軽減の取組みを推進 ・有給休暇の取得促進に向けて、4月に全職員を対象に通知を行ったほか、定期的に取得状況の調査・公表を行い、所属長を通じて取得推進を依頼 ・業務効率化に向けて、院内委員会の統廃合、書面開催への変更などの見直しを実施 ・医師等の勤怠管理システムの稼働開始や、各サーバーをクラウド化してアクセスの利便性を向上させたほか、AIレセプトチェッカーの導入を検討するなど、デジタル化の取組を推進 ・ワークライフバランスの確保に向けて、時間外勤務や有給休暇取得の状況を把握するとともに、欠員補充や前倒し採用によって職員の負担軽減に努めるなど、多角的な取組を実施 ・職員の健康保持のため、健康診断等を適切に実施したほか、全職員を対象としたストレスチェックを実施 ・レクリエーションについては、新型コロナウイルス感染防止の観点から、実施を見送り <p>○ 職員の満足度を把握し、職場環境の充実につなげるため、2月に職員満足度調査を実施した。</p> <p>○ 看護師の離職防止・定着促進に向けて、病棟クラーク配置による業務負担の軽減に取り組んだほか、新人指導の研修会を実施した。</p> <p>○ 職員アンケートの結果等を踏まえ、法人固有の福利厚生制度を創設した。</p>			

中期目標 (項目)	第3 財務内容の改善に関する事項 1 財務基盤の安定化
--------------	--------------------------------

中期計画		年度計画	
< 関連指標 >			
項 目	医療センター		
	H29 実績	R5 目標	
看護師の離職率	7.5%	8.1%以下	
項 目	八幡病院		
	H29 実績	R5 目標	
看護師の離職率	8.5%	8.1%以下	
※ 看護師の離職率 = 当年度退職者数 ÷ 当年度平均常勤職員数 ((年度当初数 + 年度末数) ÷ 2) × 100			
1 財務基盤の安定化 ア 政策医療を着実に提供しつつ、地方独立行政法人制度の特長を活かした効率的な病院運営を行うことにより、財務基盤を安定化させる。		1 財務基盤の安定化 政策医療を着実に提供しつつ、地方独立行政法人制度の特長を活かした効率的な病院運営を行うことにより、財務基盤を安定化させる。	
財務基盤の安定化に当たっては、経営課題を明確にし、中長期的な収支管理に取り組むとともに、月次決算等の経営情報をきめ細かく把握し、部門別の目標達成状況の分析を行うことにより、経営情報を法人全体で共有する。		【令和5年度の取組み】 <ul style="list-style-type: none"> ○ 効率的な病院運営の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・月次決算等による経営情報の把握 ・部門別の目標達成状況の分析 ・経営課題、経営情報の法人全体での共有 ○ 目標管理による病院運営体制の確立 <ul style="list-style-type: none"> ・機構ミッション工程表の進捗管理【再掲】 ・部門別の目標達成状況の分析【再掲】 ○ 目標達成に対するインセンティブの導入 <ul style="list-style-type: none"> ・医師のインセンティブ制度の運用【再掲】 ・他医療職へのインセンティブ制度導入に向けた調査・研究【再掲】 	
また、そうした情報を法人全体で共有するとともに、部門ごとの目標達成状況を適宜確認するなど、目標管理による病院運営体制を確立する。			

中期目標 (内容)	ア 政策医療を着実に提供しつつ、地方独立行政法人制度の特長を活かした効率的な病院運営を行うことにより、財務基盤を安定化させること。
--------------	---

実績及び法人自己評価		北九州市評価																																				
取組、成果、課題、評価理由等	評価	評価	評価理由・特記事項等																																			
<p><関連指標></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="5">医療センター</th> </tr> <tr> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>看護師の離職率(%)</td> <td>5.9</td> <td>6.7</td> <td>7.3</td> <td>8.1</td> <td>7.1</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="5">八幡病院</th> </tr> <tr> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>看護師の離職率(%)</td> <td>8.5</td> <td>6.3</td> <td>7.8</td> <td>8.8</td> <td>10.7</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 看護師の離職率＝当年度退職者数÷当年度平均常勤職員数（（年度当初数＋年度末数）÷2）×100</p> <p>1 財務基盤の安定化 ア 財務基盤の安定化に向けた効率的な病院運営 財務基盤の安定化に向けて、政策医療を着実に提供しつつ、地方独立行政法人制度の特長を活かした効率的な病院運営に取り組んだ。</p> <p>【令和5年度の取組み】</p> <p>○ 効率的な病院運営を推進するため、月次決算等による経営情報の把握、部門別の課題の分析、経営課題、経営情報の法人全体での共有など、年度計画に基づいて取組みを進めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月の経営本部会議において、月次決算の実績報告・未達成項目の原因分析を行うとともに、経営再建方針に基づく取組みの進捗状況等の情報共有を実施 ・各病院において、経営ヒアリング等を通じて、部門別の課題の分析等を実施 ・経営課題や経営情報を法人全体で共有するため、各病院での経営状況説明会の開催（夏季に八幡病院、医療センター、機構本部・看護学校）、職員広報誌への経営情報の掲載等を実施 <p>○ 目標管理による病院運営体制の確立に向けて、工程表を作成して進捗を管理したほか、月次決算によって毎月の目標達成状況等を情報共有するなど、様々な取組みを進めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中期計画や年度計画等に掲載した具体的事業について、「機構ミッション工程表」による進捗状況確認の自己評価を実施【再掲】 ・各病院において、経営ヒアリング等を通じて、部門別の課題の分析等を実施【再掲】 <p>○ 令和3年度から導入した医師のインセンティブ制度について、診療実績などの病院経営に対する貢献度合を評価し、運用を行うとともに、制度改正に向けてコンサルタントの支援による調査・研究を開始した。【再掲】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医師以外の職種についても、制度導入に向けて調査・研究を開始【再掲】 		項目	医療センター					R1	R2	R3	R4	R5	看護師の離職率(%)	5.9	6.7	7.3	8.1	7.1	項目	八幡病院					R1	R2	R3	R4	R5	看護師の離職率(%)	8.5	6.3	7.8	8.8	10.7	3	3	<p>効率的な病院運営を推進するため、月次決算等による経営情報の把握や目標管理の継続、経営再建方針に基づく取組の進捗状況等の情報共有を実施するなど、年度計画を順調に実施していることから、評価「3」とした。</p> <p>令和6年度についても、財務基盤の安定化に向け経営課題を明確にし、中期計画や年度計画の取組を着実に進めることが必要である。</p>
項目	医療センター																																					
	R1	R2	R3	R4	R5																																	
看護師の離職率(%)	5.9	6.7	7.3	8.1	7.1																																	
項目	八幡病院																																					
	R1	R2	R3	R4	R5																																	
看護師の離職率(%)	8.5	6.3	7.8	8.8	10.7																																	

中期目標 (項目)	第3 財務内容の改善に関する事項 1 財務基盤の安定化
--------------	--------------------------------

中期計画	年度計画												
イ 中期目標期間における営業収支及び経常収支の黒字化を実現する。	○ 営業収支及び経常収支の黒字化の実現に向けた取組み												
< 関連指標 >													
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2" style="width: 20%;">項 目</th> <th colspan="2" style="text-align: center;">法人全体</th> </tr> <tr> <th style="width: 40%;">H29 実績</th> <th style="width: 40%;">R5 目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>営業収支比率</td> <td style="text-align: center;">－</td> <td style="text-align: center;">100.3%</td> </tr> <tr> <td>経常収支比率</td> <td style="text-align: center;">96.5%</td> <td style="text-align: center;">100.7%</td> </tr> </tbody> </table>			項 目	法人全体		H29 実績	R5 目標	営業収支比率	－	100.3%	経常収支比率	96.5%	100.7%
項 目	法人全体												
	H29 実績	R5 目標											
営業収支比率	－	100.3%											
経常収支比率	96.5%	100.7%											
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2" style="width: 20%;">項 目</th> <th colspan="2" style="text-align: center;">医療センター</th> </tr> <tr> <th style="width: 40%;">H29 実績</th> <th style="width: 40%;">R5 目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>営業収支比率</td> <td style="text-align: center;">－</td> <td style="text-align: center;">102.6%</td> </tr> <tr> <td>経常収支比率</td> <td style="text-align: center;">97.5%</td> <td style="text-align: center;">103.2%</td> </tr> </tbody> </table>			項 目	医療センター		H29 実績	R5 目標	営業収支比率	－	102.6%	経常収支比率	97.5%	103.2%
項 目	医療センター												
	H29 実績	R5 目標											
営業収支比率	－	102.6%											
経常収支比率	97.5%	103.2%											
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2" style="width: 20%;">項 目</th> <th colspan="2" style="text-align: center;">八幡病院</th> </tr> <tr> <th style="width: 40%;">H29 実績</th> <th style="width: 40%;">R5 目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>営業収支比率</td> <td style="text-align: center;">－</td> <td style="text-align: center;">100.9%</td> </tr> <tr> <td>経常収支比率</td> <td style="text-align: center;">101.0%</td> <td style="text-align: center;">101.3%</td> </tr> </tbody> </table>			項 目	八幡病院		H29 実績	R5 目標	営業収支比率	－	100.9%	経常収支比率	101.0%	101.3%
項 目	八幡病院												
	H29 実績	R5 目標											
営業収支比率	－	100.9%											
経常収支比率	101.0%	101.3%											
※ 営業収支比率＝営業収益÷営業費用×100 ※ 経常収支比率＝経常収益÷経常費用×100 ※ 医療センターと八幡病院には、法人本部、看護専門学校 の収支は含まない。													

中期目標 (内容)	イ 中期目標期間における営業収支及び経常収支の黒字化を実現すること。
--------------	------------------------------------

実績及び法人自己評価		北九州市評価																																																																						
取組、成果、課題、評価理由等	評価	評価	評価理由・特記事項等																																																																					
<p>イ 営業収支及び経常収支の黒字化</p> <p>両病院において、積極的な新型コロナの入院患者の受入れを継続するとともに、経営再建方針に基づく収入増加・費用削減の取組を着実に実施した。</p> <p>新型コロナの5類感染症移行後、県からの新型コロナ補助金が大幅に減少した一方で、新型コロナによる患者減などの経営への影響は継続しており、光熱費等の価格高騰も影響して、令和5年度の営業収支は4年ぶりに赤字に転換する厳しい結果となった。</p> <p>【令和5年度の取組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 経営再建方針に基づき、地域連携や救急による患者増、加算による単価増などの収益増加のほか、医薬品・診療材料・医療機器等の価格削減、委託の見直しなどの費用削減に取り組んだ。 ・営業収支▲20.5億円（予算比▲5.8億円） ・経常収支▲19.0億円（予算比▲5.1億円） <p><関連指標></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="5">法人全体</th> </tr> <tr> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>営業収支比率(%)</td> <td>93.7</td> <td>105.4</td> <td>106.5</td> <td>104.7</td> <td>93.5</td> </tr> <tr> <td>経常収支比率(%)</td> <td>94.2</td> <td>105.8</td> <td>106.9</td> <td>105.0</td> <td>94.0</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="5">医療センター</th> </tr> <tr> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>営業収支比率(%)</td> <td>97.0</td> <td>104.4</td> <td>107.2</td> <td>106.0</td> <td>95.3</td> </tr> <tr> <td>経常収支比率(%)</td> <td>97.4</td> <td>104.8</td> <td>107.4</td> <td>106.3</td> <td>95.7</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="5">八幡病院</th> </tr> <tr> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>営業収支比率(%)</td> <td>92.6</td> <td>113.7</td> <td>111.9</td> <td>108.2</td> <td>95.5</td> </tr> <tr> <td>経常収支比率(%)</td> <td>92.9</td> <td>114.0</td> <td>112.2</td> <td>108.2</td> <td>95.6</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 営業収支比率＝営業収益÷営業費用×100 ※ 経常収支比率＝経常収益÷経常費用×100 ※ 医療センターと八幡病院には、法人本部、看護専門学校の収支は含まない。</p>	項目	法人全体					R1	R2	R3	R4	R5	営業収支比率(%)	93.7	105.4	106.5	104.7	93.5	経常収支比率(%)	94.2	105.8	106.9	105.0	94.0	項目	医療センター					R1	R2	R3	R4	R5	営業収支比率(%)	97.0	104.4	107.2	106.0	95.3	経常収支比率(%)	97.4	104.8	107.4	106.3	95.7	項目	八幡病院					R1	R2	R3	R4	R5	営業収支比率(%)	92.6	113.7	111.9	108.2	95.5	経常収支比率(%)	92.9	114.0	112.2	108.2	95.6	2	2	<p>新型コロナウイルス感染症の影響による患者減や光熱費等の価格高騰の影響はあったものの、営業収支及び経常収支ともに令和元年度以来4年ぶりの赤字となったため、評価「2」とした。</p> <p>新型コロナウイルス感染症に関する県の補助制度に依存しない自立的な経営に向けた体質改善を進めていく必要がある。</p>
項目		法人全体																																																																						
	R1	R2	R3	R4	R5																																																																			
営業収支比率(%)	93.7	105.4	106.5	104.7	93.5																																																																			
経常収支比率(%)	94.2	105.8	106.9	105.0	94.0																																																																			
項目	医療センター																																																																							
	R1	R2	R3	R4	R5																																																																			
営業収支比率(%)	97.0	104.4	107.2	106.0	95.3																																																																			
経常収支比率(%)	97.4	104.8	107.4	106.3	95.7																																																																			
項目	八幡病院																																																																							
	R1	R2	R3	R4	R5																																																																			
営業収支比率(%)	92.6	113.7	111.9	108.2	95.5																																																																			
経常収支比率(%)	92.9	114.0	112.2	108.2	95.6																																																																			

中期目標 (項目)	第3 財務内容の改善に関する事項 1 財務基盤の安定化
--------------	--------------------------------

中期計画	年度計画
<p>ウ 大規模な設備投資等に伴う資金の借入れや返済等、長期的な資金収支の均衡を図る。</p> <p>○ 大規模な設備投資等については、資金の借入れや返済等、長期的な資金収支に影響を与えることから、単年度実質収支の均衡、必要な年度末資金剰余の確保等に努める。</p>	<p>○ 単年度実質収支の均衡</p> <p>○ 必要な年度末資金剰余の確保</p> <p>○ 外部資金の獲得</p>

中期目標 (内容)	ウ 大規模な設備投資等に伴う資金の借入れ、返済等、長期的な資金収支の均衡を図ること。
--------------	--

実績及び法人自己評価		北九州市評価	
取組、成果、課題、評価理由等	評価	評価	評価理由・特記事項等
<p>ウ 長期的な資金収支の均衡</p> <p>営業収支及び経常収支が赤字にもかかわらず資金収支は増加しているが、これは毎年度行っている移行前地方債償還金等の市への返済が、令和 5 年度分については令和 6 年度に繰延されたことによるものであり、実質的な資金収支の改善には繋がっていない。</p> <p>【令和 5 年度の取組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 単年度資金（実質）収支が黒字となったことに伴い、年度末資金剰余も増加した。 <ul style="list-style-type: none"> ・単年度資金収支 2.2 億円（予算比+13.5 億円） ・年度末資金剰余 68.5 億円（予算比+13.5 億円） ○ 外部資金の獲得に向けて、ホームページ等での募集の呼びかけを実施するとともに、治験・臨床研究の推進に向けて体制を強化した。 <ul style="list-style-type: none"> ・寄付金受入実績 9 件 170 万円 (R1 : 3 件 86 万円、R2 : 33 件 443 万円、R3 : 19 件 2,020 万円、R4 : 10 件 243 万円) ・治験等収益 77 百万円 (R1 : 34 百万円、R2 : 46 百万円、R3 : 28 百万円、R4 : 29 百万円) 	2	2	<p>単年度資金収支が実質的にマイナスで、年度末資金剰余も実質的に減少したことから、評価「2」とした。</p> <p>新型コロナウイルス感染症に関する国・県の補助制度に依存しない自立的な経営に向けた体質改善を進めていく必要がある。</p>

中期目標 (項目)	第3 財務内容の改善に関する事項 2 運営費負担金のあり方
--------------	----------------------------------

中期計画	年度計画
<p>2 運営費負担金のあり方</p> <p>法人としては、可能な限り自立した経営に努めることとするが、財務基盤の安定化に向けて医療センターと八幡病院の役割である政策医療の実施にかかる費用等については、国の基準に基づいて市の運営費負担金が適切に交付されるよう、市の支援を求めている。</p>	<p>2 運営費負担金のあり方</p> <p>法人としては、可能な限り自立した経営に努めることとするが、財務基盤の安定化に向けて医療センターと八幡病院の役割である政策医療の実施にかかる費用等については、国の基準に基づいて市の運営費負担金が適切に交付されるよう、市の支援を求めている。</p> <p>【令和5年度の取組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 適切な運営費負担金の確保

中期目標 (内容)	政策医療の実施等に対する運営費負担金については、法人の経営状況を見ながら、国が示す基準等に基づいて適切に行うこととするが、法人としては、経営効率化の観点から可能な限り自立した経営を目指すこと。
--------------	--

実績及び法人自己評価		北九州市評価	
取組、成果、課題、評価理由等	評価	評価	評価理由・特記事項等
<p>2 運営負担金のあり方</p> <p>法人としては、可能な限り自立した経営に努めることとするが、財務基盤の安定化に向けて医療センターと八幡病院の役割である政策医療の実施にかかる費用等については、国の基準に基づいて市の運営費負担金が適切に交付されるよう、市の支援を求めた。</p> <p>※令和5年度の運営費負担金の実績</p> <p>○総額 30.2億円</p> <p>(内訳)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染症医療 1.3億円 ・周産期医療 5.2億円 ・小児救急を含む救急医療 14.9億円 ・看護師養成費 0.8億円 ・院内保育所運営費 0.4億円 ・企業債元利償還金 7.6億円 	3	3	運営費負担金を適切に執行していることから、評価「3」とした。

中期目標 (項目)	第4 その他業務運営に関する重要事項 1 看護専門学校運営
--------------	----------------------------------

中期計画	年度計画
<p>1 看護専門学校運営</p> <p>ア 地域の看護師養成機関として、優秀な人材の育成に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 市立病院との一体的運営という利点を活かし、講義や臨地実習等において、相互協力することにより、臨床看護及び教育の質を向上させる。 ○ 地域の看護職の教育に貢献するため、可能な限り学校施設・設備及び教材の開放に努める。 ○ 優秀な看護学生の確保に向けて、学生や社会人を対象としたオープンキャンパスを実施するとともに、学校訪問や説明会の開催等に取り組む。 ○ 看護師の定着に向けて、卒業生に対するフォローアップ事業に取り組む。 <p>イ 教育の質を確保しつつ、効率的な運営に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 教員については、市立病院看護部との人事交流により、看護教育に適性の高い人材の配置・育成に取り組む。 ○ 教育環境の整備や学習教材の充実等に取り組むとともに、卒業生の市内就職率の向上に向けて、奨学金制度や授業料等、学生による費用負担のあり方について検討する。 	<p>1 看護専門学校運営</p> <p>地域の看護師養成機関として、優秀な人材の育成に取り組むとともに、教育の質を確保しつつ、効率的な運営に努める。</p> <p>【令和5年度の取組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 臨床看護及び教育の質の向上 <ul style="list-style-type: none"> ・ 講義等における市立病院との相互協力 ・ 市立病院看護部との人事交流 ・ 看護教員の確保 ・ 看護教育に適性の高い人材の配置・育成 ・ 教育環境の整備 ・ 電子テキスト導入に向けた調査・検討 ・ 学習教材の充実 <ul style="list-style-type: none"> ○ 学校施設・設備及び教材の開放 <ul style="list-style-type: none"> ・ オープンキャンパスの実施 ・ 学校訪問や説明会の開催 ○ 卒業生の市内就職率の向上 <ul style="list-style-type: none"> ・ 卒業生に対するフォローアップ ○ 奨学金制度や授業料等の学生負担のあり方の検討

中期目標 (内容)	<p>ア 地域の看護師養成機関として、優秀な人材の育成に取り組むこと。</p> <p>イ 教育の質を確保しつつ、効率的な運営に努めること。</p> <p>ウ 将来的な看護専門学校のある方については、市と十分協議すること。</p>
--------------	--

実績及び法人自己評価		北九州市評価	
取組、成果、課題、評価理由等	評価	評価	評価理由・特記事項等
<p>1 看護専門学校の運営</p> <p>地域の看護師養成機関として、優秀な人材の育成に取り組むとともに、教育の質を確保しつつ、効率的な運営に努めた。</p> <p>【令和5年度の取組み】</p> <p>○ 臨床看護及び教育の質の向上に向けて、看護教育人材の確保、教育環境の整備、学習教材の充実など、年度計画に基づいて取組みを進めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講義や臨地実習にあたっては、医療センター及び八幡病院との相互協力を実施。医療センターから医師23名、看護師22名、薬剤師2名、その他7名などを派遣（計54名）。八幡病院から看護師6名を派遣 ・優秀な教育人材の確保に向けて、市立病院看護部との人事交流を実施 ・看護教育の充実のため実習指導教員を2名増員し3名体制に拡充 ・看護教育に適正の高い人材を配置するため、専任教員養成講習会受講者9名を配置 ・女子トイレの改修工事を実施 ・将来の電子テキスト導入に向け業者選定や端末についての検討を実施 ・学習教材の充実に向けて、図書、DVD教材、モデル器具などの必要な学習機材を調達 <p>○ 学校施設・設備及び教材を機構本部・医療センターへ貸し出したほか、オープンキャンパスを実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生を対象としたオープンキャンパスを2回開催し、105名の学生が参加 ・説明会を高校や商工貿易会館で実施、106名が参加 <p>○ 卒業生の市内就職率の向上に向けて、校長・副校長による講話や就職説明会等で働きかけを行うとともに、卒業生に対するフォローアップとして個別相談対応を実施した。</p> <p>○ 令和4年度新入学生より、実費負担であった「実習費」を、教材や消耗品の費用も加えた定額の「実習関連費」に改め徴収開始している。また、民間の看護専門学校との均衡等を考慮し、授業料の見直しについて、検討を開始した。</p>	3	3	<p>地域の看護師養成機関として、教育の質を確保しつつ効率的な運営を行うとともに、学生の学業に対する負担感を軽減する取組を検討している。</p> <p>年度計画を順調に実施し、卒業生の市内就職率が97.4%と年度計画を上回る水準を維持しているものの、看護専門学校の経営状況等を勘案し、評価「3」とした。</p>

中期計画	年度計画						
<p>ウ 将来的な看護専門学校のある方については、市内の看護師の需給状況や関係機関の動向を踏まえ、市と法人で十分協議する。</p> <p><関連指標></p> <table border="1" data-bbox="92 678 759 763"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>H29実績</th> <th>R5目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>卒業生の市内就職率</td> <td>81.6%</td> <td>83.6%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 卒業生の市内就職率＝北九州市内就職者数÷就職者数×100</p>	項目	H29実績	R5目標	卒業生の市内就職率	81.6%	83.6%	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校内感染予防対策の徹底 ○ 外部資金の獲得【再掲】 ○ 将来的な看護専門学校のある方の検討
項目	H29実績	R5目標					
卒業生の市内就職率	81.6%	83.6%					

実績及び法人自己評価		北九州市評価													
取組、成果、課題、評価理由等	評価	評価	評価理由・特記事項等												
<p>○ 新型コロナ感染拡大防止に向けて、5類感染症移行後も不織布マスクの着用及び手指消毒剤の携帯を継続している。</p> <p>○ 寄付金の獲得について、看護学校 HP に学校独自の寄附募集ページを新設するなどし、プロジェクターや図書 33 冊を受領した。</p> <p>○ 校長との週次ミーティングにおいて、学生の確保、教育・育成などの将来的な看護専門学校のあり方の検討を進めた。</p> <p>< 関連指標 ></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>卒業生の市内就職率(%)</td> <td>83.3</td> <td>94.4</td> <td>100.0</td> <td>90.2</td> <td>97.4</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 卒業生の市内就職率＝北九州市内就職者数÷就職者数×100</p>	項目	R1	R2	R3	R4	R5	卒業生の市内就職率(%)	83.3	94.4	100.0	90.2	97.4			
項目	R1	R2	R3	R4	R5										
卒業生の市内就職率(%)	83.3	94.4	100.0	90.2	97.4										

中期目標 (項目)	第4 その他業務運営に関する重要事項 2 施設・設備の老朽化対策
--------------	-------------------------------------

中期計画	年度計画
<p>2 施設・設備の老朽化対策</p> <p>建築後25年以上を経過している医療センターの老朽化対策については、法人内部での検討を開始する。</p> <p>その際、周産期医療、感染症医療や災害時における医療等の政策医療については、市全体で検討される将来的なあり方を踏まえる必要があり、市と緊密に連携しながら市全体の枠組みの中でその実施体制を検討する。</p> <p>なお、医療センターの老朽化対策を含めた大規模な投資が必要な事案については、市と十分協議しながら取組を進める。</p>	<p>2 施設・設備の老朽化対策</p> <p>【令和5年度の取組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 医療センターの老朽化対策の実施 ○ 医療センターのリニューアルに向けた検討 ○ 市における政策医療のあり方の検討への参画

中期目標 (内容)	建築後25年以上を経過している医療センターの老朽化対策等、大規模な投資が必要な事案については、将来的な政策医療の提供体制に関する検討結果等を踏まえる必要があることから、市と十分協議すること。
--------------	---

実績及び法人自己評価		北九州市評価	
取組、成果、課題、評価理由等	評価	評価	評価理由・特記事項等
<p>2 施設・設備の老朽化対策</p> <p>【令和5年度の取組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 医療センターの老朽化対策等について、令和3年度に策定した基本方針や設備改修計画に基づき、令和5年度に実施を予定していた改修を適切に実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ・別館照明のLED化、蓄電池設備、熱交換器、ファンコイルユニットの更新等を実施 ○ 建築後30年以上が経過し老朽化が進んでいる医療センターについて、建替えの検討の基本となる適切な機能や規模など、今後の医療センターのあり方に関する検討会の設置に向け、市と協議を開始した。 ○ 市の定める第2期中期目標の実現に向け、市と綿密な協議のもと第2期中期計画を策定した。 	3	3	<p>医療センターの老朽化対策を計画的に実施するとともに、将来的な施設更新に向けて市と協議を開始し、年度計画を順調に実施しているため、評価「3」とした。</p>

中期目標 (項目)	第4 その他業務運営に関する重要事項 3 市政への協力
--------------	--------------------------------

中期計画	年度計画
<p>3 市政への協力</p> <p>ア 地域包括ケアシステムの構築や、障害者医療への支援体制づくりなど、市が進める保健・医療・福祉・介護に関する施策については、積極的な役割を果たす。</p> <p>イ 災害発生時やその他の緊急時の医療提供体制については、北九州市地域防災計画や北九州市災害対策本部の決定等に基づき、北九州市医師会と連携し、適切な役割を果たす。</p> <p>ウ その他、市からの協力要請については、積極的に対応する。</p>	<p>3 市政への協力</p> <p>【令和5年度の取組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 北九州市との緊密な連携体制の構築 ・役員や事務等の各レベルでの連携 ○ 全国・福岡県内の公立病院との連携の強化

中期目標 (内容)	<p>ア 地域包括ケアシステムの構築や障害者医療への支援体制づくりなど、市が進める保健、医療、福祉及び介護に関する施策について、積極的な役割を果たすこと。</p> <p>イ 災害発生時やその他の緊急時の医療提供体制については、「北九州市地域防災計画」や北九州市災害対策本部の決定等に基づき、北九州市医師会と連携し、適切な役割を果たすこと。</p> <p>ウ その他、市からの協力要請については、積極的に対応すること。</p>
--------------	--

実績及び法人自己評価		北九州市評価	
取組、成果、課題、評価理由等	評価	評価	評価理由・特記事項等
<p>3 市政への協力</p> <p>【令和5年度の取組み】</p> <p>○ 市が進める保健・医療施策について積極的な役割を果たすため、組織トップから事務レベルまで様々な階層において、緊密に連携できる体制を構築した。</p> <p>また、市の定める第2期中期目標の実現に向け、市と綿密な協議のもと第2期中期計画を策定した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理事長・副理事長が市長・副市長をはじめとする市幹部と随時協議を実施 ・事務レベルにおいても、必要に応じて随時協議を実施するなど、緊密に意見交換等を実施 <p>○ 全国・福岡県内の公立病院との連携の強化に向けて、自治体病院や地方独立行政法人病院の全国会議やブロック会議等に積極的に参加し、交流を深めた。</p>	4	5	<p>新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行後も積極的に入院患者を受け入れたほか、市の定める第2期中期目標の実現に向け第2期中期計画を策定するなど、市立病院機構としての責務を認識し市政に協力したため、評価「5」とした。</p>

V その他

第5 予算、収支計画及び資金計画
 ※財務諸表及び決算報告書を参照

第6 その他設立団体の規則で定める業務運営に関する事項

中期計画	年度計画（令和5年度）	令和5年度実績																		
<p>1 施設及び設備の整備に関する計画 （単位：百万円）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施設及び設備内容</th> <th>予定額</th> <th>財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>病院施設、医療機器等整備</td> <td>4,944</td> <td>北九州市長期借入金等</td> </tr> </tbody> </table>	施設及び設備内容	予定額	財源	病院施設、医療機器等整備	4,944	北九州市長期借入金等	<p>1 施設及び設備の整備に関する計画 （単位：百万円）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施設及び設備内容</th> <th>予定額</th> <th>財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>病院施設、医療機器等整備</td> <td>3,318</td> <td>北九州市長期借入金等</td> </tr> </tbody> </table>	施設及び設備内容	予定額	財源	病院施設、医療機器等整備	3,318	北九州市長期借入金等	<p>1 施設及び設備の整備に関する計画 （単位：百万円）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施設及び設備内容</th> <th>実績額</th> <th>財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>病院施設、医療機器等整備</td> <td>2,782</td> <td>北九州市長期借入金等</td> </tr> </tbody> </table>	施設及び設備内容	実績額	財源	病院施設、医療機器等整備	2,782	北九州市長期借入金等
施設及び設備内容	予定額	財源																		
病院施設、医療機器等整備	4,944	北九州市長期借入金等																		
施設及び設備内容	予定額	財源																		
病院施設、医療機器等整備	3,318	北九州市長期借入金等																		
施設及び設備内容	実績額	財源																		
病院施設、医療機器等整備	2,782	北九州市長期借入金等																		
<p>2 人事に関する計画 医療需要の動向や経営状況の変化に迅速かつ的確に対応することができるよう、組織及び職員配置の在り方を常に検証し、必要に応じて弾力的な見直しを行う。</p>																				
<p>3 中期目標の期間を超える債務負担 （単位：百万円）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>中期目標期間償還額</th> <th>次期以降償還額</th> <th>総債務償還額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>移行前地方債償還債務</td> <td>9,163</td> <td>13,237</td> <td>22,400</td> </tr> <tr> <td>長期借入金償還債務</td> <td>1,182</td> <td>3,758</td> <td>4,940</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>10,345</td> <td>16,995</td> <td>27,340</td> </tr> </tbody> </table>	項目	中期目標期間償還額	次期以降償還額	総債務償還額	移行前地方債償還債務	9,163	13,237	22,400	長期借入金償還債務	1,182	3,758	4,940	計	10,345	16,995	27,340				
項目	中期目標期間償還額	次期以降償還額	総債務償還額																	
移行前地方債償還債務	9,163	13,237	22,400																	
長期借入金償還債務	1,182	3,758	4,940																	
計	10,345	16,995	27,340																	
<p>4 積立金の処分に関する計画 なし</p>																				